

令和6年度

**第6次福島市総合計画  
新ステージ実行プラン  
結 果**

令和7年8月

## 第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン(令和6年度) 目次

		ページ
1	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 成果指標一覧	1
2	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プランの考え方	5
3	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 重点施策	7
4	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 個別施策	35
5	令和6年度実績評価検証結果	101

### 資料編

1	第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 見直した成果指標一覧表	103
2	【重点施策】 修正を加えた指標の新旧一覧	104
3	【個別施策】 修正を加えた指標の新旧一覧	105
4	ふくしま新ステージ実行プラン検証会議 委員名簿	106

## 第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 成果指標一覧（令和6年度）

《重点施策》 ※主担当課は、成果指標の進捗管理を行う課です。なお、副担当課も主担当課と連携して進捗管理を行います。

★印：個別施策へ再掲

施策名	成果指標名	主担当課	評価	ページ
<b>1 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現</b>				
	1 「子育てしやすいまちだ」と答えた市民の割合	こども政策課	D	7
	2 合計特殊出生率	こども政策課	D	8
<b>2 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進</b>				
	3 「福島市の復興が進んだ」と答えた市民の割合	政策調整課	D	9
	4 講座受講後の不安軽減率 ★	保健総務課	D	10
<b>3 災害対策の強化</b>				
	5 「危機や災害に強く安心して暮らせるまちである」と答えた市民の割合	危機管理室	D	11
目標値変更	6 地区防災マップ・防災計画の策定地区数 ★	危機管理室	B	12
<b>4 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進</b>				
	7 「健康づくりや医療体制が充実したまちである」と答えた市民の割合	保健総務課	A	13
	8 「高齢者や障がいのある人、子ども連れの人などが外出する際、周りの人の理解や手助けがある」と答えた市民の割合	共生社会推進課	D	14
	9 お達者度（65歳健康寿命） ★	健康づくり推進課	D	15
<b>5 豊かな文化芸術の振興と発信</b>				
	10 「福島らしい文化芸術で自信を持って紹介できるものがある」と答えた市民の割合	文化振興課	D	16
	11 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数 ★	文化振興課	D	17
<b>6 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築</b>				
	12 「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合	環境課	A	18
	13 温室効果ガス実質排出量 ★	環境課	—	19
<b>7 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現</b>				
	14 「農業や商業、工業などの産業が活力あふれるまちである」と答えた市民の割合	産業雇用政策課	D	20
	15 農業産出額 ★	農業企画課	A	21
	16 製造品出荷額等 ★	企業振興課	B	22
	17 中心市街地空き店舗数 ★	にぎわい商業課	D	23
<b>8 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり</b>				
	18 「福島らしい個性とにぎわいのあるまちである」と答えた市民の割合	コンベンション推進課	D	24
	19 休日の歩行者・自転車通行量（7地点） ★	都市計画課	A	25
<b>9 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化</b>				
	20 「移住・定住先として自信を持って紹介できるまちである」と答えた市民の割合	定住交流課	D	26
	21 人口の社会動態（20歳～39歳） ★	定住交流課	D	27
<b>10 市民総活躍と市民共創のまちづくり</b>				
	22 「性別や年齢、立場に関わらず、個性や能力を十分に生かすことができるまちである」と答えた市民の割合	男女共同参画センター	D	28
	23 「まちづくりに参加している、参加したい」と答えた市民の割合	地域共創課	D	29
	24 「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数 ★	地域共創課	B	30
<b>11 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上</b>				
	25 「福島市に住み続けたい」と答えた市民の割合	政策調整課	D	31
目標値変更	26 元気ふくしま・ふるさと寄附金額 ★	政策調整課	A	32
<b>12 ICTを活用した行政・経済・社会の変革</b>				
	27 「地域社会のICT化が進み、市民生活が快適で便利になった」と答えた市民の割合	デジタル推進課	D	33
	28 行政手続きのオンラインサービス利用件数（年間） ★	情報企画課	A	34

《個別施策》 ※主担当課は、成果指標の進捗管理を行う課です。なお、副担当課も主担当課と連携して進捗管理を行います。

★印：重点施策の再掲

施策名	成果指標名	主担当課	評価	ページ
<b>1 子育て支援の充実</b>				
	1 保育施設における待機児童数	幼保企画課	A	35
	2 放課後児童クラブにおける待機児童数	こども政策課	B	36
	3 11歳以下の人口	こども政策課	B	37
<b>2 学校教育の充実</b>				
	4 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合（小学6年、中学3年）	学校教育課	D	38
	5 読書が好きな児童生徒の割合（小学6年、中学3年）	学校教育課	—	39
	6 学力を伸ばした児童生徒の割合（小学5・6年、中学1・2年）	学校教育課	B	40
<b>3 学びの環境の充実</b>				
	7 授業にICT機器（タブレットPC・タブレット端末）を活用して指導できると回答する教員の割合	教育研修課	A	41
	8 家庭学習に計画的に取り組む児童生徒の割合（中学3年）	学校教育課	—	42
	9 学校施設の更新及び長寿命化改修数	教育施設管理課	C	43
<b>4 男女共同参画・人権尊重の推進</b>				
	10 女性委員の参画割合	男女共同参画センター	B	44
	11 DVの被害、認識状況の割合	男女共同参画センター	A	45
<b>5 放射線対策の充実</b>				
	12 講座受講後の不安軽減率 ★	保健総務課	D	46
<b>6 危機管理・防災減災体制の充実</b>				
目標値変更	13 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数	危機管理室	A	47
目標値変更	14 地区防災マップ・防災計画の策定地区数 ★	危機管理室	B	48
<b>7 消防・救急体制の充実</b>				
	15 消防庁舎耐震化率	消防総務課	A	49
	16 救急救命士の人数	救急課	C	50
	17 住宅用火災警報器の設置率（条例適合率）	予防課	C	51
<b>8 安心安全な市民生活の確保</b>				
	18 1年間の交通事故による死者数	生活課	A	52
<b>9 健康・医療体制の充実</b>				
	19 お達者度（65歳健康寿命） ★	健康づくり推進課	D	53
	20 脳血管疾患の標準化死亡比 虚血性心疾患（急性心筋梗塞）の標準化死亡比	健康づくり推進課	A	54
	21 喫煙習慣の割合	健康づくり推進課	B	55
<b>10 保健衛生・健康危機管理体制の充実</b>				
	22 予防接種率（麻しん風しん混合ワクチン）	感染症・疾病対策課	A	56
	23 食中毒の件数	衛生課	A	57
<b>11 地域福祉の推進と障がいのある人の福祉の充実</b>				
	24 バリアフリー推進パートナー賛同数	共生社会推進課	A	58
<b>12 高齢者福祉の充実</b>				
	25 認知症サポーター養成講座修了者数	長寿福祉課	B	59
<b>13 生涯学習の振興</b>				
	26 市民一人あたりの学習センター利用回数	生涯学習課	D	60

施策名	成果指標名	担当当課	評価	ページ
14	多文化共生の推進			
	27 多文化共生関連の取り組みへの総参加者数	定住交流課	B	61
15	スポーツの振興			
	28 スポーツに触れる機会に恵まれていると感じる割合	スポーツ振興課	A	62
	29 市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数	スポーツ振興課	C	63
16	文化芸術の振興			
	30 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数 ★	文化振興課	D	64
	31 民家園・宮畑遺跡史跡公園（体験学習施設「じょいもん」）の年間来園者数	文化振興課	A	65
17	環境の保全			
	32 エネルギー自給率（電力）	環境課	A	66
	33 1人1日当たりの生活系ごみの排出量	ごみ減量推進課	C	67
	34 汚水処理人口普及率	下水道整備課	A	68
	35 温室効果ガス実質排出量 ★	環境課	—	69
18	良質な水道水の安定供給			
	36 基幹施設耐震化率	水道整備課	A	70
	37 基幹管路耐震適合率	水道整備課	A	71
19	都市緑化・景観形成の推進			
	38 都市公園の長寿命化対策の整備率	公園緑地課	A	72
20	快適な住環境の形成			
	39 福島市空き家バンクに登録された空き家の利活用数（売却、賃貸）	都市計画課	A	73
	40 市営住宅の一定のバリアフリー化率	住宅政策課	A	74
21	就労の支援と雇用の創出			
	41 女性の管理職登用率（従業員20人以上の事業所）	産業雇用政策課	B	75
	42 働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数	産業雇用政策課	A	76
22	中心市街地の活性化			
	43 休日の歩行者・自転車通行量（7地点） ★	都市計画課	A	77
	44 まちづくり活動に参画する学生数	都市計画課	A	78
23	道路交通ネットワークの整備			
	45 道路改良率	道路建設課	A	79
	46 重要橋梁の耐震補強整備率	道路保全課	B	80
24	公共交通網の充実			
	47 福島市管内路線バスにおける福島市内乗車人員（年間）	交通政策課	B	81
	48 福島交通飯坂線、阿武隈急行線の福島市内乗車人員（年間）	交通政策課	B	82
25	移住定住・関係人口の拡大			
	49 移住・定住の各施策により本市移住に結びついた移住者の割合	定住交流課	A	83
	50 人口の社会動態（20歳～39歳） ★	定住交流課	D	84
26	農林業の振興			
	51 農業産出額 ★	農業企画課	A	85
	52 新規就農者数	農業企画課	A	86
27	工業の振興			
	53 製造品出荷額等 ★	企業振興課	B	87
28	商業の振興			
	54 中心市街地空き店舗数 ★	にぎわい商業課	D	88

施策名	成果指標名	担当課	評価	ページ
<b>29 観光による地域振興</b>				
	55 観光消費平均単価額	観光交流推進室	A	89
	56 観光客入込数	観光交流推進室	A	90
	57 外国人延べ宿泊者数	観光交流推進室	B	91
	58 来訪者満足度	観光交流推進室	C	92
<b>30 市民共創・地域連携の推進</b>				
	59 町内会加入世帯の割合	地域共創課	D	93
	60 「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数 ★	地域共創課	B	94
<b>31 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実</b>				
	61 ふくしま市政出前講座の受講者数	広聴広報課	D	95
	62 ホームページ、SNSの閲覧数	広聴広報課	D	96
目標値変更	63 元気ふくしま・ふるさと寄附金額 ★	政策調整課	A	97
<b>32 ICT化の推進</b>				
	64 行政手続きのオンラインサービス利用件数（年間） ★	情報企画課	A	98
<b>33 行財政経営の推進</b>				
	65 実質赤字比率	財政課	A	99
	66 連結実質赤字比率	財政課	A	99
	67 実質公債費比率	財政課	A	99
	68 将来負担比率	財政課	A	100

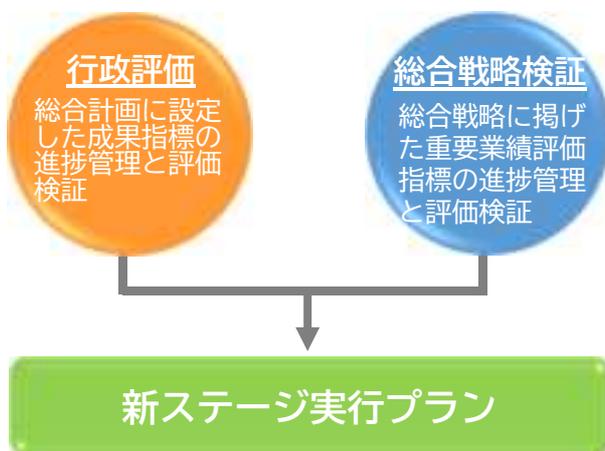
## 第6次福島市総合計画 新ステージ実行プランの考え方

### 1 目的

まちづくり基本ビジョンに盛り込んだ重点・個別施策に紐づく成果指標について、各年度進捗管理・評価検証を行い、本市の目指すべき将来のまちの姿の実現度をはかることを目的とします。

### 2 評価の簡素化

これまでの行政評価（施策評価）と総合戦略検証を一体化し、事務の簡素化を図りながら成果指標の進捗管理等を行います。



### 3 期間

令和3年度から令和7年度までの5年間とします。

### 4 プランの掲載内容

まちづくり基本ビジョンに盛り込んだ重点施策の成果指標（28指標）・個別施策の成果指標（68指標）とその進捗に貢献する主な取り組み等とします。

### 5 評価方法

成果指標について、下記の計算方法を用いて、それぞれの達成率を算出後に評価区分に従い評価を行います。

#### ①達成率の計算方法

$$(\text{評価年度実績値} - \text{基準値}) \div (\text{評価年度目標値} - \text{基準値}) \times 100 (\%)$$

※算出された達成率は0.0%~100.0%で標記しています。

#### ②評価区分

達成率	区分
達成率 100%	A評価
80% ≤ 達成率 < 100%	B評価
60% ≤ 達成率 < 80%	C評価
達成率 < 60%	D評価

### ③各年度ごとの目標値の設定方法

目標値から基準値を差し引き、計画期間（5年間）で除する。

<例> 指標名：合計特殊出生率

基準値（H30年度）：1.35、目標値（R7年度）：1.70

各年度ごとの目標値： $1.70 - 1.35 = 0.35$ 、 $0.35 \div 5 = 0.07$  / 1年当たり

【R3】1.42 【R4】1.49 【R5】1.56 【R6】1.63 【R7】1.70

※各年度ごとに目標値を設定している場合等については、この限りではない。

## 6 進捗管理

- ①本プランにおいて設定した成果指標を各年度ごとにしっかりと進捗管理を行い、より効果的に施策を推進します。また、専門的な知見を生かした幅広い視点から意見をいただくため、毎年度、外部有識者会議による評価検証を行います。
- ②これらの結果については、議会へ報告し、市民へも公表します。
- ③また、成果指標の進捗状況、外部有識者会議の評価検証結果、社会経済情勢の変化等に応じて、適宜、取組内容や成果指標、目標値の見直しを行います。
- ④なお、各成果指標の進捗管理については、主担当課と副担当課が連携して行うこととします。

### 【参考】第6次福島市総合計画の構成と期間



指標進捗管理担当	(主)	こども政策課	(副)	こども家庭課、幼保企画課、幼保支援課、定住交流課、学校教育課、教育施設管理課、教育研修課、住宅政策課
----------	-----	--------	-----	--

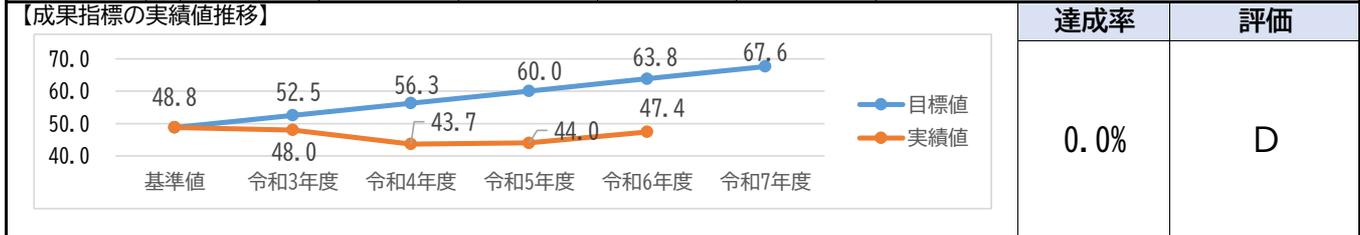
## 成果指標 1. 「子育てしやすいまちだ」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

**関連する施策** 【重点施策】  
1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現

**指標の説明** 市民意識調査により、子ども・子育て支援や結婚支援等に対する満足度を測る指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
48.8	目標値	52.5	56.3	60.0	63.8	67.6	子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現に向けた取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	48.0	43.7	44.0	47.4		
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	教育・保育の充実	7,842	幼保支援課 学校教育課
	<b>具体的な取組内容</b> ①特色ある幼児教育・保育推進事業 [7,227] 豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助する。また、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげる。 ○補助額：事業費の1/2(上限額3年目まで1,200千円、4年目以降300千円) ②外国語教育推進事業（「イングリッシュ・アップグレード・フクシマプラン」策定）[615] 幼児期から外国人とのふれあいを通じて外国語に慣れ親しませる。さらに、全ての中学校区において英語教育の接続に関する研究を進める。 ○ALTを幼稚園・認定こども園5回派遣し、英語使用を手段とした幼小交流活動の実施及び全中学校区における小・中学校英語接続を推進する。 ○デジタルコンテンツ「小学校英語SWITCH ON!」の活用を通して英語の音声と文字を関連付けた指導を行う。		
	<b>取組成果</b> ①特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する幼児教育・保育施設11施設・グループに対し、事業費等の支援を行った。また、YouTubeで首都圏や福島県の近県を対象にPR動画を広告配信し、92,124回の動画視聴回数となった。広報誌作成3,000部。 ②ALTによる幼稚園・認定こども園での交流活動により、幼児が英語を楽しみ、積極的にALTに関わる様子が見られた。中学校区ごとにALTを配置しており、同じALTが幼・小・中学校において、発達段階に応じた指導をすることにより、学びの連続性を実現することができた。デジタルコンテンツについて、各小学校へアンケートをとり、成果・課題を明らかにして、有効な活用法について啓発した。		
2	子育て環境の充実	1,132,817	幼保企画課、幼保支援課、こども政策課
	<b>具体的な取組内容</b> ①待機児童対策推進パッケージ [240,571] 待機児童ゼロとその維持に向けて、「保育の受け皿の拡大」と「保育士の確保」の2本の柱で取り組む。 ○私立保育施設整備支援 ○保育士するなら福島市!プロモーション ○輝け!保育人財活躍促進 等 ②放課後児童健全育成事業 [892,246] 児童の健全育成を図るため、各放課後児童クラブの運営費を支援する。 ○設置数：96クラブ（令和5年度：94クラブ） ○委託先：社会福祉法人、NPO法人、地域の保護者会、運営委員会など		
	<b>取組成果</b> ①待機児童対策推進パッケージの取り組みにより、保育の受け皿の拡大や保育士の確保が図られたことで、5年連続で4月1日現在の待機児童数ゼロを達成した。 ②放課後児童クラブの利用ニーズを地域ごとに把握し、登録児童の定員超過が見込まれる地域に放課後児童クラブを2クラブ増設することにより、受け入れ枠の拡大を行った。		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①放課後児童クラブ多子世帯利用料助成事業 [38,968]（こども政策課）
- ②産前・産後サポート事業 [2,318]（こども家庭課）
- ③校舎等改築事業、学校施設リフレッシュ事業 [2,224,632]（教育施設管理課）
- ④ICT教育フューチャービジョン推進事業 [391,778]（教育研修課）
- ⑤結婚新生活支援事業 [54,741]（定住交流課）
- ⑥こども家庭センター事業（児童福祉機能） [21,934]（こども家庭課）
- ⑦ふくしま☆スタイル住宅整備事業 [299,890]（住宅政策課）
- ⑧病児・病後児保育 [28,536]（幼保企画課）
- ⑨こども誰でも通園モデル事業 [2,781]（こども政策課、幼保支援課）
- ⑩子育て世帯・ヤングケアラー訪問支援事業 [1,737]（こども家庭課）
- ⑪子どもの医療確保対策事業 [82,893]（保健総務課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。子どもの個性に合った保育環境や教育環境の整備など、市民のニーズを取り入れた取り組みの実践を望む。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

こども・若者・子育て世代の意見表明の機会や社会参画を促進し、こどもファーストの施策を総合的に推進・充実していく。学校教育においては、幼少期から異文化への理解を深め、多様性を受け入れる態度を育むことなどにより、さらにこどもファーストのまちづくりに取り組んでいく。

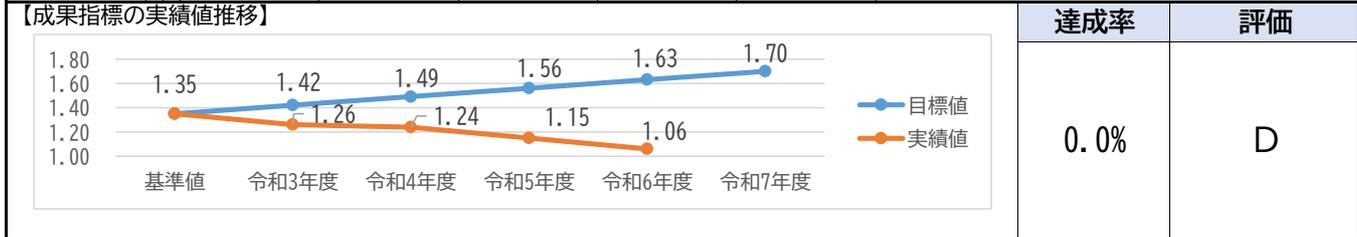
## 成果指標 2. 合計特殊出生率

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【重点施策】**  
**1. 子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現**

指標の説明 合計特殊出生率により、子育て支援施策の効果や子育て環境の充実度をはかる指標です。

基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
1.35	目標値	1.42	1.49	1.56	1.63	1.70	子どもたちの未来が広がる子育て・教育の新ステージの実現に向けた取り組みにより、人口ビジョンにおける人口目標の達成を目指します。
	実績値	1.26	1.24	1.15	1.06		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	結婚新生活支援事業	54,741	定住交流課
	<b>具体的な取組内容</b> 結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得・リフォームや貸借費用（敷金・礼金・家賃等）及び引越費用等の一部を補助する。 ○申請延べ件数：約470件 ○対象世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得500万円未満。ただし、賃貸住宅スタートアップは所得制限なし。 ○補助上限：マイホーム購入30万円、賃貸住宅スタートアップ15万円、家賃最大2年間48万円		
	<b>取組成果</b> 結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援することで、若者の希望するタイミングで結婚する環境が整備され、結婚への後押しになった。 ○補助世帯数：332世帯（補助額：54,741千円） ○スタートアップ支援：117件（住宅購入・リフォーム費用：11件、賃貸初期費用：92件、引越費用：14件） ○家賃支援268件		
2	妊娠・出産包括支援事業	11,570	こども家庭課
	<b>具体的な取組内容</b> ①産前・産後サポート事業（ホームスタート事業） [1,591] 妊婦や乳幼児のいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問し、傾聴（親の気持ちを受け止めて話を聴くこと）と協働（親と一緒に家事や育児、外出などをする）を行い、親の心の安定と子育て意欲の向上を生ま出すとともに、地域の子育て力の底上げを図る。 ②産後ケア事業 [9,979] 助産師等の支援を希望する産後12か月未満の母子に対し、産科医療機関や助産所等におけるショートステイ、デイケアにより産後の身体的回復と心理的な安定を図るとともに母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。		
	<b>取組成果</b> ①利用家庭数49件 延べ訪問件数280回 ホームビジター養成数4名 ②ショートステイ利用者数39人延べ利用日数257日 デイケア利用者数46人延べ利用日数205日 産婦及びその家族が家庭や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるようにサポートする体制を強化することができた。		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①放課後児童健全育成事業 [892,246]（こども政策課）
- ②こども家庭センター事業（母子保健機能） [13,480]（こども家庭課）
- ③待機児童対策推進パッケージ [240,571]（幼保企画課、幼保支援課）
- ④ICT教育フューチャービジョン推進事業 [391,778]（教育研修課）
- ⑤福島型給食推進事業 [515,847]（こども政策課、幼保支援課、教育施設管理課）
- ⑥母子保健スマート窓口推進事業 [3,464]（こども家庭課）
- ⑦出産・子育て応援給付金 [140,383]（こども家庭課、こども政策課）
- ⑧児童手当、児童扶養手当の拡充 [4,535,637]（こども政策課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

少子化の背景には、経済的な不安定さ、結婚・出産に対する価値観の多様化、仕事と子育ての両立の難しさ、ジェンダーギャップなど、希望の実現を阻む様々な要因が絡み合っており、総合的な対策が必要である。  
 今後も、結婚から妊娠・出産、子育てまで、きめ細やかな支援を切れ目なく行い、若い世代が結婚や子育てに希望を持ち、安心して子どもを産み育てることができる環境の充実を図る。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	保健総務課、衛生課、観光交流推進室、農業振興課、環境衛生課、公園緑地課、スポーツ振興課
----------	-----	-------	-----	---

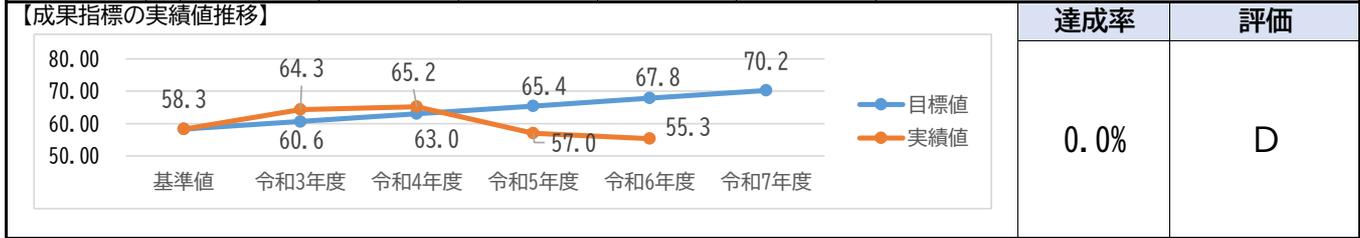
## 成果指標 3. 「福島市の復興が進んだ」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【重点施策】**  
**2. 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進**

指標の説明 市民意識調査により、本市の復興の進捗状況や復興施策に対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
58.3	目標値	60.6	63.0	65.4	67.8	70.2	復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	64.3	65.2	57.0	55.3		
	%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	仮置場返還等推進事業	372,669	環境衛生課
	具体的な取組内容	仮置場の速やかな返還に向け、関係者間協議や原状回復工事を順次進める。個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所の現場保管を解消する。 ○対象内容：(1)仮置場の原状回復 (2)現場保管の解消 ○進捗状況：(1)仮置場の原状回復 (2)搬出困難箇所の現場保管の解消	
	取組成果	仮置場ごとに地権者及び施設管理者等と原状回復に向けた協議を行い、順次、原状回復工事等を実施し返還を進めた。搬出困難事案の解消に向けた地権者協議や現地調査を継続して行い、現場保管の解消に努めた。 ○仮置場の返還のR6実績 4箇所 ※全41箇所中39箇所を返還完了済み。R7年度末までに全て返還予定。 ○搬出困難箇所の現場保管解消のR6実績 17件 ※全203件中56件を解消済み。	
2	放射線健康管理事業	60,472	保健総務課
	具体的な取組内容	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座等を行う。 ○対象内容：(1)市所有ホールボディカウンタでの線量測定 (2)ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 (3)放射線と市民の健康講座の開催	
	取組成果	ホールボディカウンタ等による内部被ばく検査及びガラスバッジによる外部被ばく検査結果から、福島市健康管理検討委員会より「健康に影響を与えるような数値ではない」との評価を受けた。また、健康講座開催後には、90.3%の受講者から放射線への基本的な知識を学び健康への不安が軽減されている旨のアンケート回答を得た。 ○内部被ばく検査 6,534件      ○ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 339件 ○放射線と市民の健康講座の開催 6回 189人	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)

- ①環境放射線量測定事業[25,194] (環境衛生課、公園緑地課)    ②放射能マップ作成事業[11,060] (環境衛生課)
- ③農産物・食品等放射能測定事業[61,999] (環境衛生課、衛生課、農業振興課)
- ④福島駅前軽トラ市開催事業[5,956] (農業振興課)    ⑤東北大学連携放射能測定事業[1,348] (環境衛生課)
- ⑥道の駅ふくしま運営[39,667] (観光交流推進室)    ⑦福島圏域デジタルスタンプラリーの実施[6,848] (観光交流推進室)
- ⑧ふくしま三湯プランディング事業[1,602] (観光交流推進室)
- ⑨「ふくしまステイ。」プロモーション事業[9,461] (観光交流推進室)
- ⑩あづま山麓ツーリズム推進事業[9,999] (観光交流推進室)    ⑪ふくしまシティハーフマラソン[55,000] (スポーツ振興課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き仮置場の返還を進めるとともに、放射線に関する各種検査や出前講座等により、市民の健康不安軽減を図る。また、中心市街地のまちづくりと街なか活性化の取組の推進により賑わいを創出し、市民の復興の実感を高めながら、本市の元気な姿を国内外へ発信し、風評払拭を推進する。

指標進捗管理担当	(主)	保健総務課	(副)	衛生課、健康づくり推進課、農業振興課、環境衛生課、 幼保支援課、公園緑地課、教育施設管理課
----------	-----	-------	-----	--

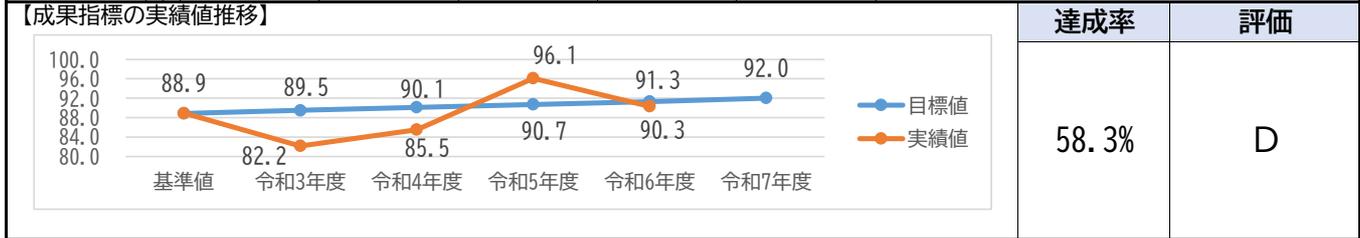
**成果指標** **4. 講座受講後の不安軽減率** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**2. 復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進**

指標の説明 放射線に関する健康講座を受講した後の不安軽減率により、放射線に関する正しい知識の理解度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
88.9	目標値	89.5	90.1	90.7	91.3	92.0	復興・創生のための放射線対策と風評払拭の推進により、不安軽減率が年0.5%程度増加することを目指します。
	実績値	82.2	85.5	96.1	90.3		
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%	58.3%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	仮置場返還等推進事業	372,669	環境衛生課
	具体的な取組内容	仮置場の速やかな返還に向け、関係者間協議や原状回復工事を順次進める。個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所の現場保管を解消する。 ○対象内容：(1)仮置場の原状回復 (2)現場保管の解消 ○進捗状況：(1)仮置場の原状回復 (2)搬出困難箇所の現場保管の解消	
	取組成果	仮置場ごとに地権者及び施設管理者等と原状回復に向けた協議を行い、順次、原状回復工事等を実施し返還を進めた。搬出困難事案の解消に向けた地権者協議や現地調査を継続して行い、現場保管の解消に努めた。 ○仮置場の返還のR6実績 4箇所 ※全41箇所中39箇所を返還完了済み。R7年度末までに全て返還予定。 ○搬出困難箇所の現場保管解消のR6実績 17件 ※全203件中56件を解消済み。	
2	放射線健康管理事業	60,472	保健総務課
	具体的な取組内容	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座等を行う。 ○対象内容：(1)市所有ホールボディカウンタでの線量測定 (2)ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 (3)放射線と市民の健康講座の開催	
	取組成果	ホールボディカウンタ等による内部被ばく検査及びガラスバッジによる外部被ばく検査結果から、福島市健康管理検討委員会より「健康に影響を与えるような数値ではない」との評価を受けた。また、健康講座開催後には、90.3%の受講者から放射線への基本的な知識を学び健康への不安が軽減されている旨のアンケート回答を得た。 ○内部被ばく検査 6,534件 ○ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 339件 ○放射線と市民の健康講座の開催 6回 189人	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①放射性物質吸収抑制対策事業[18,733] (農業振興課)
- ②環境放射線量測定事業[25,194] (環境衛生課、公園緑地課)
- ③農産物・食品等放射能測定事業[61,999] (環境衛生課、衛生課、農業振興課)
- ④給食まるごと検査事業[49,458] (幼保支援課、教育施設管理課)
- ⑤一般健康診査対象者拡大事業[96] (健康づくり推進課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

これまでの取り組みにより放射線に対する不安が軽減され受講者が減少傾向にあるなか、放射線に対する不安を抱える市民が一定程度いるため、正確な情報の提供、発信を行い不安軽減を図る。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	長寿福祉課、河川課、下水道整備課、農林整備課、道路保全課
----------	-----	-------	-----	------------------------------

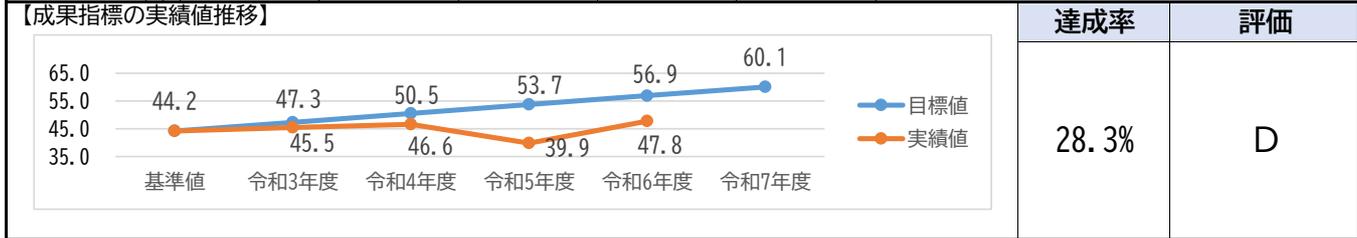
## 成果指標 5. 「危機や災害に強く安心して暮らせるまちである」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【重点施策】 3. 災害対策の強化</b>
--------	------------------------------

指標の説明	市民意識調査により、災害対策に対する満足度をはかる指標です。
-------	--------------------------------

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
44.2	目標値	47.3	50.5	53.7	56.9	60.1	災害対策の強化により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	45.5	46.6	39.9	47.8		
	達成率	41.9%	38.1%	0.0%	28.3%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	災害対策オペレーションシステムの運用	22,572	危機管理室
	具体的な取組内容 迅速・確実な防災情報配信を行うため、気象情報、雨量データ、河川水位、災害現場の映像などの情報を一元的に収集・表示するシステムの運用を開始する。 ○対象内容：(1)災害対策オペレーションシステム (2)Jアラート (3)現場映像伝送装置 (4)災害情報配信システム (5)河川水位予測システム導入 (6)独自雨量計の設置 (7)気象解析情報収集の多角化 (8)SNS情報収集システム導入		
	取組成果 迅速・確実な防災情報配信を行うため、気象情報、雨量データ、河川水位、災害現場の映像などの情報を一元的に収集・表示する災害対策オペレーションシステムを整備し、令和3年度から運用を開始した。 令和5年度からは、市独自雨量計と河川水位予測システムを導入し、河川水位監視強化を図り、迅速な避難判断に繋がる情報収集に努めている。 また、災害情報が投稿されたSNSから自動収集を可能とするシステムを追加し、情報収集力の強化を図った。		
2	河川強靱化事業	486,720	河川課
	具体的な取組内容 頻発する豪雨や台風等による浸水の予防及び被害軽減のため、新たな5ヶ年で普通河川の整備を進める。 ○対象内容：(1)常襲箇所対策 (2)自治振要望		
	取組成果 頻発する豪雨や台風による浸水の予防及び被害軽減のため、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、市管理河川の改修を実施した。 普通河川 渋川 他15河川 改修延長L=1,409.3m		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)

- ①ポンプ場等耐水化事業 (下水道整備課)    ②避難行動要支援者支援事業[47,363] (長寿福祉課)
- ③避難所対策 [3,095] (危機管理室)    ④河川災害対策事業 [6,494] (河川課)
- ⑤洪水・土砂・内水ハザードマップ活用 [13,709] (河川課・下水道整備課)    ⑥地域防災力強化事業 [5,200] (危機管理室)
- ⑦田んぼダム[19,848] (農林整備課)    ⑧除雪力強化パッケージ[13,363] (道路保全課)
- ⑨ふくしま防災体験フェア [811] (危機管理室)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。防災に関する様々な取り組みを積極的に行っているため、市民に対して効果的に発信し、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

「防災講話」や「ぼうさい体験パッケージ」のほか、各地区で進めている地区防災計画の作成を通じて、市民・地域の防災意識醸成を図るとともに、「防災訓練」や「ふくしま防災体験フェア」の開催を機会に、国や県と連携し、災害対策強化内容の情報発信に努める。併せて、河川改修や洪水調整施設の新設など、機能強化を図るハード整備も引き続き進めていく。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課
----------	-----	-------	-----	--------------

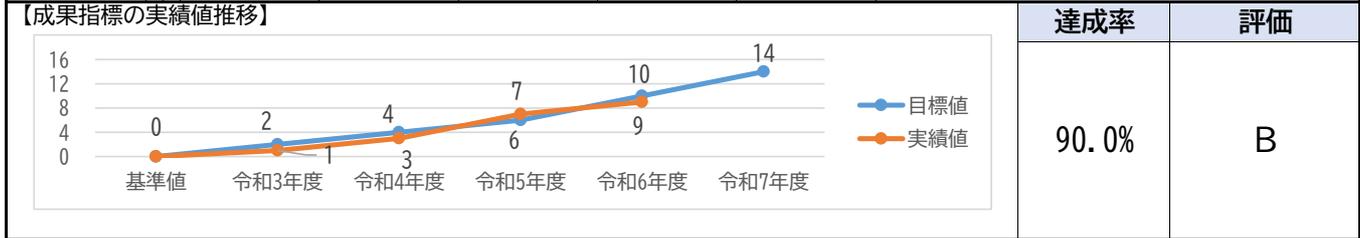
**成果指標** **6. 地区防災マップ・防災計画の策定地区数** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**3. 災害対策の強化**

指標の説明 地区防災マップ・防災計画を策定している地区数により、市民防災力の充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
0	目標値	2	4	6	10	14	災害対策の強化により、地区防災マップ・防災計画を策定する地区を14地区目指します。
	実績値	1	3	7	9		
	達成率	50.0%	75.0%	100.0%	90.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	地域防災力強化事業	事業費 (千円)	5,200	担当課	危機管理室
1	具体的な取組内容	地域コミュニティの強化と災害に強いまちづくりを推進するため、地域の実態に応じた地区防災マップや地区防災計画の作成を支援する。○実施内容：(1)防災ワークショップの開催 (2)地区防災マップ・地区防災計画の作成 ○対象地区：(1)防災マップ：岡部・北部地区、明治地区、上名倉地区、庄野地区、南向台・絵馬平等 (2)防災計画：湯野地区、瀬上地区、土船地区 また、防災訓練等を通して、自主防災組織の育成、防災力の強化を図る。 ○実施内容：防災講演会、防災リーダー研修会、防災訓練の支援・指導の実施				
	取組成果	地域住民が主体となり、地区の防災マップや防災計画を作成することで、自助・共助の意識の醸成や地域防災力の強化に寄与するとともに、「自らの地域は自分たちが守る」という住民意識の向上につながった。				

No	取組名	避難行動要支援者支援事業	事業費 (千円)	47,363	担当課	長寿福祉課、障がい福祉課 危機管理室
2	具体的な取組内容	災害時の避難に支援を要する方を地域で円滑に支援することができるよう、避難行動要支援者の新規登録勧奨や登録台帳の整備を実施する。また、福祉専門職や各地域の方と協力し、個別避難支援プランの作成を進める。 ○対象内容：(1)福祉専門職による個別避難支援プランの作成業務委託 (2)地域による個別避難支援プランの作成支援				
	取組成果	○避難行動要支援者名簿登録者数：12,199人 (R6.12.15時点) ○個別避難支援プラン作成数 (R6年度末時点) ・目標数3,354件 (ハザード区域内) に対し、作成済み760件				

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)**

①災害対策オペレーションシステムの運用 [22,572] (危機管理室) ②地域防災訓練 [1,227] (危機管理室)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

住民が主体となる取組みであることから、住民により近い各支所防災担当のスキルアップに努めるとともに、平時から自助・共助の意識醸成を図ることで、作成地区の増につなげる。

指標進捗管理担当	(主)	保健総務課	(副)	健康づくり推進課
----------	-----	-------	-----	----------

## 成果指標

## 7. 「健康づくりや医療体制が充実したまちである」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>[重点施策]</b> <b>4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進</b>																												
指標の説明	市民意識調査により、健康・医療体制に対する満足度をはかる指標です。																												
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進により、市民満足度の向上を目指します。																						
44.0	目標値実績値達成率	47.3	50.7	54.0	57.4	60.8																							
%		100.0%	100.0%	0.0%	100.0%																								
[成果指標の実績値推移]							達成率	評価																					
<table border="1"> <caption>成果指標の実績値推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>基準値</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> <th>令和7年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目標値</td> <td>44</td> <td>47.3</td> <td>50.7</td> <td>54.0</td> <td>57.4</td> <td>60.8</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>44</td> <td>54.5</td> <td>57.6</td> <td>43.9</td> <td>58.1</td> <td>60.8</td> </tr> </tbody> </table>							年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値	44	47.3	50.7	54.0	57.4	60.8	実績値	44	54.5	57.6	43.9	58.1	60.8	100.0%	A
年度	基準値	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度																							
目標値	44	47.3	50.7	54.0	57.4	60.8																							
実績値	44	54.5	57.6	43.9	58.1	60.8																							

### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	地域医療確保対策費	事業費 (千円)	321,083	担当課	保健総務課
1	具体的な取組内容	市民の医療提供体制の確保と充実強化を図るため、市内救急告示病院等で、夜間、土・日・祝日及び年末年始の日中における二次救急医療体制を確保するための費用の補助、医師の確保対策、救急電話相談窓口の設置等を行う。 ○事業内容：(1)地域医療対策協議会運営事業 (2)医師確保事業 (3)救急医療病院群輪番制強化事業 (4)福島県立医科大学との連携（寄附講座） (5)救急安心センター事業（#7119救急電話相談）				
	取組成果	①医師確保対策事業、救急医療病院群輪番制強化事業、子ども医療対策事業等について協議【10月開催】 ②臨床研修の充実と募集研修医のマッチングを図る「NOWプロジェクト」事業への補助【全3回セミナー実施、ICLS研修は全4回60名参加、レジナビ合同研修会2回参加】 ③二次救急医療病院群輪番制により24時間365日受入れ体制を整備【輪番時間帯の救急搬送受入れ実績：8,166件】 ④県立医大の地域救急医療支援口座と連携し、二次救急病院への実施研修等により救急体制強化【60,000千円】 ⑤24時間365日の救急電話相談体制【市民利用者5,281人※県内1位】				
No	取組名	健都ふくしまの創造	事業費 (千円)	17,873	担当課	健康づくり推進課
2	具体的な取組内容	市民の健康寿命を延伸し、生涯にわたって安心して健康で暮らせるまち「健都ふくしま」の実現を目指して、「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」、「地域の健康づくり」、「職場の健康づくり」の3本柱で福島らしさを活かした取組を実施し、市民・民間・行政の総ぐるみによる健康なまちづくりを推進する。 ○事業内容：(1)健康づくり推進事業 (2)受動喫煙防止対策 (3)食育・食環境整備（「適しお」の推進） (4)健都ふくしま創造市民会議 (5)歯と口腔の健康づくり推進 (6)地域の健康づくり (7)職場の健康づくり (8)生活習慣病重症化予防対策事業				
	取組成果	①「一人ひとりの健康を応援する環境づくり」では、効果的な健康づくりについて各種推進委員会で協議しながら、各団体や市民との連携・協働による健康づくり・環境づくりを進めた。②「地域の健康づくり」では、地域特性に応じ、地域の健康課題の学習会や、健康づくりを推進する組織などに対して市民の主体的な健康づくり活動の支援を行った。③「職場の健康づくり」では、推進委員会の開催等により就労者が健康で長く働き続けるため、職場の健康診断受診率向上に向けた取り組みや健康経営を通じた健康づくりの推進を行った。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①休日在宅当番医制運営事業 [4,767]（保健総務課）	②救急医療病院群輪番制運営費補助 [114,050]（保健総務課）
③夜間休日急病センター運営事業 [215,809]（保健総務課）	④休日救急歯科診療所運営事業 [16,625]（保健総務課）
⑤子どもの医療確保対策事業 [82,839]（保健総務課）	

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。小児医療の充実は図られてきているが、引き続き医療体制の充実に取り組んでほしい。
--

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地域医療確保対策を着実に進めるとともに、子どもの医療確保対策の重点的な取り組みにより、小児医療の充実が図られてきたため、引き続き、必要な時に必要な医療を受けられる地域医療体制の充実に向けて取り組んでいく。 また、「ふくしま健康づくりプラン2024」に基づき、市民の健康づくりに対する意識の醸成やヘルスリテラシーの向上を図るとともに、市民、民間、行政等総ぐるみによる福島らしさを活かした健康なまちづくりを推進するための働きかけを継続的に行い「健都ふくしま」の実現に向けて取り組んでいく。
---

指標進捗管理担当	(主)	共生社会推進課	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課、交通政策課
----------	-----	---------	-----	--------------------

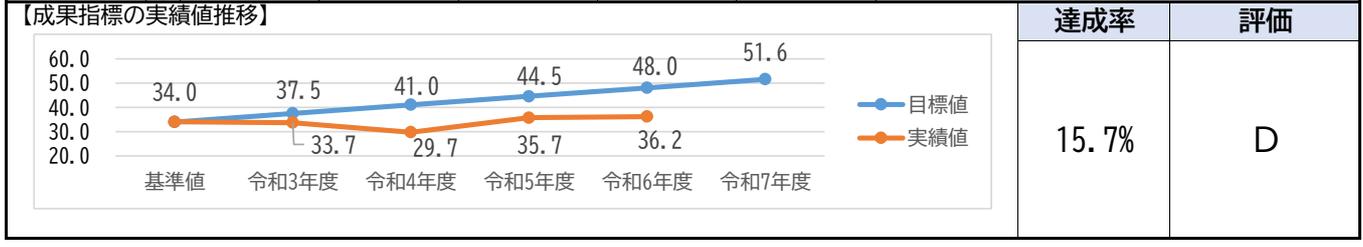
**成果指標** 8.「高齢者や障がいのある人、子ども連れの人などが外出する際、周りの人の理解や手助けがある」と答えた市民の割合

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進**

指標の説明 市民意識調査により、高齢者や障がい者などへの福祉に対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
34.0	目標値	37.5	41.0	44.5	48.0	51.6	安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	33.7	29.7	35.7	36.2		
	%	0.0%	0.0%	16.2%	15.7%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	地域包括ケアシステムの推進	事業費 (千円)	489,185	担当課	長寿福祉課
1	具体的な取組内容	市民が高齢期を安心して過ごせるよう、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22カ所)を運営する。また、認知症高齢者やその家族を支えるために認知症地域支援推進員を、地域で高齢者の生活を支える体制づくりのため地域支え合い推進員を各センターに配置する。				
	取組成果	○高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」(22カ所)を運営し、高齢期の市民の安心につながった。 ○認知症地域支援推進員および地域支え合い推進員を「地域包括支援センター」に配置したことにより認知症高齢者等や家族を支える体制、地域支え合い体制の推進が図られた。				

No	取組名	バリアフリー推進事業	事業費 (千円)	3,293	担当課	共生社会推進課
2	具体的な取組内容	障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう、ハード面・ソフト面に加え、心のバリアフリーの普及啓発を図るため、バリアフリー推進パートナーミーティングを開催するとともに、市民を対象とした講演会や出前講座等の開催、推進パートナーとなっている大学の学生による心のバリアフリー推進隊による啓発活動を実施する。				
	取組成果	パートナー間の意見交換、講演会等による学ぶ機会の創出や推進隊による普及啓発、バリアフリーマップの情報更新などを通じて、市民のバリアフリーに対する理解促進が図られた。 ○バリアフリー推進パートナーミーティング(参加者数:78名(45団体)) ○心のバリアフリー講演会(参加者数:74名)・出前講座(実施件数:51件、参加者数:延べ2,118名) ○心のバリアフリー推進隊による普及啓発活動(5回、結・ゆい・フェスタ等でのチラシ配布)				

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)**

- ①いきいきももりん体操・お口のももりん体操[675](長寿福祉課)
- ②路線バス等高齢者利用促進事業[167,226](交通政策課)
- ③地域生活支援拠点等整備事業[6,499](障がい福祉課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

市民意識調査では、市民一人ひとりの行動をあまり目にしないとの回答が見受けられた。本市は、市民の行動変容を促す「気づき」の一つとなる心のバリアフリーの認知度が、全国に比べ高いものの50%には到達していない状況であることから、福祉サービスの提供はもとより「心のバリアフリー推進隊」を核とした普及啓発を通じ、こうした市民行動につながる認知・理解の向上に取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	健康づくり推進課	(副)	長寿福祉課、スポーツ振興課
----------	-----	----------	-----	---------------

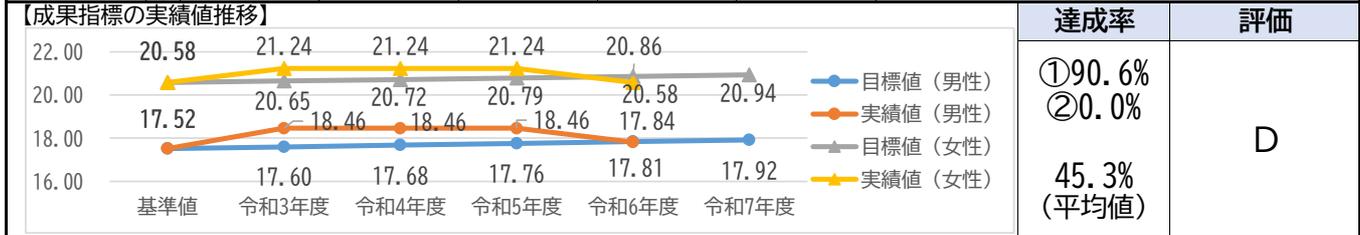
**成果指標** **9. お達者度(65歳健康寿命)** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**4. 安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進**

指標の説明 65歳における健康寿命により、市民の健康状況の改善をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(男性) 17.52	目標値	①17.60	①17.68	①17.76	①17.84	①17.92	安心して暮らせる健康・医療・福祉の総合的な推進により、健康寿命の延伸を目指します。
	実績値	②20.65	②20.72	②20.79	②20.86	②20.94	
②(女性) 20.58	目標値	①18.46	①18.46	①18.46	①17.81		
	実績値	②21.24	②21.24	②21.24	②20.58		
	達成率	①100.0%	①100.0%	①100.0%	①90.6%		
		②100.0%	②100.0%	②100.0%	②0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費(千円)	担当課
1	健都ふくしまの創造(地域の健康づくり)	2,082	健康づくり推進課
	具体的な取組内容		
	住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の特性に応じた市民の主体的な健康づくり活動を支援し、市民・民間・行政総ぐるみの健康づくりを推進する。 ○取組内容：①地域の健康課題等についての学習会を実施する ②地区組織や団体関係機関とのネットワークづくり ③地域の健康づくり推進組織の設置・活動を支援する・		
	取組成果		
	住民や地区組織と共に、地域の健康課題の共有や解決策を考える学習会・話し合いの場を開催し、生活習慣病予防の取組、健康情報の普及啓発を行った。その結果、個人の健康づくりに留まらない地域全体での健康づくりの取組や人と人とのつながりへと広がり、安心して暮らせる地域づくりに繋がっている。 ○取組実績：(1)健康づくりに関する健康教育 137回 延べ3,125人 (2)地域の健康づくり推進組織への活動支援(4地区)・その他の地区組織との連携		
2	国民健康保険特定健康診査等事業	220,662	健康づくり推進課
	具体的な取組内容		
	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1)特定健診・保健指導事業(2)特定健康診査未受診者等対策(3)糖尿病重症化予防事業(4)高齢者のフレイル対策など		
	取組成果		
	特定健診を実施し、特定保健指導に該当者に対し特定保健指導を実施した。また、特定健診未受診者対策、特定保健指導の未利用者対策として、通知や電話などで勧奨を行い、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1)特定健診受診者17,207人 受診率44.0%(速報値)※データヘルス計画目標値 60% (2)特定保健指導者 184人 受診率12.0%(速報値)※データヘルス計画目標値 45% (3)特定健診未受診勧奨者 21,001人 (4)特定保健指導未利用勧奨者 388人		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①健康づくり推進事業[1,506](健康づくり推進課)
- ②受動喫煙防止対策[8,159](健康づくり推進課)
- ③「適しお」の推進(食環境整備)[2,707](健康づくり推進課)
- ④歯と口腔の健康づくり推進[385](健康づくり推進課)
- ⑤健都ふくしま創造市民会議[238](健康づくり推進課)
- ⑥職場の健康づくり[211](健康づくり推進課)
- ⑦いきいきももりん体操・お口のももりん体操[675](長寿福祉課)
- ⑧パラスポーツ振興事業[8,348](スポーツ振興課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

今後の結果を注視していきながら、引き続き関係機関と連携し健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていくことで「健都ふくしま」の実現を目指す。

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	観光交流推進室、交通政策課
----------	-----	-------	-----	---------------

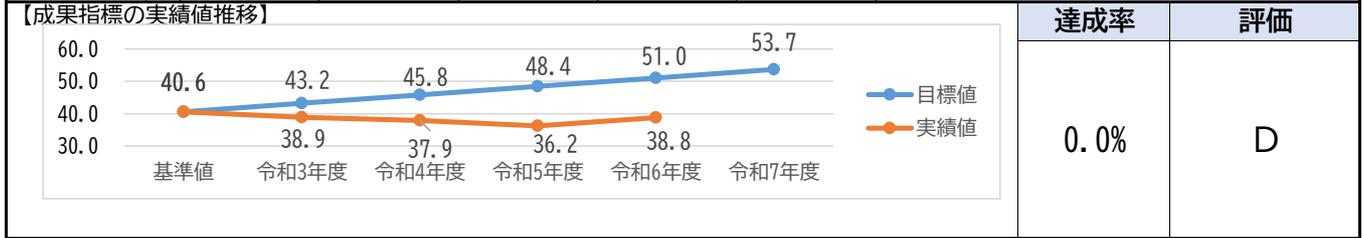
## 成果指標 10. 「福島らしい文化芸術で自信を持って紹介できるものがある」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【重点施策】 5. 豊かな文化芸術の振興と発信**

指標の説明 市民意識調査により、福島らしい文化芸術に対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
40.6	目標値	43.2	45.8	48.4	51.0	53.7	豊かな文化芸術の振興と発信により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	38.9	37.9	36.2	38.8		
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	古閑裕而を活かしたまちづくり事業	37,928	文化振興課 スポーツ振興課
	具体的な取組内容	古閑裕而氏と古閑メロディーを活用し、音楽イベントの開催や街なかで古閑メロディーに触れる機会を創出するなど、官民一体で古閑氏と音楽を活かしたまちづくりを進めた。 ○古閑裕而記念音楽祭2024：古閑メロディーと氏の功績を継承する音楽祭を開催した。 ○古閑裕而作曲コンクール：古閑氏の名を冠した本市独自の作曲コンクールを開催し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会を創出したほか、全国へ古閑裕而のふるさと・福島市を発信した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ：福島ゆかりのプロの音楽家により構成され、音楽堂を拠点に活動する「古閑裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援した。 ○ふくしままちなか音楽祭2024：まちなかを舞台とした市民参加型の野外音楽イベントを開催し、音楽によりまちなかのにぎわいを創出した。 ○古閑裕而杯の開催：「古閑裕而杯：第1回中学生女子軟式野球大会」を開催した。	
	取組成果	第二回古閑裕而作曲コンクールは全国から多数の応募があり、一次審査を通過した8名の作曲者を迎えて本選会を開催し、全国へ古閑裕而のふるさと・福島市を発信した。まちなか音楽祭は、市内外から多くの出演者を迎えて開催し、4,000名を超える来場者があるなど、古閑裕而のまちにふさわしい「街中に音楽があふれる1日」となった。その他、古閑氏と音楽を活かした各種施策を行い、福島らしい芸術文化の発信に寄与した。	
2	旧広瀬産再整備事業	146,163	文化振興課
	具体的な取組内容	民家園内にある国指定重要文化財「旧広瀬産」の保存及び各種イベントに活用できるよう再整備を進めた。	
	取組成果	建物本体の保存修理、電気・機械設備の新設、更新等を行い、令和7年度の再整備工事完了に向け工事を進めた。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①文化振興計画策定事業 [192]（文化振興課）      ②エールレガシー事業 [4,360]（観光交流推進室）
- ③メロディーバス運行事業 [18,445]（交通政策課）      ④文化財保存活用地域計画策定事業 [3,090]（文化振興課）
- ⑤ふくしま文化芸術振興事業 [25,290]（文化振興課）      ⑥じょーもびあ宮畑活用推進事業 [7,520]（文化振興課）
- ⑦写真美術館活用推進事業 [6,500]（文化振興課）      ⑧民家園活用推進事業 [180]（文化振興課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。教育分野と連携して取り組むなど、若年層に古閑裕而の認知が広がることを望む。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

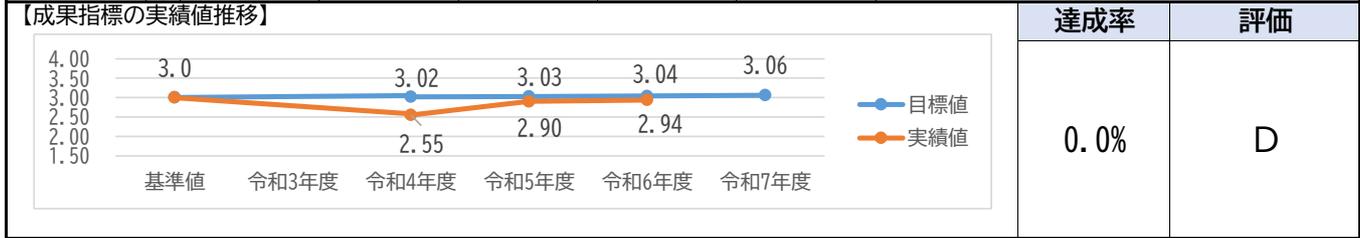
若年層への認知度向上の取り組みとして、小学6年生を対象とした教育活用事業（じょーもびあ宮畑・古閑裕而記念館・音楽堂への校外学習の調整とバスの手配）を実施している。引き続き教育分野との連携を図るとともに、今後は、新たに策定した文化振興計画に基づき、福島らしい文化芸術の振興と発信に努め、市民満足度の向上を目指していく。

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)
----------	-----	-------	-----

**成果指標** **11. 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策	<b>【重点施策】</b> <b>5. 豊かな文化芸術の振興と発信</b>						
指標の説明	市内主要文化施設の市民一人あたりの利用回数により、市民が文化芸術活動に触れ、親しんでいる状況をはかる指標です。 ※本市主要文化施設 音楽堂、草心苑、写真美術館、福島テルサ、アオウゼ、古関裕而記念館						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
3.0 回	目標値	—	3.02	3.03	3.04	3.06	豊かな文化芸術の振興と発信により、5年間で2%の利用回数の増加を目指します。
	実績値	—	2.55	2.90	2.94		
	達成率	—	0.0%	0.0%	0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	古関裕而を活かしたまちづくり事業（文化関連）	事業費 (千円)	37,628	担当課	文化振興課
1	具体的な取組内容	古関裕而氏と古関メロディーを活用し、音楽イベントの開催や街なかで古関メロディーに触れる機会を創出するなど、官民一体で古関氏と音楽を活かしたまちづくりを進めた。 ○古関裕而記念音楽祭2024：古関メロディーと氏の功績を継承する音楽祭を開催した。 ○古関裕而作曲コンクール：古関氏の名を冠した本市独自の作曲コンクールを開催し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会を創出したほか、全国へ古関裕而のふるさと・福島市を発信した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ：福島ゆかりのブコの音楽家により構成され、音楽堂を拠点に活動する「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援した。 ○ふくしままちなか音楽祭2024：まちなかを舞台とした市民参加型の野外音楽イベントを開催し、音楽によりまちなかのにぎわいを創出した。				
	取組成果	第二回古関裕而作曲コンクールは全国から多数の応募があり、一次審査を通過した8名の作曲者を迎えて本選会を開催し、全国へ古関裕而のふるさと・福島市を発信した。まちなか音楽祭は、市内外から多くの出演者を迎えて開催し、4,000名を超える来場者があるなど、古関裕而のまちにふさわしい「街中に音楽があふれる1日」となった。その他、古関氏と音楽を活かした各種施策を行い、福島らしい芸術文化の発信に寄与した。				
No	取組名	主要文化施設管理運営事業	事業費 (千円)	644,280	担当課	文化振興課
2	具体的な取組内容	本市主要文化施設の適切な維持管理を図るとともに、施設の指定管理者制度を活かし、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応した文化芸術に親しむ機会を提供し、本市の文化振興につなげた。 ○主な取り組み 【音楽堂】 SNS等を中心に若者から注目を集めるインフルエンサーを招聘し、新たな顧客獲得を図った。 【写真美術館】 文化財の特徴を生かしたユニークメニューとしての企画等を実施し、参加者満足度を高めた。 【古関裕而記念館】 予約システムを活用し、旅行者者ニーズを捉えた誘客活動に取り組むなど、市外からの誘客促進に努めた。				
	取組成果	各施設の指定管理者が、施設の特徴等を生かしながら、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、これまでの固定概念にとらわれないイベントの実施やデジタル技術を生かした誘客促進等に努めたことで、新たな顧客獲得や市外からの誘客促進につながった。				

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①文化振興計画策定事業 [192]（文化振興課）
- ②ふくしま文化芸術振興事業 [25,290]（文化振興課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。市施設のみを対象とした指標の設定に疑義は残るが、要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

目標達成には至らなかったものの、コロナ禍による年間利用回数の減少から回復傾向が続いていることから、引き続き市民が文化芸術活動に触れる機会を積極的に提供し、各施設の年間利用回数の増加に努めていく。  
民間等施設については、設置の主旨・目的・規模などが現在の対象施設とは大きく異なっており、その利用状況も含めた指標の設定は難しいと考えるが、利用促進に向けた取り組みなど適宜参考としていく。

指標進捗管理担当	(主)	環境政策課	(副)	ごみ政策課、環境施設整備課、管財課、農業振興課、 農林整備課、道路保全課、下水道管理課
<b>成果指標</b>		<b>12. 「CO2の発生抑制やごみの減量など、地球環境にやさしい生活を常に心がけている」と答えた市民の割合</b>		

## 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【重点施策】 6. 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築</b>																												
指標の説明	市民意識調査により、地球温暖化対策や環境保全等に対する満足度をはかる指標です。																												
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
<b>70.8</b>  %	目標値	72.8	74.9	76.9	79.0	81.1	脱炭素社会の実現と循環型社会の構築への取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。																						
	実績値	76.2	72.6	68.0	82.5																								
	達成率	100.0%	43.9%	0.0%	100.0%																								
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table border="1"> <caption>目標値と実績値の推移</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値</td> <td>70.8</td> <td>70.8</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>72.8</td> <td>76.2</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>74.9</td> <td>72.6</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>76.9</td> <td>68.0</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>79.0</td> <td>82.5</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>81.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	目標値	実績値	基準値	70.8	70.8	令和3年度	72.8	76.2	令和4年度	74.9	72.6	令和5年度	76.9	68.0	令和6年度	79.0	82.5	令和7年度	81.1		100.0%	A
年度	目標値	実績値																											
基準値	70.8	70.8																											
令和3年度	72.8	76.2																											
令和4年度	74.9	72.6																											
令和5年度	76.9	68.0																											
令和6年度	79.0	82.5																											
令和7年度	81.1																												

## 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	脱炭素住宅整備事業	事業費 (千円)	34,490	担当課	環境政策課
1	具体的な取組内容	家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備(V2H)、④ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円(上限100,000円) ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3(上限20,000円) ※いずれも助成対象経費以内				
	取組成果	一般家庭への太陽光発電システム(合計2,157kW)や蓄電池の世知により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数(金額)：①362件(14,480千円) ②234件(18,397千円) ③1件(100千円) ④129件(1,290千円) ⑤7件(223千円)				
No	取組名	ごみ減量化促進対策事業	事業費 (千円)	11,508	担当課	ごみ政策課
2	具体的な取組内容	家庭から出る資源にできない燃やすごみの8割を占める「生ごみ、紙類、草枝類」の減量化・資源化促進に関する事業、集団資源回収報奨金制度、事業者と連携した3R&食品ロス削減の推進等を通じ、ごみの減量化・資源化を図る。 ○対象内容：①生ごみゼロチャレンジ事業(食品ロス削減事業含む) ②生ごみ処理容器購入費助成事業 ③食品ロス削減事業 ④使用済みはがき回収事業 ⑤家庭用剪定枝破砕機貸与事業 ⑥ごみ分別アプリの普及促進 ⑦集団資源回収報奨金制度 ⑧開封調査の導入 ⑨電池類の分別回収強化				
	取組成果	家庭から出る資源にできない燃やすごみのうち最も多い4割を占める生ごみ削減を目的にキエーロの普及促進や生ごみ処理容器購入費助成(365件2,906千円)を引き続き行ったほか、フードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」を無償提供し、(916.4kg)の食品ロス削減に繋がった。 また、開封調査を導入し分別や適正排出の周知に取り組んだほか、乾電池や充電式電池のリサイクルの推進に新たに令和7年3月から取り組んだ。さらに、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」普及のため、市政出前講座を通じた対面の利用の呼びかけや検索項目の追加による機能面の充実により利便性の向上を図った。(タウンロード件数38,500件(+8,252件))これらの取り組みの結果、生活系ごみ排出量の削減につなげることができた。				

## 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

①脱炭素スタイル普及啓発事業[990](環境政策課)	②ふくしま環境フェスタ開催事業[1,195](環境政策課)
③環境に配慮した公用車の配置[18,233](管財課)	④街路灯・道路照明灯LED化推進事業[153,090](道路保全課)
⑤森林環境整備事業[48,023](農林整備課)	⑥浄化槽設置・撤去・宅内配管工事の補助[45,069](下水道管理課)
⑦環境保全型農業直接支払交付金事業[2,555](農業振興課)	⑧公共施設の省エネ改修[57,475](管財課)
⑨あぶくまクリーンセンター焼却工場再整備事業[293,386](環境施設整備課)	

## 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き啓発を図りながら、着実に取り組みを推進してほしい。

## 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

市民や事業者に対して、CO2の排出抑制や生ごみ減量などの啓発をするとともに、実践に繋げる必要があり、コベネフィットを意識した再生可能エネルギーの導入や省エネルギー・省資源の取組みについて、引き続き市民に普及啓発をしていく。

指標進捗管理担当	(主)	環境政策課	(副)	管財課、道路保全課、産業雇用政策課
----------	-----	-------	-----	-------------------

**成果指標** **13. 温室効果ガス実質排出量** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**6. 脱炭素社会の実現と循環型社会の構築**

指標の説明 温室効果ガスの実質排出量により、地球温暖化対策等の充実度をはかる指標です。  
※令和6年度評価に関して、算定根拠となっている国の統計データの見直しが行われ、目標値及び実績値の遡及修正が必要となった。所管の審議会において数値を精査のうえ、今年度中に個別計画の中間見直しを進める。

基準値 (平成29年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
2,149 千t-CO2	目標値	2,071 (令和元年度)	1,994 (令和2年度)	1,812 (令和3年度)	1,730 (令和4年度)	1,648 (令和5年度)	脱炭素社会の実現と循環型社会の構築への取り組みにより、温室効果ガス排出量実質ゼロとなる社会の達成を目指します。
	実績値	2,006 (令和元年度)	1,894 (令和2年度)	1,881 (令和3年度)	—	—	
	達成率	100.0%	100.0%	79.5%	—	—	



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	脱炭素住宅整備事業	34,490	環境政策課
	<p>具体的な取組内容</p> <p>家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備(V2H)、④ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円(上限100,000円) ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3(上限20,000円) ※いずれも助成対象経費以内</p> <p>取組成果</p> <p>一般家庭への太陽光発電システム(合計2,157kW)や蓄電池の世知により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数(金額)：①362件(14,480千円) ②234件(18,397千円) ③1件(100千円) ④129件(1,290千円) ⑤7件(223千円)</p>		
2	街路灯・道路照明灯LED化推進事業	153,090	道路保全課
	<p>具体的な取組内容</p> <p>省エネルギー化を推進するため、既存の街路灯及び照明灯をLEDに転換する。 ○対象内容 街路灯約1,300灯切替/年、道路照明灯約430灯切替/年 ○対象進捗 街路灯：LED灯16,160灯/総数19,505灯(令和6年度末)⇒LED化率82.9% 道路照明灯：LED灯932灯/総数3,069灯(令和6年度末)⇒LED化率30.4%</p> <p>取組成果</p> <p>温室効果ガスの排出量削減のため、平成24年度から令和6年度まで街路灯16,160灯、道路照明灯932灯を蛍光灯及び水銀灯等からLED灯へ切り換えを行った。令和6年度の実績について、街路灯1,570灯、道路照明灯446灯のLED灯へ切り換えを街路灯・道路照明灯LED化推進事業により行った。</p>		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①環境に配慮した公用車の配備[18,233](管財課)
- ②ゼロカーボンアクション推進事業[34](環境政策課)
- ③水素社会実現推進事業[699](環境政策課)
- ④ふくしま環境フェスタ開催事業[1,195](環境政策課)
- ⑤次世代エネルギーパーク推進事業[165](環境政策課)
- ⑥再生可能エネルギー導入促進事業[1,607](環境政策課)
- ⑦脱炭素スタイル普及啓発事業[990](環境政策課)
- ⑧中小企業ゼロカーボン資金融資[408,000](産業雇用政策課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

—

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

—

指標進捗管理担当	(主)	産業雇用政策課	(副)	観光交流推進室、にぎわい商業課、企業振興課、農業企画課、農業振興課
----------	-----	---------	-----	-----------------------------------

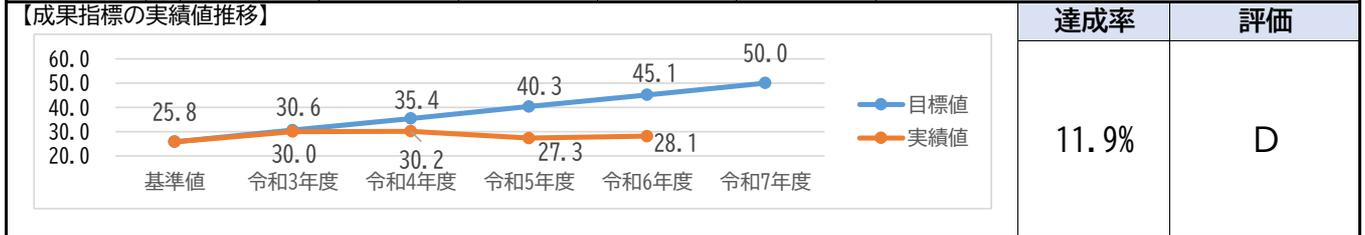
**成果指標** 14. 「農業や商業、工業などの産業が活力あふれるまちである」と答えた市民の割合

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
7. 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現

指標の説明 市民意識調査により、農業や商業、工業の活性化等に対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
25.8	目標値	30.6	35.4	40.3	45.1	50.0	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現への取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	30.0	30.2	27.3	28.1		
	%	87.5%	45.8%	10.3%	11.9%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	スイーツ・プレミアム事業 具体的な取組内容 本市のイメージと市産農産物の附加価値向上、地域経済の活性化を図るため、本市農産物等を使用したスイーツを「ふくしまスイーツ・プレミアム」としてブランディングする。 ○ふくしまスイーツ・プレミアム認証品PR事業 取組成果 ○首都圏主要駅と函館駅で特別販売会を開催。 ○認証品のプロモーション動画を市公式YouTubeで配信し、認知度拡大を図った。(視聴回数89,752回) ○市公式Instagramにより特別販売会の情報や認証品と地酒のペアリングを発信し、認知度拡大を図った。(フォロワー数1,654名)	3,993	観光交流推進室
2	街なか出店入居者家賃補助事業 具体的な取組内容 街なかの活性化を図り賑わいを創出するため、空き店舗や新規店舗、空き家に出店する事業者に対し、店舗の賃料の一部を補助する。 ○対象者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか 取組成果 「空き店舗重点対策地域(創業ゾーン)」での家賃補助事業については、令和4年度より引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。令和6年度の新規件数は30件で、令和4年度から継続的に補助している71件を含め、合計で101件の補助を行い、街なかの賑わい創出と経済活動活性化に貢献した。	80,554	にぎわい商業課

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)**

- ①福島大学食農学類連携事業[2,000] (農業企画課)
- ②ふくしまの農産物魅力アップ事業[4,062] (農業振興課)
- ③福島駅前軽トラ市開催事業[5,956] (農業振興課)
- ④地域6次産業化推進事業[2,794] (農業振興課)
- ⑤新製品・新技術開発支援事業[16,825] (産業雇用政策課)
- ⑥ふくしま新製品・新システム応援事業[1,976] (産業雇用政策課)
- ⑦第2期福島おおぞらインター工業団地整備事業[616,645] (企業振興課)
- ⑧新規出店にかかる内外装工事等支援事業 [29,653] (にぎわい商業課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。福島市の企業の知名度を高め、若年層の働く選択肢が広がる取り組みの実践を望む。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

収益力の向上と経済循環が促進され、産業の活性化等に対する市民満足度の向上につながるよう、地場産業支援や新製品開発支援、市産産物の生産と流通の促進、企業誘致、賑わい創出、若年層の雇用対策など複合的に施策を展開する。  
学生向けに就職セミナーや企業訪問を通して地元企業の魅力を知る機会を設けたり、ダイバーワークスタイル認証企業が取り組む仕事と家庭の両立や多様な働き方ができる職場づくりや働く人の声をホームページにて周知するなど、地元企業の魅力を広く発信していく。

指標進捗管理担当	(主)	農業企画課	(副)	農業振興課、農林整備課、観光交流推進室
----------	-----	-------	-----	---------------------

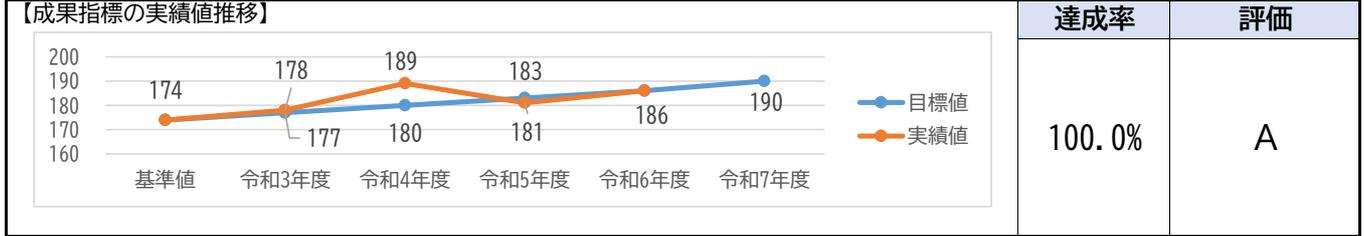
**成果指標** **15. 農業産出額** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**7. 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現**

指標の説明 農業生産の実態を示す金額（産出額）により、農業の振興の状況をはかる指標です。

基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
174 億円	目標値	177	180	183	186	190	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現に向けた取り組みにより、190億円の農業産出額を目指します。
	実績値	178	189	181	186		
	達成率	100.0%	100.0%	77.8%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	あぐりっしゅサポートパッケージ 新規就農を推進するため、相談・体験・研修・営農・定着に至る各ステップで、総合的に支援する。 ○あぐりっしゅサポート事業（農業体験支援事業、農業経営開始支援事業、農業メンター事業、農地流動化支援事業（新規就農者対象）） ○新規就農者育成総合対策事業（新たに独立して農業経営を行う農業者に対し、資金を交付）	89,130	農業企画課
	取組成果 就農希望者に対し相談業務を実施するとともに、各ステップにおける支援事業を案内することにより、事業活用の促進及び新規就農者の確保につながった。また、営農を開始した農業者に対し、メンターのあっせんや資金面での支援を行うことにより、新規就農者の確保と定着を図った。 ○農業経営開始支援事業 21件 8,000千円 ○農業次世代人材投資資金 4件 5,457千円 ○経営開始資金 35件 54,375千円 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業） 6件 19,800千円 推進費 525千円		
2	農用地集積・集約の取り組み 担い手の農業経営規模の拡大と安定化を図り、農用地の有効活用を図るため、担い手への農地集積・集約化を支援する。 ○農地中間管理事業（農地中間管理機構を通して農地を貸し付けた農家に対して、協力金を交付） ○切らずにつなぐ樹園地継承事業（「樹園地継承システム」を活用して成木園が継承された場合に、農地の出し手の農家に対し奨励金を交付）	2,362	農業企画課、 農業委員会事務局
	取組成果 農地中間管理機構を通じた担い手への農地の集積・集約化を促進した。また、「樹園地継承システム」では、1件37aのマッチングがあり、営農が困難な農地が次の農家へ引き継がれるとともに集積化にもつながった。 ○農用地利用集積面積 1,409ha ○切らずにつなぐ樹園地継承事業奨励金 算定期間外のマッチングであったため、次年度に執行予定。		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①鳥獣被害対策事業[47,779]（農業企画課）
- ②スマート農業実装支援事業[23,911]（農業企画課）
- ③農業経営安定化支援事業[3,917]（農業振興課）
- ④気候変動適応型農業支援事業[7,611]（農業振興課）
- ⑤地域6次産業化推進事業[2,794]（農業振興課）
- ⑥ふくしまの農産物魅力アップ事業[4,062]（農業振興課）
- ⑦スイーツ・プレミアム事業[3,993]（観光交流推進室）
- ⑧農道・水路・ため池等の整備[317,262]（農林整備課）
- ⑨福島駅前軽トラ市開催事業[5,956]（農業振興課）
- ⑩第三者認証GAP取得等促進事業[99]（農業振興課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。新規就農者に加えて、既存の農業従事者も営農が継続できるような支援を望む。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

本市農業の持続的発展に向け、今後も、福島市農業・農村振興計画に基づき、各種施策に取り組み、担い手の育成、多様な人材の活躍促進、農産物の安全性確保・品質向上、消費拡大の推進などに努めていく。

指標進捗管理担当	(主)	企業振興課	(副)	産業雇用政策課
<b>成果指標</b>		<b>16. 製造品出荷額等</b>		★個別施策へ再掲

## 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【重点施策】</b> <b>7. 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現</b>																												
指標の説明	製造品出荷額等により、工業の振興の状況をはかる指標です。																												
基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠																						
5,637 億円	目標値	5,637	5,637	5,637	5,637	5,637	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現に向けた取り組みにより、基準値の維持を目指します。																						
	実績値	4,768	4,455	4,629	4,817																								
	達成率	84.6%	79.0%	82.1%	85.5%																								
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価																					
<table border="1"> <caption>【成果指標の実績値推移】</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>目標値 (億円)</th> <th>実績値 (億円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>基準値 (平成30年)</td> <td>5,637</td> <td>5,637</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5,637</td> <td>4,768</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>5,637</td> <td>4,455</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>5,637</td> <td>4,629</td> </tr> <tr> <td>令和6年度</td> <td>5,637</td> <td>4,817</td> </tr> <tr> <td>令和7年度</td> <td>5,637</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>							年度	目標値 (億円)	実績値 (億円)	基準値 (平成30年)	5,637	5,637	令和3年度	5,637	4,768	令和4年度	5,637	4,455	令和5年度	5,637	4,629	令和6年度	5,637	4,817	令和7年度	5,637		85.5%	B
年度	目標値 (億円)	実績値 (億円)																											
基準値 (平成30年)	5,637	5,637																											
令和3年度	5,637	4,768																											
令和4年度	5,637	4,455																											
令和5年度	5,637	4,629																											
令和6年度	5,637	4,817																											
令和7年度	5,637																												

## 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	第2期福島おおぞらインター工業団地整備事業	事業費 (千円)	616,645	担当課	企業振興課
1	具体的な取組内容	東北自動車道と東北中央自動車道の結節点に位置する福島大笹生IC直結の高い交通利便性とインノベーションコースト構想の玄関口である立地を活かし、産業振興、雇用創出を生み出すため、企業誘致の受け皿となる新たな工業団地の整備を進める。 (1) 造成工事				
	取組成果	造成工事を継続的に進め、確定測量等の委託業務を実施し分譲地8区画のうち1区画の予約販売を開始した ○造成工事 603,060千円 ○業務委託 12,970千円				
No	取組名	新製品・新技術開発支援事業	事業費 (千円)	16,825	担当課	産業雇用政策課
2	具体的な取組内容	市内企業が行う新製品や新技術の研究開発の取り組みを支援し、付加価値の高いものづくりによる新たな産業や事業の創出を図る。 (1) 特定集積産業分野（医療福祉機器等、ロボット・航空、食品加工）への支援 (2) 一般分野への支援				
	取組成果	産学連携などを通して付加価値の高い新製品・新技術の開発に取り組む市内企業を支援し、企業の競争力強化や技術力向上を促進することで、地域経済の活性化を図った。 (1) 特定集積産業枠 8件 (2) 一般枠 2件				

## 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①ふくしま新製品・新システム応援事業 [1,976]（産業雇用政策課）  
 ②ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業 [1,256]（産業雇用政策課）  
 ③クリエイティブビジネスサロン管理運営事業 [18,428]（産業雇用政策課） ④企業立地促進事業 [96,370]（企業振興課）  
 ⑤「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 [3,750]（企業振興課） ⑥凍み豆腐事業継承推進事業 [0]（企業振興課）

## 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

## 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地元企業の事業拡大や生産体制強化を図るため、引き続き企業間連携の促進や各種支援事業に取り組むとともに、企業誘致の受け皿となる第2期福島おおぞらインター工業団地の整備や新たな産業用地等の検討を進める。また交通利便性に優れた本市の魅力を発信し、特定集積産業や本社機能を有する工場等、本市への定着が期待される企業の誘致に努める。

指標進捗管理担当	(主)	にぎわい商業課	(副)	産業雇用政策課
----------	-----	---------	-----	---------

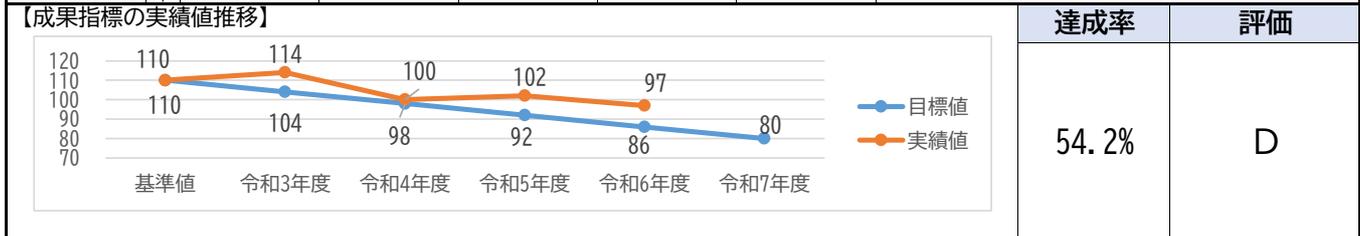
**成果指標** **17. 中心市街地空き店舗数** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**7. 「人」と「活力」であふれる農業・商工業の実現**

指標の説明 中心市街地における商店街の空き店舗数により、まちなかの魅力やにぎわいの状況をはかる指標です。

基準値 (令和2年12月調査値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
110	目標値	104	98	92	86	80	「人」と「活力」であふれる農業と商工業の実現に向けた取り組みにより、空き店舗の30店舗減少を目指します。
	実績値	114	100	102	97		
	達成率	0.0%	83.3%	44.4%	54.2%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	新規出店にかかる内外装工事等支援事業	29,653	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	街なかの活性化を図り賑わいを創出するため、空き店舗や新規店舗、空き家で開業する事業者に対し、工事等にかかる経費の一部を補助する。 ○対象者：法人、個人事業主、団体で事業を行う者 ○対象経費：内装・外装工事費、空調設備工事費、ネットワーク環境接続費（初期投資のみ）ほか	
	取組成果	令和6年度から中心市街地エリア（新規出店誘導区域）ほか、街なかを含む対象エリアを一部拡大し、新規出店を促した。補助件数は、前年度の「街なか再生リノベーション事業」の27件から32件へ増加し、空き店舗等の活用と街なかの賑わい創出を図った。	
2	街なか出店入居者家賃補助事業	80,554	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	街なかの活性化を図り賑わいを創出するため、空き店舗や新規店舗、空き家に出店する事業者に対し、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対象者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか	
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度より引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。令和6年度の新規件数は30件で、令和4年度から継続的に補助している71件を含め、合計で101件の補助を行い、街なかの賑わい創出と経済活動活性化に貢献した。	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①街なかにぎわい創出事業[32,035]（にぎわい商業課）
- ②商店街等活性化イベント支援事業[35,571]（にぎわい商業課）
- ③創業応援利子補給パッケージ[2,785]（産業雇用政策課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。創業支援のメニューやニュースレターはとても関心を引く内容になっており評価できる。こうした情報を市内外問わず広く発信してもらいたい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

市の創業支援メニュー等の情報を幅広く発信し、創業希望者の掘り起こしや誘致を推進することで、中心市街地の新規出店のさらなる促進を図る。また、長期的な事業継続の支援につながるよう、補助対象エリアや業種、補助条件の見直し等についても検討を行う。これらの取組みにより、新規出店と事業定着の両立を図り、街なか全体の活性化と持続的な賑わいを創出する。

指標進捗管理担当	(主)	コンベンション推進課	(副)	地域共創課、にぎわい商業課、観光交流推進室、文化振興課、スポーツ振興課、市街地整備課、定住交流課
----------	-----	------------	-----	--

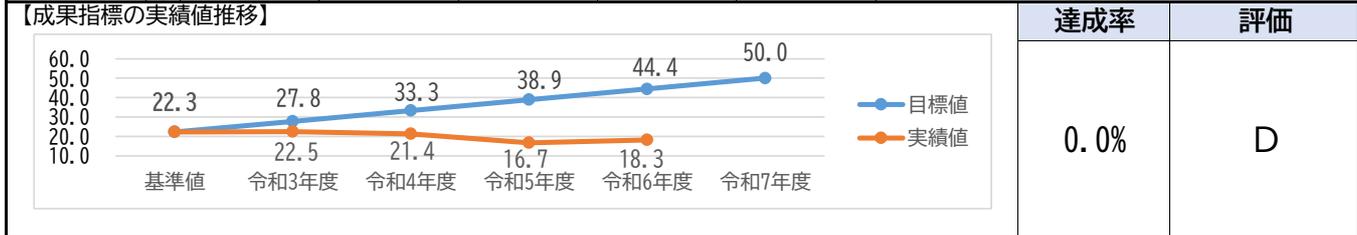
**成果指標 18. 「福島らしい個性とにぎわいのあるまちである」と答えた市民の割合**

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】 8. 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり**

指標の説明 市民意識調査により、福島らしい個性とにぎわいに対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
22.3	目標値	27.8	33.3	38.9	44.4	50.0	福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくりにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	22.5	21.4	16.7	18.3		
	%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	福島駅東口地区市街地再開発事業	532,710	市街地整備課
	具体的な取組内容	中心市街地の活性化を図るため、県都ふくしまの顔、活性化の核となる福島駅東口周辺の再開発事業を官民連携で行う。 ○整備状況：平成29年度（関係者協議） 平成30年度（準備組合設立、基本計画等） 令和元年度（補助採択、都市計画決定等） 令和2年度（資金計画作成等） 令和3年度（組合設立認可、実施設計等） 令和4,5年度（既存建物解体等） 令和6年度（仮囲い盛替え、施設計画見直し）	
	取組成果	工事費高騰等により計画の見直しを余儀なくされたことから、市議会や市民、福島駅周辺まちづくり検討会の意見も踏まえて、令和6年6月に「見直し方針」を策定した。当該見直し方針に沿って、設計の見直しを進めるとともに、国の無利子の貸付制度を活用することにより、再開発事業を推進した。	
2	街なか出店入居者家賃補助事業	80,554	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	街なかの活性化を図り賑わいを創出するため、空き店舗や新規店舗、空き家に出店する事業者に対し、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対象者：中心市街地等商店街の空き店舗等を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する 商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか	
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度より引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。令和6年度の新規件数は30件で、令和4年度から継続的に補助している71件を含め、合計で101件の補助を行い、街なかの賑わい創出と経済活動活性化に貢献した。	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①福島駅前交流・集客拠点施設整備事業 [5,249]（コンベンション推進課）
- ②ふくしまMICEパッケージ[12,177]（コンベンション推進課）
- ③「古閑裕而記念音楽祭」の開催 [5,000]（文化振興課） ④「ふくしままちなか音楽祭2024」の開催 [2,915]（文化振興課）
- ⑤あづま山麓ツーリズム推進事業 [9,999]（観光交流推進室）
- ⑥「ふくしまステイ。」プロモーション [9,461]（観光交流推進室） ⑦温泉地活性化推進事業 [14,969]（観光交流推進室）
- ⑧ふくしま三名湯ブランディング事業 [1,602]（観光交流推進室） ⑨「道の駅ふくしま」運営 [39,667]（観光交流推進室）
- ⑩地域おこし協力隊活用事業 [35,188]（地域共創課） ⑪結・ゆい・フェスタ事業 [1,793]（定住交流課）
- ⑫「ふくしまシティハーフマラソン」の開催 [55,000]（スポーツ振興課） ⑬学生等によるにぎわい創出[590]（市街地整備課）
- ⑭新規出店にかかる内外装工事等支援事業[29,653]（にぎわい商業課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。東西駅前のにぎわいをつくり、県都としてのまち全体レベルアップを望む。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

主な取り組みのひとつである福島駅東口地区市街地再開発事業については、令和6年6月に策定した見直し方針に基づき、市議会、福島駅周辺まちづくり検討会、設計ワークショップ等での有識者の助言や市民の意見等も踏まえ、基本設計を概ねとりまとめたところであり、今後、より詳細な設計を行っていく。引き続き、市民周知と理解促進に努めながら、スピード感をもって、再開発事業を推進し、市民の期待感に応えられるよう努める。

次に、街なか出店入居者家賃補助事業については、補助件数が引き続き堅調に推移していることから、今後も空き店舗解消に向けた取り組みを進め、街なかの人流増加と賑わいの創出を図る。

その他の取り組みについても独自の観光資源や国際交流など福島市らしさににぎわい創出の視点を重視しつつ、市民満足度の向上につながる取り組みを進める。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	交通政策課、市街地整備課、にぎわい商業課、産業雇用政策課
----------	-----	-------	-----	------------------------------

**成果指標** **19. 休日の歩行者・自転車通行量(7地点)** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**8. 福島らしい個性とにぎわいのあるまちづくり**

指標の説明 歩行者・自転車通行量により、まちなかの魅力と回遊性の状況をはかる指標です。

基準値 (令和2年7月 測定値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
13,690	目標値	13,719	13,748	13,778	13,807	13,837	人々の往来につながる施策の展開により、休日の歩行者・自転車通行量の増加を目指します。
	実績値	11,594	13,393	13,668	17,714		
人/日	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	商店街等活性化イベント支援事業	35,571	にぎわい商業課
	<b>具体的な取組内容</b> 交流人口拡大や街なかの賑わいの創出、地域経済や商店街等の活性化を図るために、商店街等が実施するイベント経費の一部を補助する ○街なかイベント：補助率1/2, 上限500千円(4月～7月：補助率55/100, 上限550千円、複数日：開催月の補助率, 上限750千円) ○商店街等イベント：補助率3/10, 上限300千円(商工会管内：補助率1/2, 上限500千円)		
	<b>取組成果</b> 商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補助件数 83件(うち中心市街地 59件)		
2	ももりんシェアサイクル運営事業	17,422	交通政策課
	<b>具体的な取組内容</b> 中心市街地の回遊性の向上を図るために、シェアサイクルの管理運営を行う。(19箇所のポート設置)		
	<b>取組成果</b> ポストコロナにおける中心市街地の回遊性向上や地域観光の活性化を図るため、IoT(スマートフォン)を活用した非接触型の自転車貸出サービスを実施した。 ○貸出ポート 19カ所(※3～4月は期間限定で、花見山へ臨時ポート設置 計20カ所) ○自転車台数 70台 ○利用回数 32,847回		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①街なかにぎわい創出事業[32,035](にぎわい商業課)
- ②街なかテーマパーク事業[9,999](にぎわい商業課)
- ③街なか出店入居者家賃補助事業[80,554](にぎわい商業課)
- ④新規出店にかかる内外装工事等支援事業[29,653](にぎわい商業課)
- ⑤創業応援利子補給パッケージ[2,785](産業雇用政策課)
- ⑥まちなか広場等管理運営事業[5,565](市街地整備課)
- ⑦メロディーバス運行事業[18,445](交通政策課)
- ⑧パークアンドライド運営事業[3,138](交通政策課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成している。にぎわいづくりのきっかけとなるイベントのPRを広げ、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

引き続き、ふくしま街なか賑わいカレンダー等によるイベント情報の発信・周知を継続して行い、まちなかに人流を誘導するとともに、シェアサイクルやメロディーバス及びパークアンドライド等により、回遊性の向上を図る。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、こども家庭課、幼保企画課、幼保支援課、住宅政策課
----------	-----	-------	-----	--

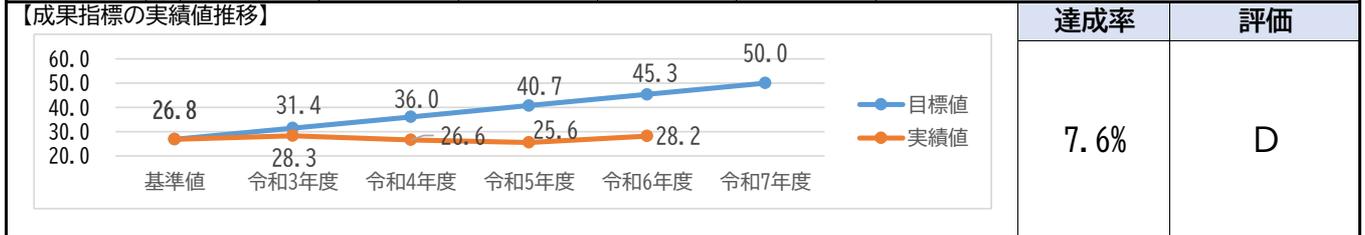
**成果指標 20. 「移住・定住先として自信を持って紹介できるまちである」と答えた市民の割合**

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】 9. 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化**

指標の説明 市民意識調査により、移住・定住支援施策に対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
26.8	目標値	31.4	36.0	40.7	45.3	50.0	移住・定住に向けた支援・受入体制の強化により、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	28.3	26.6	25.6	28.2		
	%	32.6%	0.0%	0.0%	7.6%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	新生活応援事業	10,424	定住交流課
	具体的な取組内容		移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉バスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援金事業（市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内（上限県外10万円、市外5万円）） ○湯めぐり無料バスポート交付事業
	取組成果		本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住引越支援金：補助件数：137件（補助額：9,035千円） ○湯めぐり無料バスポート：交付件数235件
2	特色ある幼児教育・保育推進事業	7,227	幼保支援課
	具体的な取組内容		豊かな発想や感性を持った子どもたちの成長を支援するため、特色ある幼児教育・保育に積極的に取り組む施設に対して、費用の一部を補助する。また、事業のPR動画を作成し、子育て世代の定住人口拡大につなげる。 ○補助額：事業費の1/2(上限額3年目まで1,200千円、4年目以降300千円)
	取組成果		特色ある幼児教育・保育プロジェクトを実施する幼児教育・保育施設11施設・グループに対し、事業費等の支援を行った。また、YouTubeで首都圏や福島県の近県を対象にPR動画を広告配信し、92,124回の動画視聴回数となった。広報誌作成3,000部。

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①U I J ターン移住支援事業 [35,600] (定住交流課)
- ②クリエイティブビジネスサロン運営事業 [18,428] (産業雇用政策課)
- ③「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 [3,750] (企業振興課)
- ④待機児童対策推進パッケージ [240,571] (幼保企画課、幼保支援課)
- ⑤こども家庭センター事業（母子保健・児童福祉機能） [35,414] (こども家庭課)
- ⑥結婚新生活支援事業 [54,741] (定住交流課)
- ⑦ふくしま☆スタイル住宅整備事業 [299,890] (住宅政策課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

総合的な取組により更なる本市の魅力向上を図るとともに、移住者に選ばれるための様々な施策とその成果について市民にも広く認識されるよう発信を強化していく。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、都市計画課、住宅政策課、農業企画課、男女共同参画センター
----------	-----	-------	-----	--

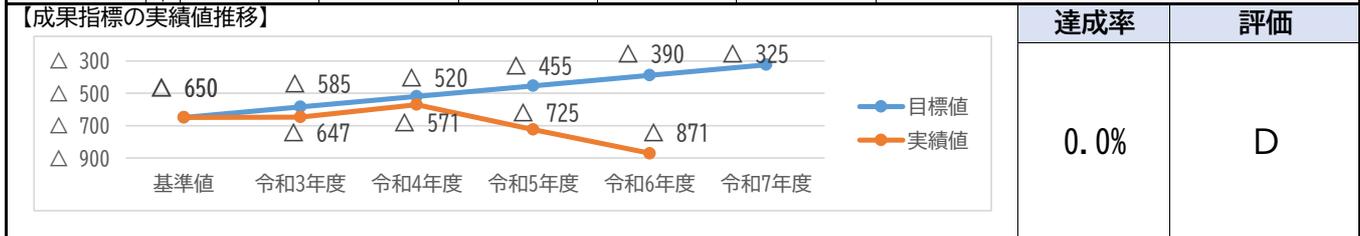
**成果指標** **21. 人口の社会動態(20歳～39歳)** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**9. 移住・定住に向けた支援・受入体制の強化**

指標の説明 若年層の社会動態(20歳～39歳)により、移住定住先に選ばれる環境の充実度をはかる指標です。

基準値 (H28～R元の4年 間平均値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
△ 650	目標値	△ 585	△ 520	△ 455	△ 390	△ 325	移住・定住に向けた支援・受入体制の強化により、人口ビジョンにおける人口目標の達成を目指します。
	実績値	△ 647	△ 571	△ 725	△ 871		
	人	4.6%	60.8%	0.0%	0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課	定住交流課
1	新生活応援事業	10,424	担当課	定住交流課
	具体的な取組内容	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援金事業(市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内(上限県外10万円、市外5万円)) ○湯めぐり無料パスポート交付事業		
	取組成果	本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住引越支援金：補助件数：137件(補助額：9,035千円) ○湯めぐり無料パスポート：交付件数235件		
2	結婚新生活支援事業	54,741	担当課	定住交流課
	具体的な取組内容	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得・リフォームや貸借費用(敷金・礼金・家賃等)及び引越費用等の一部を補助する。 ○申請延べ件数：約470件 ○対象世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得500万円未満。ただし、賃貸住宅スタートアップは所得制限なし。 ○補助上限：マイホーム購入30万円、賃貸住宅スタートアップ15万円、家賃最大2年間48万円		
	取組成果	結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援することで、若者の希望するタイミングで結婚する環境が整備され、結婚への後押しになった。 ○補助世帯数：332世帯(補助額：54,741千円) ○スタートアップ支援：117件(住宅購入・リフォーム費用：11件、賃貸初期費用：92件、引越費用：14件) ○家賃支援：268件		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①クリエイティブビジネスサロン運営事業 [18,428] (産業雇用政策課)
- ②「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 [3,750] (企業振興課)
- ③U I J ターン移住支援事業 [35,600] (定住交流課)
- ④広報推進事業 [3,486] (定住交流課)
- ⑤移住コーディネーター活動事業 [5,277] (定住交流課)
- ⑥ふくしま☆スタイル住宅整備事業 [299,890] (住宅政策課)
- ⑦空家等対策事業 [34,932] (都市計画課)
- ⑧あぐりっしゅサポートパッケージ(新規就農支援) [8,973] (農業企画課)
- ⑨女性の起業チャレンジ応援事業 [319] (男女共同参画センター)
- ⑩外国人生活相談事業 [4,672] (定住交流課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。人口の定着にあたっては雇用が大事であることから、新たな働き方の環境整備や企業に関する情報発信を強化し、取り組みを進めてほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

移住者数は最多を更新しているが、若年層の転出超過に歯止めがかかっていないことから、若い世代の移住定住の地として選ばれるよう、新たな働き方の環境整備を進め、本市の移住定住支援策を継続的に市内外に情報発信し、活用促進を図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	男女共同参画センター	(副)	政策調整課、地域共創課、産業雇用政策課、定住交流課、共生社会推進課、障がい福祉課、長寿福祉課
<b>成果指標</b>		<b>22. 「性別や年齢、立場に関わらず、個性や能力を十分に生かすことができるまちである」と答えた市民の割合</b>		

<b>1 成果指標の概要</b>								
関連する施策	<b>【重点施策】 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり</b>							
指標の説明	市民意識調査により、市民が活躍できる地域づくりや仕組みづくりに対する満足度をはかる指標です。							
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠	
17.3	目標値	23.8	30.3	36.9	43.4	50.0	市民総活躍と市民共創のまちづくりへの取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。	
	実績値	16.9	18.6	18.6	19.4			
	達成率	0.0%	10.0%	6.6%	8.0%			
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価
							8.0%	D

<b>2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み</b>									
No	取組名	バリアフリー推進事業	事業費 (千円)	3,293	担当課	共生社会推進課			
1	具体的な取組内容	障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう、ハード面・ソフト面に加え、心のバリアフリーの普及啓発を図るため、バリアフリー推進パートナーミーティングを開催するとともに、市民を対象とした講演会や出前講座等の開催、推進パートナーとなっている大学の学生による心のバリアフリー推進隊による啓発活動を実施する。							
	取組成果	パートナー間の意見交換、講演会等による学ぶ機会の創出や推進隊による普及啓発、バリアフリーマップの情報更新などを通じて、市民のバリアフリーに対する理解促進が図られた。 ○バリアフリー推進パートナーミーティング（参加者数：78名(45団体)） ○心のバリアフリー講演会（参加者数：74名）・出前講座（実施件数：51件、参加者数：延べ2,118名） ○心のバリアフリー推進隊による普及啓発活動（5回、結・ゆい・フェスタ等でのチラシ配布）							
No	取組名	働く女性応援事業	事業費 (千円)	2,247	担当課	産業雇用政策課			
2	具体的な取組内容	女性の雇用継続、女性の管理職登用の推進、男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境作りを推進するために、市独自の認証基準を設定し、積極的な取組を行う中小企業を認証する。また、より積極的に働きやすい職場環境作りなどの取組を行う認証企業を「ゴールド認証企業」として認証する。認証企業の取組事例を広く公表することで、企業PR、地域社会への波及効果を促し、女性活躍の推進を図る。 ○対象内容：(1)働く女性応援企業認証事業							
	取組成果	女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組み中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 ○働く女性応援企業認証事業 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・新規認証事業数</td> <td>11社</td> </tr> <tr> <td>・ゴールド認証企業数</td> <td>4社</td> </tr> </table>					・新規認証事業数	11社	・ゴールド認証企業数
・新規認証事業数	11社								
・ゴールド認証企業数	4社								

<b>3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）</b>	
①地域生活支援拠点等整備事業[6,499]（障がい福祉課）	②男女共同参画啓発事業[482]（男女共同参画センター）
③地域包括ケアシステムの推進[489,185]（長寿福祉課）	④共創のまちづくりの推進[2]（地域共創課）
⑤産官学連携プラットフォーム推進事業[1,000]（政策調整課）	⑥外国人生活相談事業[4,672]（定住交流課）
⑦こくりナビプロジェクト事業[257]（地域共創課）	⑧女性活躍推進事業[1,676]（産業雇用政策課）
⑨障がい者雇用推進事業[131]（産業雇用政策課）	

<b>4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価</b>
目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

<b>5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性</b>
市民総活躍と市民共創のまちづくりの実現に向けて、上記結果を関係各課と共有し、事業内容の変更や見直しを行いながら、市民満足度の向上及び成果の達成に努める。

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	政策調整課、広聴広報課、にぎわい商業課、道路保全課、交通政策課、公園緑地課、市街地整備課、生涯学習課
----------	-----	-------	-----	--

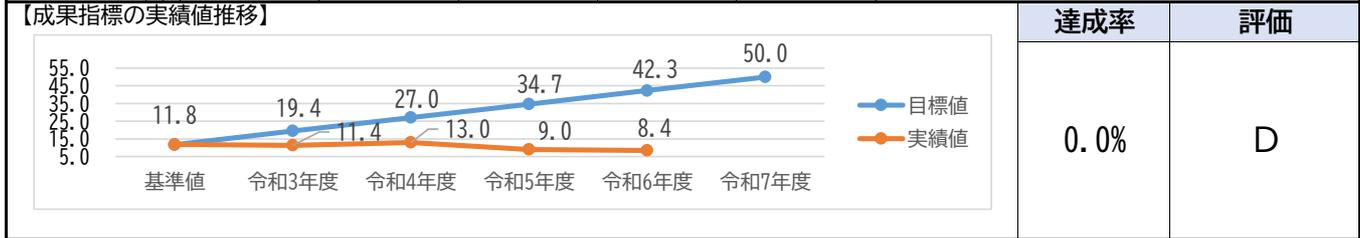
## 成果指標 23. 「まちづくりに参加している、参加したい」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【重点施策】 10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり**

指標の説明 市民意識調査により、市民のまちづくりに対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
11.8	目標値	19.4	27.0	34.7	42.3	50.0	市民総活躍と市民共創のまちづくりの取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	11.4	13.0	9.0	8.4		
	達成率	0.0%	7.9%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	共創のまちづくりの推進	64	地域共創課
	具体的な取組内容	市民等の各主体との「共創のまちづくり」を念頭に各施策を進めるため、地域におけるまちづくりの活性化に向けた支援を行っていく。 ○まちづくり講習会を開催（各地区のまちづくり担当者（市職員）向け） ○若者のまちづくり活動への参加を促進	
	取組成果	各地区のまちづくり担当者向けに、まちづくり講習会を実施し、地区におけるまちづくりの意識の醸成をはかった。 また、若者が市や地域の事業にボランティアとして参加できる「こくりナビ」を通じて、若者のまちづくり活動への参加を促した。	
2	産官学連携プラットフォーム推進事業	1,000	政策調整課
	具体的な取組内容	産業界・市・高等教育機関による連携体制「福島市産官学連携プラットフォーム」を活用し、若者の地元定着や人材育成など、地域課題の解決に取り組む。 ○対象内容：(1)大学生による地元企業研究および魅力発信事業 (2)市内高等教育機関の学生を対象とした就職イベント	
	取組成果	(1)大学生が地元企業を訪問し、インタビューや職場体験を通して地元企業を知る機会を創出した。 (2)学生を対象に「就職セミナー」を開催し、地元企業の経営者と学生によるパネルディスカッションや合同企業説明会を行い、地元での就職や地元定着の意識付けを図った。 産官学で連携し、地元の魅力発信に取り組むとともに、若者と地元企業との接点の創出にも繋げることができた。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①地域コミュニティ等支援事業[17,739]（地域共創課） ②地域生活基盤整備事業[150,000]（道路保全課）  
 ③ふくしま花のまちづくり事業[2,010]（公園緑地課） ④地域と学校の共創推進事業[704]（生涯学習課） ⑤地域除雪活動支援[938]（道路保全課） ⑥ふくしま元気トークの開催[24]（広聴広報課） ⑦街なか若者活動促進事業[990]（にぎわい商業課）  
 ⑧地域で支える交通支援事業[679]（交通政策課） ⑨学生等によるにぎわい創出事業[590]（市街地整備課）  
 ⑩こくりナビプロジェクト事業[257]（地域共創課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。こくりナビの活動をより具体的に発信し、福島市民活動サポートセンターや学習センターなどと連携し、ボランティア活動や人材育成の強化を望む。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後、こくりナビ登録者自ら地域活性化に向けたイベントや若者同士の交流会などの企画・運営を行っていく予定である。そういった活動の発信や事業の周知を関係機関と連携して行うことにより、ボランティアやまちづくりの新たな人材確保につなげていきたい。

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

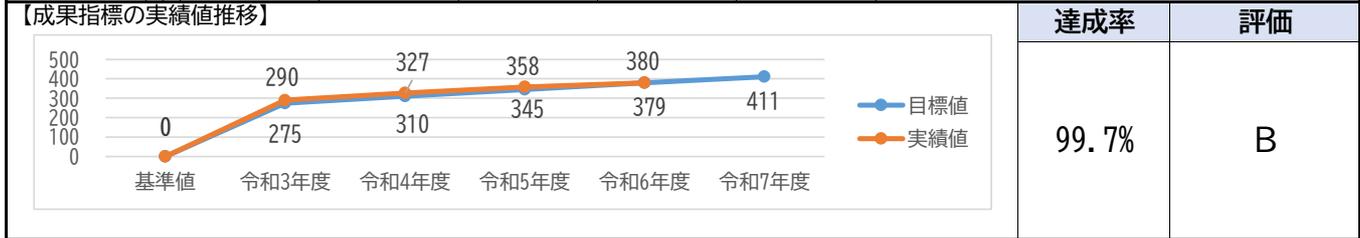
**成果指標** **24. 「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**10. 市民総活躍と市民共創のまちづくり**

指標の説明 共創の考え方や手法を用いた取り組み数により、各地区における「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗度合いをはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
0 件	目標値	275	310 (R3~R4年度 までの2年間)	345 (R3~R5年度 までの3年間)	380 (R3~R6年度 までの4年間)	411 (R3~R7年度 までの5年間)	共創のまちづくり意識の醸成により、5年間で411件の「ふくしま共創のまちづくり計画」の実施を目指します。
	実績値	290	327	358	379		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会の支援  各地区のふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会における取組を支援するとともに、「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗管理を行う。  ○懇談会の裁量により用途を決定できる地域まちづくり交付金を配分し、懇談会の活性化を図る ○「ふくしま共創のまちづくり計画」の評価・検証のための支援  取組成果 市内18地区の懇談会が、多種多様な視点を取り入れながら計画の推進を図った。 懇談会において計画の進捗管理を行うことで、解決すべき地域の課題を明確にして、まちづくりの取り組みを進めることが出来た。	8,780	地域共創課
2	地域コミュニティ等支援事業（まちづくり事業補助金）  地域の新たな魅力や価値の創出、市民活動の活性化、地域活力の向上を図るため、新規・拡充を中心とした事業に対して補助し、地域ごとの主体的なまちづくりへの取り組みの推進を図る。  ○一般事業枠 ○花いっぱい推進事業枠  取組成果 市内18地区で実施された57件のまちづくり事業の取り組みに補助金を交付することで、各地区のふくしま共創のまちづくり計画の推進を支援し、住民自治意識の醸成、地域活動の活性化に寄与した。	8,800	地域共創課

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**  
目標達成に向けて順調に進んでいる。デジタルも上手に活用した円滑な地区の取り組みに期待する。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**  
現役世代から意見を集める工夫についても検討し、引き続き、各地区懇談会における取組みを推進する。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	危機管理室、産業雇用政策課、観光交流推進室、農林整備課、定住交流課、文化振興課、スポーツ振興課、保健総務課、健康づくり推進課、幼保企画課、幼保支援課、河川課、都市計画課、市街地整備課
----------	-----	-------	-----	---

## 成果指標 25. 「福島市に住み続けたい」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【重点施策】</b> <b>11. 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上</b>							
指標の説明	市民意識調査により、地域への愛着や暮らしに対する満足度をはかる指標です。							
基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。	
66.0	目標値	68.1	70.2	72.4	74.5	76.7		
	実績値	63.5	64.1	59.5	65.6			
%	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%			
【成果指標の実績値推移】							達成率	評価
							0.0%	D

### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	福島駅東口地区市街地再開発事業	事業費 (千円)	532,710	担当課	市街地整備課
1	具体的な取組内容	中心市街地の活性化を図るため、県都ふくしまの顔、活性化の核となる福島駅東口周辺の再開発事業を官民連携で行う。 ○整備状況：平成29年度（関係者協議） 平成30年度（準備組合設立、基本計画等） 令和元年度（補助採択、都市計画決定等） 令和2年度（資金計画作成等） 令和3年度（組合設立認可、実施設計等） 令和4,5年度（既存建物解体等） 令和6年度（仮囲い盛替え、施設計画見直し）				
	取組成果	工事費高騰等により計画の見直しを余儀なくされたことから、市議会や市民、検討会の意見もふまえて、令和6年6月に「見直し方針」を策定した。当該見直し方針に沿って、設計の見直しを進めるとともに、仮囲い盛替えや、国の無利子の貸付制度を活用することにより、再開発事業を推進した。				
No	取組名	古関裕而を活かしたまちづくり事業	事業費 (千円)	37,928	担当課	文化振興課 スポーツ振興課
2	具体的な取組内容	古関裕而氏と古関メロディーを活用し、音楽イベントの開催や街なかで古関メロディーに触れる機会を創出するなど、官民一体で古関氏と音楽を活かしたまちづくりを進めた。 ○古関裕而記念音楽祭2024：古関メロディーと氏の功績を継承する音楽祭を開催した。 ○古関裕而作曲コンクール：古関氏の名を冠した本市独自の作曲コンクールを開催し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会を創出したほか、全国へ古関裕而のふるさと・福島市を発信した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ：福島ゆかりのプロの音楽家により構成され、音楽堂を拠点に活動する「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援した。 ○ふくしままちなか音楽祭2024：まちなかを舞台とした市民参加型の野外音楽イベントを開催し、音楽によりまちなかのにぎわいを創出した。 ○古関裕而杯の開催：「古関裕而杯：第1回中学生女子軟式野球大会」を開催した。				
	取組成果	第二回古関裕而作曲コンクールは全国から多数の応募があり、一次審査を通過した8名の作曲家を迎えて本選会を開催し、全国へ古関裕而のふるさと・福島市を発信した。まちなか音楽祭は、市内外から多くの出演者を迎えて開催し、4,000名を超える来場者があるなど、古関裕而のまちにふさわしい「街中に音楽があふれる1日」となった。その他、古関氏と音楽を活かした各種施策を行い、福島らしい芸術文化の発信に寄与した。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①水害対策パッケージ[547,701]（河川課、危機管理室、農林整備課）
- ②地域医療確保対策[321,083]（保健総務課）
- ③健都ふくしまの創造[17,873]（健康づくり推進課）
- ④新製品・新技術開発支援事業[16,825]（産業雇用政策課）
- ⑤スイーツ・プレミアム事業 [3,993]（観光交流推進室）
- ⑥ふくしま花回廊推進事業 [25,132]（観光交流推進室）
- ⑦ふくしま三名湯ブランディング事業 [1,602]（観光交流推進室）
- ⑧「ふくしまステイ。」プロモーション事業 [9,461]（観光交流推進室）
- ⑨待機児童対策推進パッケージ[240,571]（幼保企画課、幼保支援課）
- ⑩移住定住推進パッケージ[88,621]（定住交流課、都市計画課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

東口再開発において、計画見直しを進め施設のオープンが遅れたことにより、ハード面での都市ブランド力の向上は、さらに中期的な施策の展開が必要となった。  
市民が「住み続けたい」と感じるためには、再開発以外にも「人が住む」「人が働き学ぶ」「人が集まる」「人が流れる」の4要素を促進する施策を一体として展開するほか、市民生活に関わる各種施策と連携させながら、都市ブランドの向上に取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	広聴広報課
----------	-----	-------	-----	-------

**成果指標** **26. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**11. 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上**

指標の説明 元気ふくしま・ふるさと寄附金額により、本市ファンの拡大と戦略的なシティセールスの充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
145,645 千円	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	2,400,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
	実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545	2,137,533		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	ふるさと納税促進事業 各種施策を実施する財源を確保するため、賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進する。 具体的な取組内容 ○市観光コンベンション協会と連携し、話題性と魅力にあふれる返礼品開発 ○各ポータルサイトを活用し、市の施策や魅力ある返礼品を積極的にPR 取組成果 (一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、魅力ある返礼品開発を行うとともに、「ふるさと納税通信」を通して、寄附の使い道や本市の旬な情報の発信を行い、関係人口の拡大を図った。	1,034,068	政策調整課
2	シティセールス推進事業 マーケティング分析ツールの活用と本市特産品等の魅力拡散キャンペーンによる情報発信を仕掛け、本市の認知度向上とファン拡大を図る。 具体的な取組内容 ○シティセールス特設Webサイトの管理運営 ○マーケティングデータ分析ツールによる現状分析と施策検討 ○本市の特産品等拡散キャンペーン等による情報発信 取組成果 ふるさと納税などを通じ、本市への更なる応援を募るため、ホームページやふるさと納税サイト等で本市の魅力を効果的に発信した。 また、本市特産品の魅力を広く拡散するため、ふるさと納税サイトでレビューキャンペーンを実施し、ふるさと納税寄附者による魅力の発信を促進した。	1,815	政策調整課

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位:千円)**

- ①福島市応援関係人口創出事業[2,026] (政策調整課)
- ②テレビ、ラジオ、新聞等のメディアによる広報[42,806] (広聴広報課)
- ③市ホームページのリニューアル[4,874] (広聴広報課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。体験型の返礼品を充実させるなどにより、関係人口を増やす成果を望む。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

引き続き本市の魅力あふれる返礼品を効果的に発信し、本市を応援するファンや関係人口の拡大を図り、ふるさと納税による寄附の促進とシティセールスを行う。

指標進捗管理担当	(主)	デジタル推進課	(副)	地域共創課、情報企画課、市民税課、市民課、障がい福祉課、こども家庭課、幼保企画課、幼保支援課、都市計画課、交通政策課、中央学習センター、図書館、スポーツ振興課ほか
----------	-----	---------	-----	---

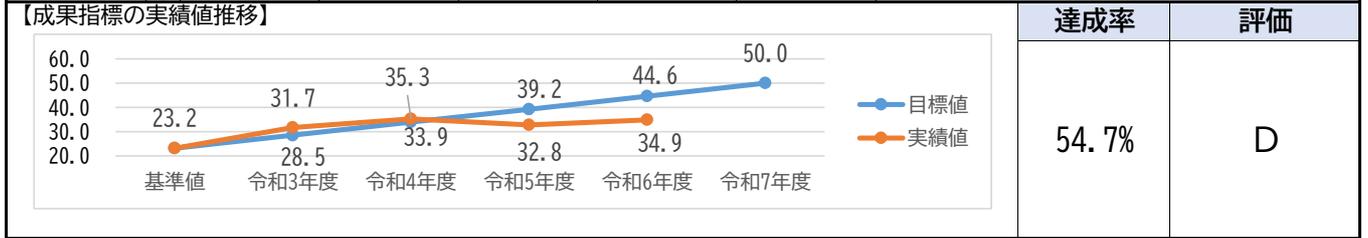
## 成果指標 27. 「地域社会のICT化が進み、市民生活が快適で便利になった」と答えた市民の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【重点施策】 12. ICTを活用した行政・経済・社会の変革**

指標の説明 市民意識調査により、地域社会のICT化に対する満足度をはかる指標です。

基準値 (令和2年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
23.2	目標値	28.5	33.9	39.2	44.6	50.0	ICTを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民満足度の向上を目指します。
	実績値	31.7	35.3	32.8	34.9		
	%	100.0%	100.0%	60.0%	54.7%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	LINE推進事業	5,089	情報企画課
	具体的な取組内容	市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大します。	
	取組成果	市LINE公式アカウントによる子育て・観光・イベント等の情報配信や登録者が道路の破損状況等を通報するシステム等を運用するとともに、講座や相談等の申込みを24時間行うことができる予約システムにおいて受付メニューの拡充を図った。 14所属 72業務	
2	市民センター等公共施設予約システム導入	32,010	中央学習センター
	具体的な取組内容	市民センター等に公共施設予約システムを導入し、いつでもどこでも施設予約ができる仕組みを作り、市民サービスの向上を図ります。	
	取組成果	各学習センターにて予約システムの操作説明会を実施したほか、事前練習期間を設け、予約システムの周知を図った。令和7年3月利用分からオンラインによる予約システムでの受付を開始し、多くの利用者が窓口に来館することなく施設の予約ができるようになった。 ・令和7年3月利用分のオンラインによる申請件数 3,245件	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位:千円)

- ①申請・届出オンライン事業 [179] (情報企画課)
- ②オンライン申請の推進 [1,673] (市民課・市民税課)
- ③公共施設予約システムの運用 [23,058] (スポーツ振興課ほか)
- ④行政手続案内システムの運用 [726] (障がい福祉課、幼保企画課)
- ⑤公立保育施設・幼稚園登降園管理システム運用 [14,203] (幼保支援課)
- ⑥母子保健スマート窓口の推進 [3,464] (こども家庭課)
- ⑦3Dデジタル都市計画情報の推進 [54,864] (都市計画課)
- ⑧高齢者への公共交通利用助成 [309,206] (交通政策課)
- ⑨電子図書館の運用 [4,998] (図書館)
- ⑩電子町内会の推進 [624] (地域共創課)
- ⑪デジタル人材バンクの設置・運営 [272] (デジタル推進課)
- ⑫高齢者デジタル活用サポート [7,142] (デジタル推進課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

市民アンケート調査結果から、行政手続きの利便性は向上している反面、サービスを利用するためのデジタルスキルの格差があることが分かる。引き続き、行政手続きの利便性と市民のデジタルリテラシーの向上を図りながら、多くの市民がデジタル化の恩恵を享受できるような取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	情報企画課	(副)	デジタル推進課、市民課、市民税課、中央学習センター、図書館、スポーツ振興課ほか
----------	-----	-------	-----	---

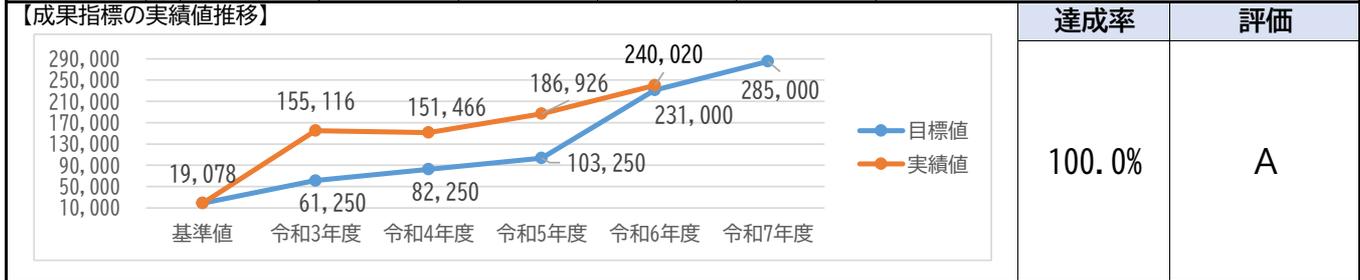
**成果指標** **28. 行政手続きのオンラインサービス利用件数(年間)** ★個別施策へ再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【重点施策】**  
**12. ICTを活用した行政・経済・社会の変革**

指標の説明 行政手続きのオンラインサービスの利用件数により、行政手続きのICT化の充実度と利便性向上の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	231,000	285,000	ICTを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。
	実績値	155,116	151,466	186,926	240,020		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	LINE推進事業	5,089	情報企画課 (デジタル推進課)
	具体的な取組内容	市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大します。	
	取組成果	市LINE公式アカウントによる子育て・観光・イベント等の情報配信や登録者が道路の破損状況等を通報するシステム等を運用するとともに、講座や相談等の申込みを24時間行うことができる予約システムにおいて受付メニューの拡充を図った。14所属 72業務	
2	市民センター等公共施設予約システム導入	32,010	中央学習センター
	具体的な取組内容	市民センター等に公共施設予約システムを導入し、いつでもどこでも施設予約ができる仕組みを作り、市民サービスの向上を図ります。	
	取組成果	各学習センターにて予約システムの操作説明会を実施したほか、事前練習期間を設け、予約システムの周知を図った。令和7年3月利用分からオンラインによる予約システムでの受付を開始し、多くの利用者が窓口に来館することなく施設の予約ができるようになった。 ・令和7年3月利用分のオンラインによる申請件数 3,245件	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位:千円)**

- ①申請・届出オンライン事業[179] (情報企画課) ②コンビニ交付サービス事業 [22,505] (市民課・市民税課)
- ③オンライン申請の推進 [1,673] (市民課・市民税課) ④電子図書館の運用 [4,998] (図書館)
- ⑤公共施設予約システムの運用 [23,058] (スポーツ振興課ほか) ⑥高齢者デジタル活用サポート [7,142] (デジタル推進課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

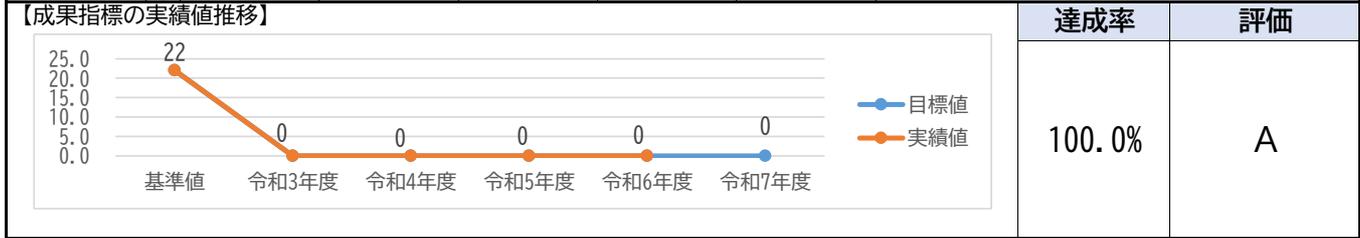
今後も市民がオンラインで申請可能な手続きを拡充することと併せて、オンラインサービスの利用を促進することにより、市民の利便性向上の取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	幼保企画課	(副)	幼保支援課
----------	-----	-------	-----	-------

## 成果指標 1. 保育施設における待機児童数

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 1. 子育て支援の充実</b>						
指標の説明	待機児童の解消により、子育てのしやすさをはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠 待機児童については、仕事と子育てを両立でき、子育てしやすい環境をつくるため、「0（ゼロ）」を目指します。
22 人	目標値	0	0	0	0	0	
	実績値	0	0	0	0	0	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	保育の受け皿の拡大（待機児童対策推進パッケージ）	事業費 (千円)	142,006	担当課	幼保企画課、幼保支援課
1	具体的な取組内容	施設整備による利用定員の拡大や既存施設での受け入れ拡大により保育の受け皿の拡大を図り、保育を希望する保護者が保育施設を利用できるようにする。 1 施設整備による利用定員の拡大 (1) 私立保育施設整備支援 2 既存施設での受け入れ拡大 (1) 私立幼稚園預かり保育支援 (2) 保育アテンダントによるマッチングの促進 (3) 幼稚園送迎ステーションの運営 (4) AIを活用したマッチングの拡大				
	取組成果	既存保育施設2施設の改修を支援し、保育利用定員の維持を図った。 また、私立幼稚園の預かり保育支援や幼稚園送迎ステーションの運営により、幼稚園の教育時間外における保育サービスの充実を支援した。				
No	取組名	保育士の確保（待機児童対策推進パッケージ）	事業費 (千円)	98,565	担当課	幼保企画課、幼保支援課
2	具体的な取組内容	処遇の改善、労働環境の改善、就労・就学支援により保育士を確保し、保育の受け皿確保と保育の質の向上を図り、希望する保育施設への利用につなげる。 1 現職保育士の支援（処遇改善、労働環境改善） (1) 保育士宿舍借り上げ支援 (2) 保育支援員雇用支援 (3) 保育士相談支援 (4) 保育士の働きやすい職場づくり 2 潜在保育士の確保（就労支援） (1) U I J ターン保育士等就労支援 (2) 輝け！保育人材活躍促進 3 新卒保育士の確保（就学支援、就労支援） (1) 保育士等奨学金貸付 (2) 保育士するなら福島市！プロモーション				
	取組成果	保育士の業務をサポートする支援員を雇用する保育施設に支援を行い、現職保育士の労働環境改善を図ったほか、県外から本市に移住して就労する保育士等への支援や、保育士等を目指す学生への一部資金の無利子貸し付け支援により、保育士の確保を推進した。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①（仮称）もりあい認定こども園整備[82,900]（幼保企画課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、潜在的待機児童の解消に力を入れながら、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

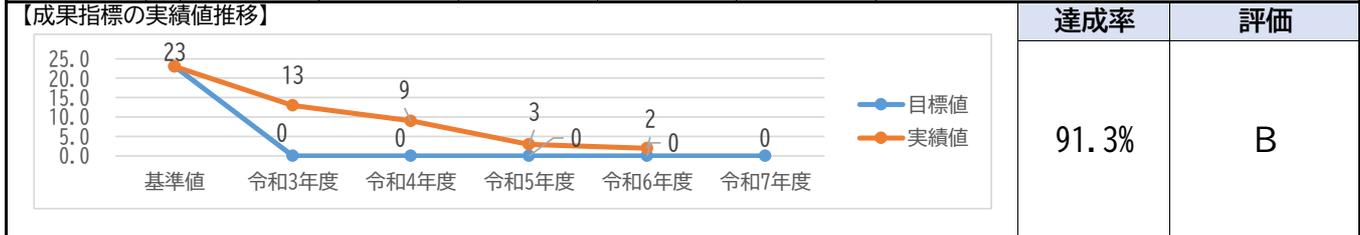
4月1日現在の待機児童数は5か年連続でゼロを達成している一方、潜在的待機児童（入所保留児童）数は減少傾向にあるものの未だ100人を超過している。待機児童数ゼロの維持とあわせ、潜在的待機児童数の更なる減少を図るため、待機児童対策を引き続き推進する。

指標進捗管理担当	(主)	こども政策課	(副)	
----------	-----	--------	-----	--

## 成果指標 2. 放課後児童クラブにおける待機児童数

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】</b> <b>1. 子育て支援の充実</b>						
指標の説明	待機児童の解消により、子育てのしやすさをはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
23 人	目標値	0	0	0	0	0	子育てと仕事が両立でき、子育てしやすい環境を整備するため、待機児童「0」を目指します。
	実績値	13	9	3	2		
	達成率	43.5%	60.9%	87.0%	91.3%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	放課後児童健全育成事業	事業費 (千円)	892,246	担当課	こども政策課
1	具体的な取組内容	児童の健全育成を図るため、各放課後児童クラブの運営費を支援する。 ○設置数：96ヶ所（令和5年度：94ヶ所） ○委託先：社会福祉法人、NPO法人、地域の保護者会、運営委員会など				
	取組成果	放課後児童クラブの利用ニーズを地域ごとに把握し、登録児童の定員超過が見込まれる地域に放課後児童クラブを2クラブ増設することにより、受け入れ枠の拡大を行った。				
No	取組名	放課後児童支援員等処遇改善等事業	事業費 (千円)	204,052	担当課	こども政策課
2	具体的な取組内容	放課後児童クラブの質の向上を図るため、支援員等の処遇改善措置に対して補助する。 ○放課後児童支援員等処遇改善等事業 放課後児童支援員等の基本賃金等の改善や、18時30分を超えて事業を行う者に対して処遇改善に必要な経費の補助を行う。 ○放課後児童支援員キャリアアップ処遇改善事業 経験等に応じた放課後児童支援員の処遇改善を促進するため、賃金改善に必要な経費の補助を行う。 ○放課後児童支援員等処遇改善事業（月額9,000円相当賃金改善） 放課後児童支援員等の継続的な賃上げを行うため、賃金改善に必要な経費の補助を行う。				
	取組成果	放課後児童支援員等処遇改善等事業により、職員の賃金改善や支援員の経験等に応じた処遇改善に必要な経費の補助により、クラブのさらなる質の向上を図った。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①放課後児童クラブ家賃補助事業 [23,975]（こども政策課）
- ②放課後児童クラブ育成支援体制強化事業（こども政策課） [7,258]
- ③放課後児童クラブ巡回支援指導事業（こども政策課） [135]

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。児童の健康と安全を確保すべく、人材の確保など受け皿の充実に期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地区ごとの利用ニーズを的確に把握することにより、必要に応じて放課後児童クラブを整備し、受け皿を拡大することで待機児童の解消を図っていく。また、児童が安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、人材の確保と充実に一層努めていく。

指標進捗管理担当	(主)	こども政策課	(副)	こども家庭課、幼保企画課、幼保支援課、教育施設管理課、定住交流課、教育研修課、住宅政策課、保健総務課
----------	-----	--------	-----	--

## 成果指標 3. 11歳以下の人口

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 1. 子育て支援の充実</b>
--------	-------------------------------

指標の説明	11歳以下の人口動態により、子育て支援施策の効果をはかる指標です。
-------	-----------------------------------

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
25,202 人	目標値	24,919以上	24,637以上	24,355以上	24,073以上	23,791以上	子育て支援施策の充実により、福島市子ども・子育て新ステージプランにおける推計人口値以上を目指します。
	実績値	23,756	23,201	22,413	21,706		
	達成率	95.3%	94.2%	92.0%	90.2%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	<b>妊娠・出産包括支援事業</b> ①産前・産後サポート事業（ホームスタート事業） [1,591] 妊婦や乳幼児のいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者が訪問し、傾聴（親の気持ちを受け止めて話を聴くこと）と協働（親と一緒に家事や育児、外出などをすること）を行い、親の心の安定と子育て意欲の向上を生み出すとともに、地域の子育て力の底上げを図る。 ②産後ケア事業 [9,979] 助産師等の支援を希望する産後12か月未満の母子に対し、産科医療機関や助産所等におけるショートステイ、デイケアにより産後の身体的回復と心理的な安定を図るとともに母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援する。	11,570	こども家庭課
	<b>取組成果</b> ①利用家庭数49件 延べ訪問件数280回 ホームビジター養成数4名 ②ショートステイ利用者数39人延べ利用者日数257日 デイケア利用者数46人延べ利用日数205日 産婦及びその家族が課程や地域における孤立感を軽減し、安心して育児に臨めるようにサポートする体制を強化することができた。		
No	取組名	事業費 (千円)	担当課
2	<b>子育て環境の充実</b> ①待機児童対策推進パッケージ [204,571] 待機児童ゼロとその維持に向けて、「保育の受け皿の拡大」と「保育士の確保」の2本の柱で取り組む。 ○私立保育施設整備支援 ○保育士するなら福島市！プロモーション ○輝け！保育人財活躍促進 等 ②放課後児童健全育成事業 [892,246] 児童の健全育成を図るため、各放課後児童クラブの運営費を支援する。 ○設置数：96カ所（令和5年度：94カ所） ○委託先：社会福祉法人、NPO法人、地域の保護者会、運営委員会など	1,132,817	幼保企画課、幼保支援課 こども政策課
	<b>取組成果</b> ①待機児童対策推進パッケージの取り組みにより、保育の受け皿の拡大や保育士の確保が図られたことで、5年連続で4月1日現在の待機児童数ゼロを達成した。 ②放課後児童クラブの利用ニーズを地域ごとに把握し、登録児童の定員超過が見込まれる地域に放課後児童クラブを2クラブ増設することにより、受け入れ枠の拡大を行った。		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①放課後児童クラブ多子世帯利用料助成事業 [38,968]（こども政策課）
- ②こども家庭センター事業（母子保健機能） [13,480]（こども家庭課）
- ③ICT教育フューチャービジョン推進事業 [391,778]（教育研修課）
- ④福島型給食推進事業 [515,847]（こども政策課、幼保支援課、教育施設管理課）
- ⑤結婚新生活支援事業 [54,741]（定住交流課）
- ⑥ふくしま☆スタイル住宅整備事業 [299,890]（住宅政策課） ⑦子どもの医療確保対策事業 [82,893]（保健総務課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

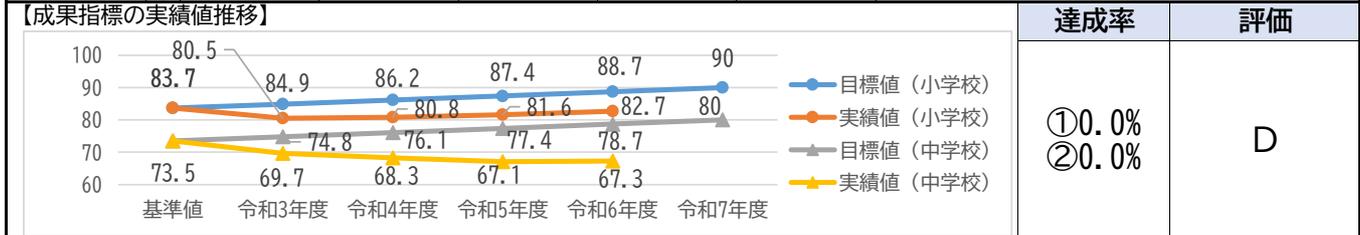
こども家庭センターを中心に、出産や育児に対する不安や孤立感を軽減し、安心して子育てできるよう切れ目ない支援を推進する。また、保育施設、放課後児童クラブにおける待機児童対策に引き続き取り組み、子育て世代が安心して働き、子育てできる環境を整備する。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	教育総務課、教育研修課
----------	-----	-------	-----	-------------

## 成果指標 4. 将来の夢や目標を持っている児童生徒の割合(小学6年、中学3年)

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 2. 学校教育の充実</b>						
指標の説明	児童生徒が将来の夢や希望をもって、自己実現に向けて前向きに生活している状況をはかる指標です。 ※全国学力・学習状況調査						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(小学校) 83.7	目標値	①84.9	①86.2	①87.4	①88.7	①90.0	夢や希望をもって生活することは、すべての活動の根幹となるため、基準値をもとにさらに上回る小学6年生90%、中学3年生80%を目指します。
②(中学校) 73.5	実績値	②74.8	②76.1	②77.4	②78.7	②80.0	
%	達成率	①0.0%	①0.0%	①0.0%	①0.0%	①0.0%	



達成率	①0.0%	②0.0%
評価	D	

### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	ふくしま・ふれあい・夢ぱらん事業	事業費(千円)	4,202	担当課	学校教育課
1	具体的な取組内容	各学校が地域や児童生徒の実態に応じた地域に関わるテーマを基に、特色ある教育課程を編成し、地域の「人」「もの」「こと」と直接触れ合う体験活動を通して、豊かな人間性や社会性を育み、心豊かでたくましく生きる子どもを育成するとともに、児童が自己の生き方を考え、地域への愛着を深めることができるようにする。 ○対象内容：(1)テーマの設定 (2)本市の教育資源を活用した体験活動の実施 (3)実践結果の発信				
	取組成果	令和6年度は、地域の環境・伝統・文化をテーマとした活動を、各学校の実態に応じて実施した。実施においては「地域の子どもは、地域でも育てる」という観点から、児童が「人」「もの」「こと」と直接触れ合う体験活動を重視した。その結果、学校と地域が連携して、運営を行い体験活動を充実させることができた。年度末のアンケートでは、95%以上の児童が「地域・人々と触れ合うことができた」と回答した。				
No	取組名	中学生ドリームアップ事業	事業費(千円)	6,779	担当課	学校教育課
2	具体的な取組内容	中学2年生における職場体験活動を中心に、3年間の系統性と計画性をもたせた特色あるカリキュラムを各中学校ごとに実施することで、生徒一人一人の将来への夢と志をはぐくむ。 ○中学1年生：職業学習、中学2年生：職場体験活動、中学3年生：進路選択学習				
	取組成果	令和6年度は、中学2年生対象の職場体験を最大5日間の日程で実施した。実際に「働く」体験を通して、自分のよさに気付き自己有用感をもつとともに、コミュニケーションの大切さを実感することができた。また、親の仕事にも目が向くようになり、感謝の心をもつことができた。3年間の計画的な学習により、生徒の勤労観や職業観が高まり、今後の生活や自己の将来について考えることができた。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

- ①ふくしまっ子未来トーク開催事業[220](教育総務課)    ②福島型個性をのばす教育推進事業[3,364](教育総務課)
- ③学校図書館システム運用事業[26,925](学校教育課)    ④幼・保・小・中学校接続推進事業[633](学校教育課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。指標の設定に疑義は残るが、個性を尊重した、自己肯定感を高める教育を進めることに期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

ふくしま・ふれあい・夢ぱらん事業については、各校の取り組みについて情報共有することで、自校の取り組みについて振り返り検討する等、自校の取り組みを見直せるようにしていく。  
中学生ドリームアップ事業については、職場体験活動を3年間の探究的な課題解決活動の流れの中に位置づけ、生徒が地域とのつながりを意識できる体験活動にしていく。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	図書館
----------	-----	-------	-----	-----

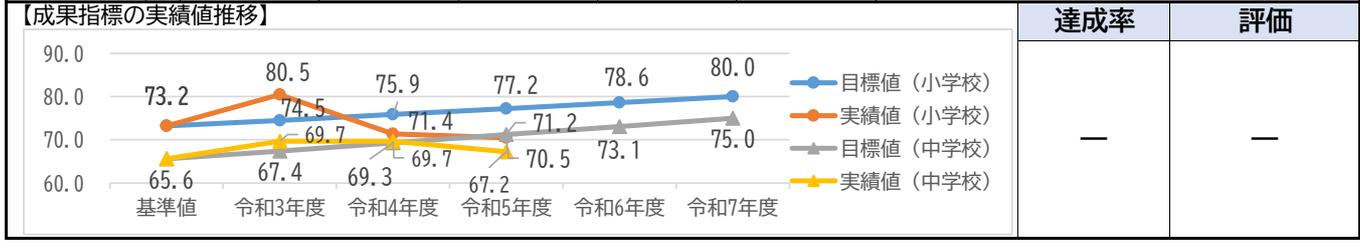
## 成果指標 5. 読書が好きな児童生徒の割合(小学6年、中学3年)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 2. 学校教育の充実**

指標の説明 児童生徒の読書への取組状況により、読書への関心の高さをはかる指標です。  
※全国学力・学習状況調査における「読書が好きな児童生徒の割合」の結果を引用していたが、令和6年度から当該調査項目がなくなったため、実績値の算出が不可となった。

基準値(令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(小学校) 73.2	目標値	①74.5	①75.9	①77.2	①78.6	①80.0	読書により豊かな心の育成を図るとともに、教科等の学習における読解力の育成により、基準値をもとにさらに上回る小学6年生80%、中学3年生75%を目指します。
②(中学校) 65.6	実績値	②67.4	②69.3	②71.2	②73.1	②75.0	
%	達成率	①100.0%	①0.0%	①0.0%	-	-	



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費(千円)	担当課
1	学校図書館図書整備事業	14,600	学校教育課
	具体的な取組内容	学校における読書活動の充実を図るため、学校図書館において児童生徒の興味・関心に応じた本や学習に役立つ本等の補充を計画的に行うとともに、子どもが最新の良書に触れ、本を手に取りやすい環境を整備する。これにより、「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能を充実させる。 ○学校図書更新可能冊数(予定)：小学校 5,060冊 中学校 2,913冊 特別支援学校 71冊	
	取組成果	児童生徒の興味関心に応じた図書資料や情報を得られる図書資料、学習に役立つ本等を各学校の実態に応じて補充し、読書環境の整備を図った。また、子どもが図書を検索しやすい環境を整えるため、図書資料を分類・装備し、データ管理が可能となるように、バーコードラベル等を各学校へ配付した。 ○令和6年度学校図書購入冊数 小学校 4,593冊/中学校 2,985冊/特別支援学校 49冊	
2	子どもの読書活動推進事業	1,281	図書館
	具体的な取組内容	子どもが言葉や知識を身につけ、創造力や感性を磨き、思考力や表現力を高め、人生をより深く生きる力を身につけるため、各世代向けの事業を行う。 ○主な内容：(1)4カ月児への健診時の絵本プレゼント(ブックスタート) (2)3歳6カ月児への健診時の読書啓発(ブックステップ) (3)中高生のビブリオバトルの開催 (4)小・中学生全員を対象とした「読書オリンピックふくしまっ子大会2024」として「読書ハードル」を書店等と共創イベントとし実施	
	取組成果	上記計画の柱である「10分読書運動」は、小中学校と連携し、読書マラソンとして取り組まれ、読書習慣の形成に寄与した。また、「ふくしま読書の日」は、おはなし会等のイベント・月1回の貸出2倍デーの実施等、読書活動の起点となり、子どもたちの読書活動を推進した。また、ブックスタート等発達段階に応じた取組をすることで、切れ目のない読書活動を推進した。 ○令和6年度 児童書の1か月の平均貸出冊数(図書館・学習センター図書室)：32,940冊	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

（この欄は空欄です）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

引き続き読書を推進する取り組みは続けて欲しい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

各校において、「10分読書運動」「家読」等を実施するにあたり、家庭との連携を強化することで、さらなる児童生徒の読書習慣の形成を図る。また、教職員・学校司書が学校図書館システムの機能を理解し、最大限に発揮することで、児童生徒が読書により親しむことができるよう、市立図書館・学校図書館・学校司書の連携を図りながら読書環境の整備を進めていく。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	教育研修課
----------	-----	-------	-----	-------

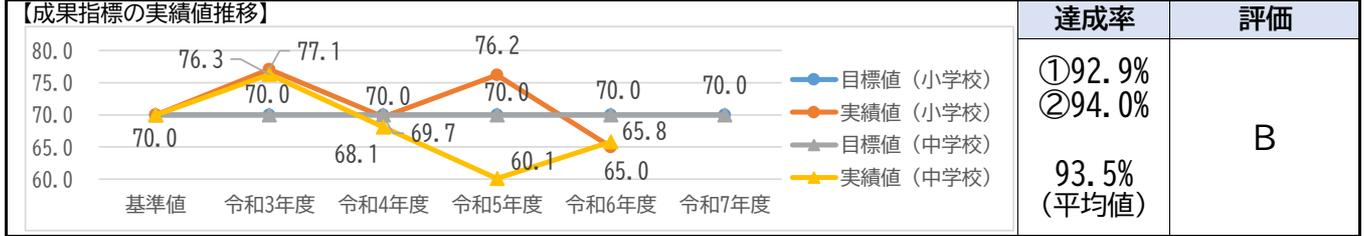
## 成果指標 6. 学力を伸ばした児童生徒の割合(小学5・6年、中学1・2年)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】**  
**2. 学校教育の充実**

指標の説明 学力を伸ばした児童生徒の割合により、学習内容の習得状況をはかる指標です。  
※ふくしま学力調査

基準値(令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(小学校)	目標値	①70.0	①70.0	①70.0	①70.0	①70.0	児童生徒の実態に応じた対応や学習意欲を向上させる取組により、小学5・6年生、中学1・2年生ともに70%を目指します。
	実績値	②70.0	②70.0	②70.0	②70.0	②70.0	
②(中学校)	目標値	①77.1	①69.7	①76.2	①65.0		
	実績値	②76.3	②68.1	②60.1	②65.8		
%	達成率	①100.0%	①99.6%	①100.0%	①92.9%		
		②100.0%	②97.3%	②85.9%	②94.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	学力向上推進事業	事業費(千円)	-	担当課	学校教育課
1	具体的な取組内容	児童生徒の学力向上に向けた取組を推進するため「全国学力・学習状況調査」及び「ふくしま学力調査」の結果を分析し、効果的な取組や手立ての共有化を図るとともに、中学校区単位で学力向上に関する会議を開催する。また、各学校からの要請に応じ授業研究会等に指導主事を派遣する。 ○学力向上グレードアップ会議 ○学カグレードアップ指導主事派遣				
	取組成果	学力向上担当指導主事による授業を、小学校教諭だけでなく中学校教諭にも公開して、学力向上につながる授業のイメージを共有するとともに、よりよい授業について協議することで、算数・数学科の授業改善につなげることができた。また、学力向上グレードアップ会議において、子どもを主語とした授業改善を全市で共有することができた。				

No	取組名	学力向上サポート事業	事業費(千円)	10,114	担当課	学校教育課
2	具体的な取組内容	重点課題の一つである中学校数学科の学力向上のため、学習支援員を配置し、授業等における個に応じた手厚い指導を実施する。また、小学校算数科の学力向上のため、教育委員会が選定した学校に、学力向上担当指導主事を継続的に派遣し、直接授業を実施するほか、当該校の学力向上策について指導助言する。 ○【小】学力向上担当指導主事の派遣(令和6年度は松川小学校、金谷川小学校、下川崎小学校) ○【中】中学校学習支援員の配置 11校 ○【小・中】学力向上推進訪問(算数・数学科の授業に特化した指導主事の訪問)				
	取組成果	中学校に学習支援員を配置し、個に応じた指導及び昼休み時間等を活用した学習支援を行うことにより、生徒にできる・わかる喜びを味わわせることができた。 また、学力向上担当指導主事による授業研究会を実施したり、授業記録動画を公開し取組のよさを周知したりすることにより、教員の授業改善への意識が向上し、授業改善につながった。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

①学カグレードアップ指導主事派遣[0](学校教育課) ②ICT教育ヒューチャービジョン推進事業[391,778](教育研修課)  
③読解力向上推進事業[820](教育研修課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

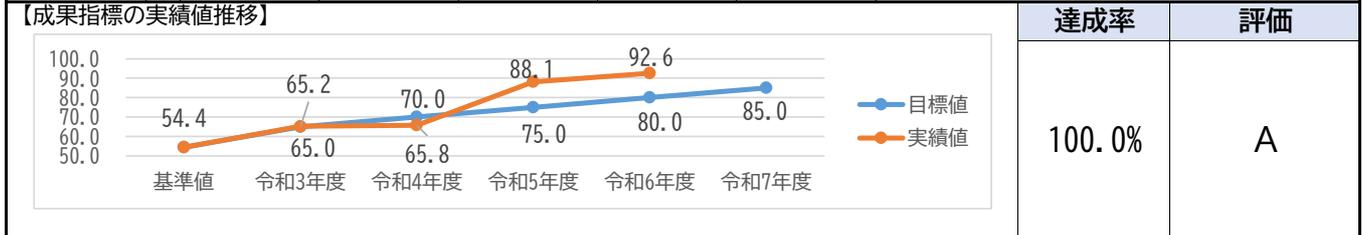
学力向上担当指導主事による授業公開においては、小学校教諭だけでなく中学校教諭にも積極的な参加を促し、授業及び協議を通して学力向上につながる授業のイメージを共有し、算数・数学科の授業改善につなげる。また、市内中学校4校(前期2校、後期2校)に配置している授業改善サポーターのかかわり(授業づくりの支援、授業力向上に向けた助言など)を他校へも広げ、中学校数学科の授業改善につなげる。  
学力向上グレードアップ会議において、「子どもを主語とした授業」「観の転換」を各校で推進できるよう引き続き促していくほか、非認知能力育成についても積極的に推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	教育研修課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

## 成果指標 7. 授業にICT機器(タブレットPC・タブレット端末)を活用して指導できると回答する教員の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 3. 学びの環境の充実</b>						
指標の説明	教員のICT機器(タブレットPC・タブレット端末)を用いた指導力をはかる指標です。 ※学校における教育の情報化の実態等に関する調査(教員のICT活用指導力等の実態)						
基準値(令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
54.4	目標値	65.0	70.0	75.0	80.0	85.0	ICT機器の急速な配備(指導者用タブレットPCと学習者用タブレット機器の一人一台配置)に応じた教員の指導力の向上が不可欠であるため、全ての教員が授業においてICT機器を有効に活用できることを目指します。
	実績値	65.2	65.8	88.1	92.6		
	達成率	100.0%	73.1%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	ICT研修推進事業	事業費(千円)	4,850	担当課	教育研修課
1	具体的な取組内容	学校に導入した端末やソフトウェアの活用方法について、ICT指導員や指導主事による研修を実施する。また、外部講師を招聘した専門的で実践的な研修を行い、授業にICT機器を活用して指導できる教員の割合を増やす。 ○主な内容：ICT推進員研修会、生成AI活用講座、中学校プログラミング教育実践講座、情報モラル教育講座、ゲーム・ネット依存予防講座、研修動画の作成等				
	取組成果	GIGAスクール支援サイトを構築し、操作方法の研修としてオンデマンド研修も追加した。また、授業でのICT活用や校務DXの事例紹介、クラウドアプリ活用の仕方に関する研修を実施した。ICT推進員研修会では、チャットを導入し疑問点の即時解決を図り、小グループに分かれての協議や協議結果の全体共有をオンラインで行ったが、スムーズに進行することができ、参加者のICT活用スキルの高まりがうかがえた。				
No	取組名	ICT教育フューチャービジョン推進事業	事業費(千円)	391,778	担当課	教育研修課
2	具体的な取組内容	児童生徒が日常的に端末を活用する「福島型オンライン授業」を定着させるため、安心して利用できる端末やネットワークの適切な管理と、導入したICT機器の活用支援を行い、児童生徒の個別最適化された学びの実現と情報活用能力の育成を図る。 ○主な内容：全市一斉オンライン授業の日、ICT支援員派遣業務、ICT活用支援訪問、ICT環境整備等				
	取組成果	定期的にICT支援員が学校を訪問し、日々の授業へのICT機器等の活用が図られるよう、授業支援や学校での研修を実施したほか、令和5年度に引き続き指導主事による学校へのICT活用支援訪問を行い、管理職やICT推進員と面談し、活用推進に向けた情報提供を行った。これらの取り組みにより、成果指標を93.4%まで上げることができた。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

--

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

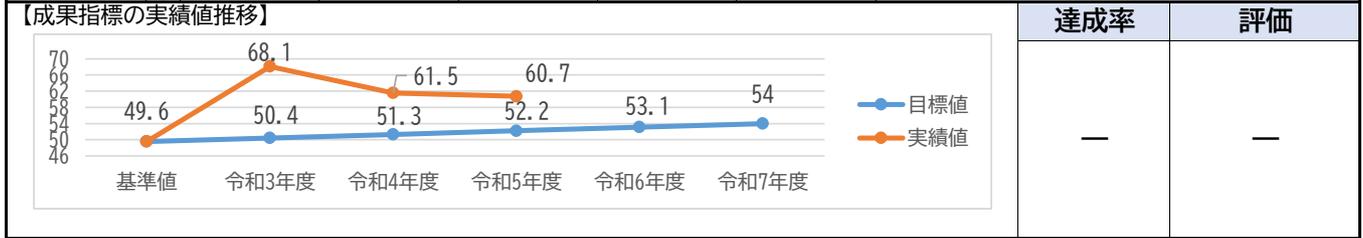
GIGAスクール支援サイトでの1人1台端末を用いた実践例の紹介や、Google for Education研修の開催により、教育の質を向上させ、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。  
また、クラウドツールを活用した校務DX研修や生成AI活用講座などを通して、教職員のICT活用スキルの向上を図り、児童生徒一人ひとりの学びの質を高めていく。

指標進捗管理担当	(主)	学校教育課	(副)	教育研修課
----------	-----	-------	-----	-------

## 成果指標 8. 家庭学習に計画的に取り組む児童生徒の割合(中学3年)

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 3. 学びの環境の充実</b>						
指標の説明	家庭学習への計画的な取組により、自己実現に向けて生涯にわたる学びの習慣を身に着けている状況をはかる指標です。 ※全国学力・学習状況調査における「計画的に家庭学習に取り組んでいる生徒の割合」の結果を引用していたが、令和6年度から当該調査項目がなくなったため、実績値の算出が不可となった。						
基準値(令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
49.6	目標値	50.4	51.3	52.2	53.1	54.0	学校と家庭の連携などにより、家庭学習に計画的に取り組む児童生徒の割合の向上を目指します。
	実績値	68.1	61.5	60.7	—	—	
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	—	—	



達成率	—
評価	—

### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	幼・保・小・中学校接続推進事業	事業費(千円)	633	担当課	学校教育課
1	具体的な取組内容	中学校区内の幼稚園及び保育園(公立・私立)並びに公立小・中学校の担当者が参集し、子どもたちの学びの関連性・系統性・連続性から、目指す子どもの姿を設定し共有する。小・中学校においては、系統性のある授業の展開方法や家庭学習の在り方等について話し合い、具体的な実践につなげる。				
	取組成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼・保・小・中学校の担当者が家庭学習の状況やメディアの使用状況等について情報交換し、発達段階に応じた家庭学習の内容や方法について検討した。各学校から手引き等を作成し、家庭学習について発信したり、メディアコントロールデー等の取り組みを行ったりした。また、啓発リーフレット「インターネットを上手に付き合うために」を12月に作成して各家庭への啓発を図った。</li> <li>・令和6年度末に市独自で実施した「生活・学習に関するアンケート」の同項目の結果は、61.0%</li> </ul>				
No	取組名	ICT教育フューチャービジョン推進事業	事業費(千円)	391,778	担当課	教育研修課
2	具体的な取組内容	児童生徒が日常的に端末を活用する「福島型オンライン授業」を定着させるため、安心して利用できる端末やネットワークの適切な管理と、導入したICT機器の活用支援を行い、児童生徒の個別最適化された学びの実現と情報活用能力の育成を図る。 ○主な内容：全市一斉オンライン授業の日、ICT支援員派遣業務、ICT活用支援訪問、ICT環境整備等				
	取組成果	定期的にICT支援員が学校を訪問し、日々の授業へのICT機器等の活用が図られるよう、授業支援や学校での研修を実施したほか、令和5年度に引き続き指導主事による学校へのICT活用支援訪問を行い、管理職やICT推進員と面談し、活用推進に向けた情報提供を行った。これらの取り組みにより、成果指標を93.4%まで上げることができた。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

--	--	--	--	--	--	--

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

引き続き家庭学習を推進する取り組みは続けて欲しい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

各学校区の接続事業推進協議会において、家庭学習への取り組みについて共通理解を図り、校種間で系統的・連続的に進めていくことを確認した。家庭学習については、自ら学習をマネジメントする上での有効な「自己決定の場」と捉え、児童生徒が自分で必要とする学習を選択して、主体的に取り組む学習となるよう、タブレットの活用や家庭との連携などを進めていく。

指標進捗管理担当	(主)	教育施設管理課	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

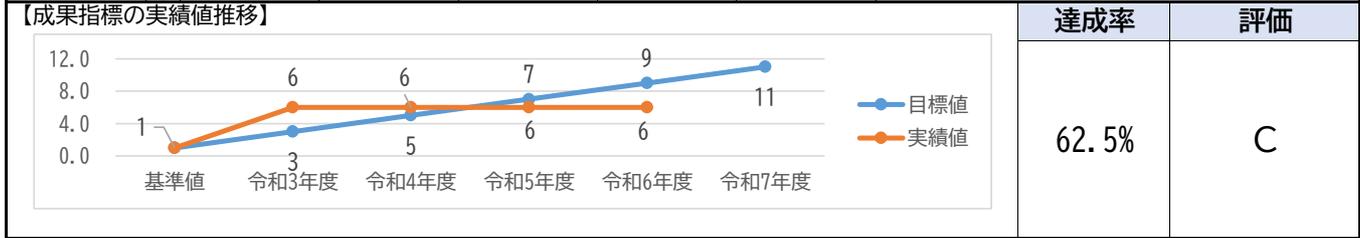
## 成果指標 9. 学校施設の更新及び長寿命化改修数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】**  
**3. 学びの環境の充実**

指標の説明 学校施設全体の改築及び長寿命化改修の取り組みにより、学校の教育環境の改善状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
1 (1件)	目標値	3	5	7	9	11 (13件)	学校施設全体の改築及び長寿命化改修を計画的に進めることにより、今後5年間に11校13件の事業に着手することを目指します。
	実績値	6	6	6	6		
	達成率	100.0%	100.0%	83.3%	62.5%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	松陵中学校校舎等改築事業 施設老朽化が著しく、耐震性の不足が確認されている松陵中学校について改築工事を実施し、福島市内初の義務教育学校として改築を行う。 ○改築事業（令和4～6年度） ○既存校舎改修工事（令和6年度）	300,000	教育施設管理課
2			

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

--

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

学校施設ごとに詳細な現状の把握、カルテの作成などにより、大規模改修の時期を正確に捉え、より安全安心な教育環境の整備に努める。

指標進捗管理担当	(主)	男女共同参画センター	(副)	産業雇用政策課、生涯学習課
----------	-----	------------	-----	---------------

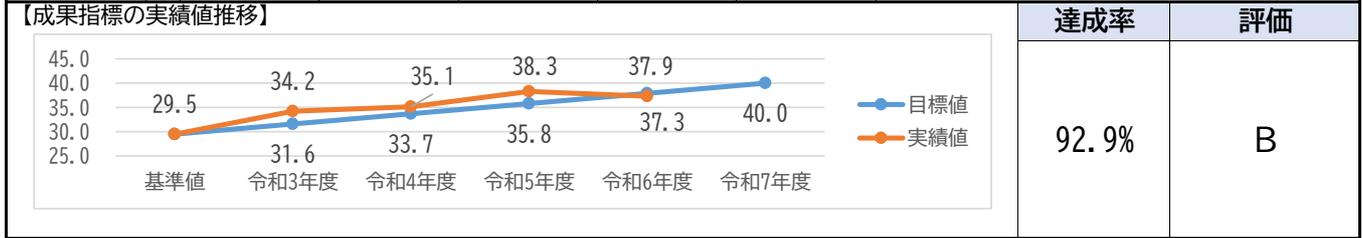
## 成果指標 10. 女性委員の参画割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 4. 男女共同参画・人権尊重の推進**

指標の説明 市政における政策や方針決定の場への女性の参画状況をはかる指数です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
29.5	目標値	31.6	33.7	35.8	37.9	40.0	様々な意思決定過程に男女がバランスよく参画し、多様な意見を反映させるため、男女のいずれか一方の委員の数が、総数の10分の4未満とならないことを目指します。
	実績値	34.2	35.1	38.3	37.3		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	92.9%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	男女共同参画啓発事業	482	男女共同参画センター
	具体的な取組内容	男女共同参画についての「あなたからのメッセージ」の募集事業の実施、広報のためのWebマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成により、男女共同参画意識および人権尊重意識の啓発を図る。 ○対象内容：(1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ作品募集 (2)Webマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成	
	取組成果	男女共同参画意識及び人権尊重意識の啓発を図るため、以下の取り組みを行った。 (1) 男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集…551作品 (2) Webマガジン「ふくしまさんかく通信」…7回、4コマ漫画…6回 社会情勢に対応したテーマ設定など、啓発方法や内容について工夫した。	
2	女性学級開設・女性教育振興事業	2,274	生涯学習課
	具体的な取組内容	女性が自発的な学習意欲を持ち、豊かな人間性を培うとともに一人一人の個性と能力を十分に発揮し、社会において活躍できるよう支援する。 また、女性共通の課題の学習と、女性のリーダーを育成するため各種講座・研修会を実施する。 ○対象内容：(1)地域連帯意識の形成に寄与する (2)現代的・社会的課題への理解を深める (3)自らの能力開発に努める	
	取組成果	各学習センターにおいて、女性学級を開設し、健康・日常生活に役立つ学びやSDGs等現代的・社会的課題へ理解を深める学習等を通してながら団体活動を体験し、特色ある学級づくりに努めた。 また、女性教育の振興をはかるため、各学習センターに女性教育指導員を配置した。 ○実績 女性学級開設：16学習センター25学級 計415回開催 女性教育指導員：16学習センターに設置	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

①働く女性応援事業[2,247](産業雇用政策課) ②女性活躍推進事業[1,676](産業雇用政策課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。女性の人材発掘と女性活躍のためのさらなる機会の提供に期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

上記結果について全庁的に共有のうえ、さらなる参画率の向上を図る。  
審議会等における委員構成について、必要に応じて選出方法の見直しを検討するなど、関係各課の理解と協力を得ながら、参画割合の向上に向けて、さらなる取り組みを図る。

指標進捗管理担当	(主)	男女共同参画センター	(副)	こども家庭課
----------	-----	------------	-----	--------

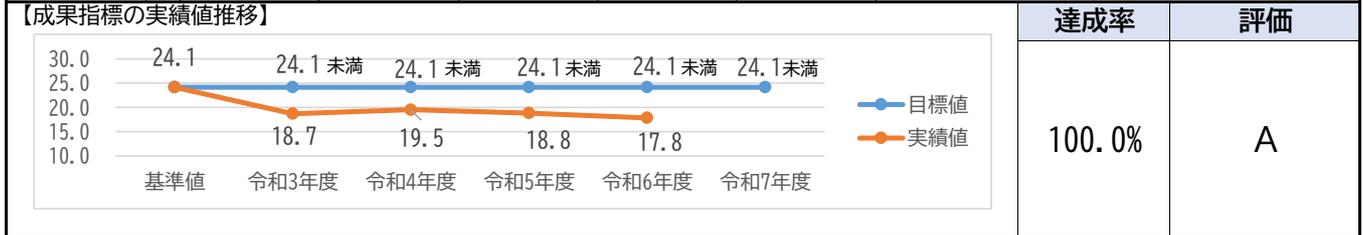
## 成果指標 11. DVの被害、認識状況の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 4. 男女共同参画・人権尊重の推進**

指標の説明 特に女性が被害者となりやすい、配偶者や恋人などから受ける暴力の存在をはかる指標です。  
※男女共同参画に関する意識調査（DV被害を受けたことがある、身近で見聞きしたことがある人の割合）

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
24.1 %	目標値	基準値未滿	基準値未滿	基準値未滿	基準値未滿	基準値未滿	あらゆる暴力行為は犯罪となりうる重大な人権侵害であるため、基準値からの減少を目指します。
	実績値	18.7	19.5	18.8	17.8		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	女性相談事業	7,744	こども家庭課
	具体的な取組内容	配偶者等からの暴力や離婚、生活の悩み等、女性からの相談に対応するため、専門の女性相談支援員を配置する。相談内容に応じ、庁内関係各課や福島県女性のための相談支援センター等を紹介して女性の自立を支援する。また、DV等は子どもの心理的虐待にあたることから、女性保護の観点に加えて、児童福祉部門と連携し児童保護の観点を踏まえて相談対応を行う。併せて、市HP等において女性に関する情報を掲載し、相談先の周知や被害に関する普及啓発を行う。	
	取組成果	相談内容に応じて必要な手続きの助言や関係機関の斡旋を行うとともに、DV被害者に対しては警察や女性のための相談支援センターと連携を取り、適切な保護や自立の支援を行った。また、子どもの虐待を含むケースについては、児童相談所等の関係機関と連携を取りながら適切な支援を行った。相談件数（延べ）706件	
2	男女共同参画啓発事業	482	男女共同参画センター
	具体的な取組内容	男女共同参画についての「あなたからのメッセージ」の募集事業の実施、広報のためのWebマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成により、男女共同参画意識および人権尊重意識の啓発を図る。 ○対象内容：(1)男女共同参画についてのあなたからのメッセージ作品募集 (2)Webマガジン「ふくしまさんかく通信」の作成	
	取組成果	男女共同参画意識及び人権尊重意識の啓発を図るため、以下の取り組みを行った。 (1) 男女共同参画についてのあなたからのメッセージ募集…551作品 (2) Webマガジン「ふくしまさんかく通信」…7回、4コマ漫画…6回 社会情勢に対応したテーマ設定など、啓発方法や内容について工夫した。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①ひとり親家庭自立支援事業[7,421]（こども家庭課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、女性相談事業に関する相談先の周知や被害に関する普及啓発、男女共同参画及び人権意識の観点からの啓発を行う。併せて、相談内容に応じ、関係各課や関係機関と連携し、児童保護の観点を踏まえて相談対応を行う。

指標進捗管理担当	(主)	保健総務課	(副)	衛生課、健康づくり推進課、農業振興課、環境衛生課、 幼保支援課、公園緑地課、教育施設管理課
----------	-----	-------	-----	--

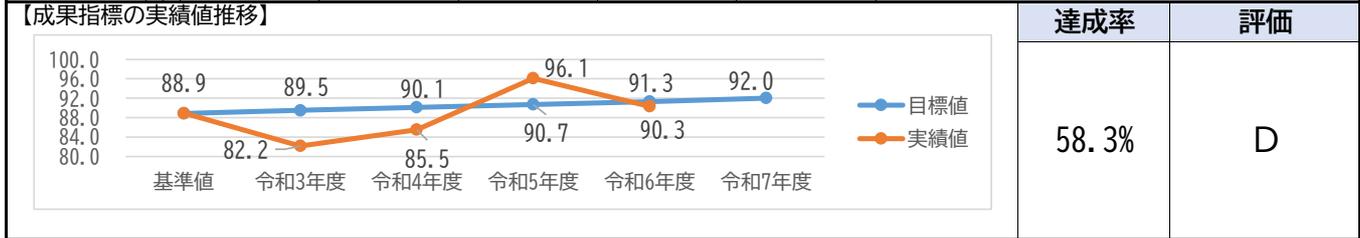
**成果指標** **12. 講座受講後の不安軽減率** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**5. 放射線対策の充実**

指標の説明 放射線に関する健康講座を受講した後の不安軽減率により、放射線に関する正しい知識の理解度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
88.9	目標値	89.5	90.1	90.7	91.3	92.0	不安を抱えている市民に寄り添った健康講座の開催により、不安軽減率が年0.5%程度増加することを目指します。
	実績値	82.2	85.5	96.1	90.3		
	達成率	0.0%	0.0%	100.0%	58.3%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	仮置場返還等推進事業	372,669	環境衛生課
	具体的な取組内容	仮置場の速やかな返還に向け、関係者間協議や原状回復工事を順次進める。個別の事情により、除去土壌の搬出が未了となっている箇所の現場保管を解消する。 ○対象内容：(1)仮置場の原状回復 (2)現場保管の解消 ○進捗状況：(1)仮置場の原状回復 (2)搬出困難箇所の現場保管の解消	
	取組成果	仮置場ごとに地権者及び施設管理者等と原状回復に向けた協議を行い、順次、原状回復工事等を実施し返還を進めた。搬出困難事案の解消に向けた地権者協議や現地調査を継続して行い、現場保管の解消に努めた。 ○仮置場の返還のR6実績 4箇所 ※全41箇所中39箇所を返還完了済み。R7年度末までに全て返還予定。 ○搬出困難箇所の現場保管解消のR6実績 17件 ※全203件中56件を解消済み。	
2	放射線健康管理事業	60,472	保健総務課
	具体的な取組内容	放射線による健康不安の軽減と、正しい知識の普及啓発を図るため、内部・外部被ばく検査の実施や出前講座等を行う。 ○対象内容：(1)市所有ホールボディカウンタでの線量測定 (2)ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 (3)放射線と市民の健康講座の開催	
	取組成果	ホールボディカウンタ等による内部被ばく検査及びガラスバッジによる外部被ばく検査結果から、福島市健康管理検討委員会より「健康に影響を与えるような数値ではない」との評価を受けた。また、健康講座開催後には、90.3%の受講者から放射線への基本的な知識を学び健康への不安が軽減されている旨のアンケート回答を得た。 ○内部被ばく検査 6,534件 ○ガラスバッジを用いた外部被ばく線量測定 339件 ○放射線と市民の健康講座の開催 6回 189人	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)**

- ①放射性物質吸収抑制対策事業[18,733] (農業振興課) ②環境放射線量測定事業[25,194] (環境衛生課、公園緑地課)
- ③農産物・食品等放射能測定事業[61,999] (環境衛生課、衛生課、農業振興課)
- ④給食まるごと検査事業[49,458] (幼保支援課、教育施設管理課) ⑤一般健康診査対象者拡大事業[96] (健康づくり推進課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

これまでの取り組みにより放射線に対する不安が軽減され受講者が減少傾向にあるなか、放射線に対する不安を抱える市民が一定程度いるため、正確な情報の提供、発信を行い不安軽減を図る。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課、予防課
----------	-----	-------	-----	------------------

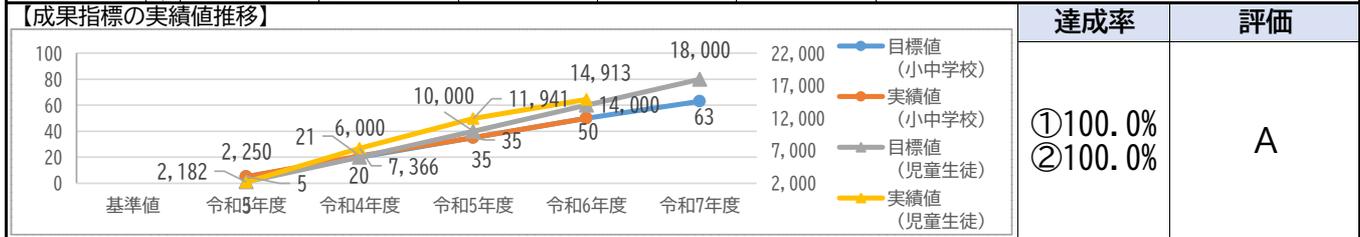
**成果指標** 13. 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**6. 危機管理・防災減災体制の充実**

指標の説明 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数により、幼少期からの危機管理・防災減災に対する危機対応力と地域防災の担い手の育成度、地域と学校の連携度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(小中学校)	①5 ②約2,250	①20 ②約6,000	①35 ②約10,000	①50 ②約14,000	①全63 ②約18,000		地域の実情を踏まえた、より実践的な防災減災に学び触れる機会などの一層の推進を図ることにより、すべての小中学校、児童生徒への実施を目指します。
②(児童生徒)	①5 ②2,182	①21 ②7,366	①35 ②11,941	①50 ②14,913			
①校、②人	①100.0% ②97.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%			



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費(千円)	担当課
1	防災意識醸成・危機対応力向上事業	192	危機管理室
	具体的な取組内容		
	取組成果		

小中学校の子どもたちと保護者の防災意識向上を図るため、防災に関するアンケートを実施し、災害への備えや避難行動等について家族で考える機会を創出する。○実施目標：大生小ほか14校  
また、様々な世代の防災意識醸成と危機対応力向上を図るため、学校や企業、地域で「ぼうさい体験パッケージ」を実施し、子どもから大人まで気軽に楽しく防災について学ぶ機会を創出する。○実施目標：学校・企業・地区あわせて20箇所

信陵地区、西地区等の小中学校15校、約3,000人の児童生徒を対象に、災害について家族と一緒に考える機会を創出し、日頃からの防災意識の向上につなげるためのアンケートを実施した。  
また、気軽に楽しみながら防災を学ぶ「ぼうさい体験パッケージ」を学校、企業、地域において実施し、災害時の危機対応力の向上を図った。○実績：学校12校 企業1社 地域3地区

No	取組名	事業費(千円)	担当課
2	地域防災訓練	1,227	危機管理室
	具体的な取組内容		
	取組成果		

地域防災対策に関する課題への対応力向上を図るため、地震災害・風水害・火山災害等、各地域で発生する可能性が高い災害を想定し、幅広い層の地域住民が連携・参加できる防災訓練を実施する。  
○実施地区：災害対策現地本部となる各支所・茂庭出張所を単位とする17地区  
○補助内容：一地区75,000円(総合防災訓練実施地区を除く)

自主防災組織など多くの市民の参加協力のもとに自助・共助を基調に地域の特性に応じた実効性のある訓練を実施し、災害時における迅速かつ確かな防災体制の確立と地域住民の防災意識の高揚及び地域防災力の向上を図ることができた。  
○実施地区：災害対策現地本部となる各支所・茂庭出張所を単位とする17地区

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①地域防災力強化事業 [5,200] (危機管理室)
- ②要援護者支援パッケージ事業 [47,491] (危機管理室ほか)
- ③ふくしま防災体験フェア [811] (危機管理室)
- ④避難行動要支援者支援事業 [47,363] (長寿福祉課)
- ⑤障がい者に配慮した災害時支援事業(障がい福祉課)
- ⑥幼少年消防クラブの危機対応力向上事業(予防課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

引き続き目標を達成できるよう、着実に取り組みを推進する。

指標進捗管理担当	(主)	危機管理室	(副)	障がい福祉課、長寿福祉課
----------	-----	-------	-----	--------------

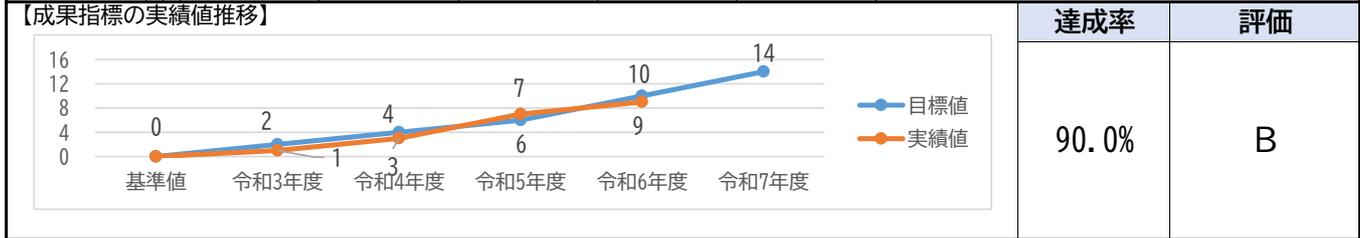
**成果指標** **14. 地区防災マップ・防災計画の策定地区数** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**6. 危機管理・防災減災体制の充実**

指標の説明 地区防災マップ・防災計画を策定している地区数により、市民防災力の充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
0	目標値	2	4	6	10	14	防災意識の醸成により、地区防災マップ・防災計画を策定する地区を14地区目指します。
	実績値	1	3	7	9		
	達成率	50.0%	75.0%	100.0%	90.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	地域防災力強化事業	5,200	危機管理室
	具体的な取組内容	地域コミュニティの強化と災害に強いまちづくりを推進するため、地域の実態に応じた地区防災マップや地区防災計画の作成を支援する。○実施内容：(1)防災ワークショップの開催 (2)地区防災マップ・地区防災計画の作成 ○対象地区：(1)防災マップ：岡部・北部地区、明治地区、上名倉地区、庄野地区、南向台・絵馬平等 (2)防災計画：湯野地区、瀬上地区、土船地区 また、防災訓練等を通して、自主防災組織の育成、防災力の強化を図る。 ○実施内容：防災講演会、防災リーダー研修会、防災訓練の支援・指導の実施	
	取組成果	地域住民が主体となり、地区の防災マップや防災計画を作成することで、自助・共助の意識の醸成や地域防災力の強化に寄与するとともに、「自らの地域は自分たちで守る」という住民意識の向上につながった。	
2	避難行動要支援者支援事業	47,363	長寿福祉課、障がい福祉課 危機管理室
	具体的な取組内容	災害時の避難に支援を要する方を地域で円滑に支援することができるよう、避難行動要支援者の新規登録勧奨や登録台帳の整備を実施する。また、福祉専門職や各地域の方と協力し、個別避難支援プランの作成を進める。 ○対象内容：(1)福祉専門職による個別避難支援プランの作成業務委託 (2)地域による個別避難支援プランの作成支援	
	取組成果	○避難行動要支援者名簿登録者数：12,199人 (R6.12.15時点) ○個別避難支援プラン作成数 (R6年度末時点) ・目標数3,354件 (ハザード区域内)に対し、作成済み760件	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)**

①災害対策オペレーションシステムの運用 [22,572] (危機管理室) ②地域防災訓練 [1,227] (危機管理室)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

住民が主体となる取組みであることから、住民により近い各支所防災担当のスキルアップに努めるとともに、平時から自助・共助の意識醸成を図ることで、作成地区の増につなげる。

指標進捗管理担当	(主)	消防総務課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

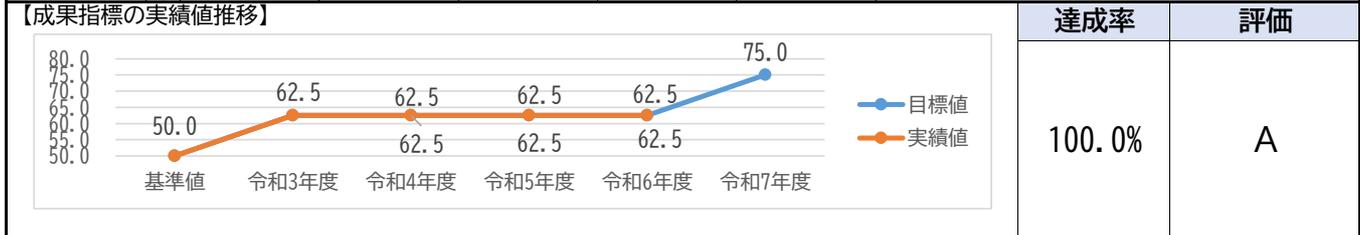
## 成果指標 15. 消防庁舎耐震化率

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 7. 消防・救急体制の充実**

指標の説明 耐震改修促進法による消防庁舎耐震化率により、消防力の充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
50.0 %	目標値	62.5	62.5	62.5	62.5	75.0	福島市公共施設等総合管理計画に基づく計画的な庁舎整備により、耐震化率75%を目指します。
	実績値	62.5	62.5	62.5	62.5		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	消防本部・福島消防署整備事業	134,233	新消防庁舎整備室
	具体的な取組内容	耐震基準を満たしていない消防本部・福島消防署庁舎を市民会館跡地を中心とする用地へ移転新築する。 ○令和6年度の取組内容 ①新消防庁舎の実施設計 ②建設用地（市民会館西側）の取得 ③高機能消防指令センターの施設に係る実施設計	
	取組成果	①実施設計を継続費（R6・R7）にて実施。令和6年度は予定どおり進捗した。 ②建設用地の取得は、権利者7名中2名と契約完了。権利者の移転の遅れ等によりその他の権利者は令和7年度前期契約完了予定。 ③高機能通信指令センターの施設に係る実施設計を予定どおり完了した。 消防本部・福島消防署整備事業の新築移転まで25%進捗。（実施設計の完了を30%として算定）	
2	消防施設等総合管理事業	4,911	消防総務課
	具体的な取組内容	・外部委員で構成する検討委員会を設置し、消防体制の再編（消防力適正配置）を検討。 ・西出張所及び杉妻出張所に係る耐震不備の解消に向けた対応方針についても検討。 ・消防力の適正配置を検討するため、外部の専門機関へ調査業務を委託（契約期間：令和6年4月25日～令和7年3月31日）。	
	取組成果	・適正配置調査及び各データをもとに外部検討委員会を実施、結果として当面は8署所を維持する方針となった。 ・耐震不備の西出張所及び杉妻出張所については、耐震性の確保を早急に行うよう事業を進めていく。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き消防本部・福島消防署整備事業を進めていくとともに、残りの2出張所についても耐震改修に向け事業を進めていく。

指標進捗管理担当	(主)	救急課	(副)	消防総務課
----------	-----	-----	-----	-------

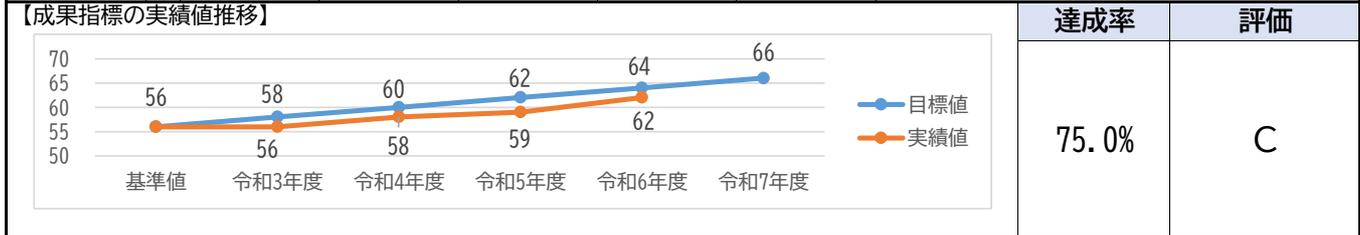
## 成果指標 16. 救急救命士の人数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 7. 消防・救急体制の充実**

指標の説明 救急救命士の人数により、救急医療サービスの充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
56 名	目標値	58	60	62	64	66	高度な知識と技術を持つ救急救命士の計画的な養成により、10名の増員を目指します。
	実績値	56	58	59	62		
	達成率	0.0%	50.0%	50.0%	75.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	救急救命士養成研修事業	5,358	消防総務課 救急課
	具体的な取組内容	10隊の救急隊全てを救急救命士運用隊として安定稼働し、救急医療サービスを持続的に提供するため、救急救命士を養成する。 ○対象内容：(1)救急救命士養成研修への参加 (2)研修教材費 (3)東京研修所負担金 ○育成数：2名(令和6年度)	
	取組成果	救急救命士養成研修に、2名を派遣した。	
2			
	具体的な取組内容		
	取組成果		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。今後の高齢社会に対応し得る救急救命士の確保に期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

救急救命士養成研修への計画的な派遣と職員採用試験において、救急救命士枠による有資格者の採用を継続しながら増員を図り、救急需要に対応する。

指標進捗管理担当	(主)	予防課	(副)
----------	-----	-----	-----

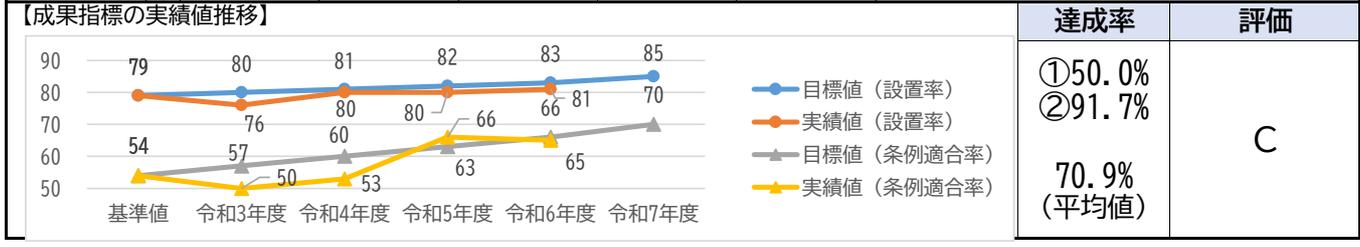
## 成果指標 17. 住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 7. 消防・救急体制の充実**

指標の説明 住宅用火災警報器の設置率により、住宅防火対策の強化をはかる指標です。

基準値(令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(設置率) 79%	目標値	①80	①81	①82	①83	①85	住宅用火災警報器の設置と維持管理の徹底を周知することにより、住宅用火災警報器の設置率(条例適合率)の向上を目指します。
	実績値	②57	②60	②63	②66	②70	
	達成率	①0.0%	①50.0%	①33.3%	①50.0%		
②(条例適合率) 54%	目標値	①76	①80	①80	①81		
	実績値	②50	②53	②66	②65		
	達成率	②0.0%	②0.0%	②100.0%	②91.7%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費(千円)	担当課	予防課
1	住宅用火災警報器設置状況等調査	—	担当課	予防課
	<p>具体的な取組内容 築20年以上経過している住宅(条例改正【平成18年】以前に建てられた住宅)が多い地域や木造密集地域、高齢者が多く居住する地域などに消防職員(地元消防団や女性防火クラブと連携)が直接訪問し、住宅用火災警報器設置状況等の調査を実施する。未設置世帯に対してはフォローアップ調査を行い、設置世帯に対しては定期的な作動確認や設置から10年を目安に交換することを促すなど、適正な維持管理について周知徹底を図る。 ※住宅用火災警報器設置状況等調査(秋季火災予防週間(11月9日~15日)、住宅用火災警報器設置強化月間(2月))</p> <p>取組成果 消防職員が直接訪問のうえ調査を実施した際、チラシを配布し設置世帯に対して適正な維持管理を図るよう周知した。また、未設置世帯に対しては、調査時にチラシを配布し設置の重要性について説明するとともに、フォローアップ調査を行い住宅用火災警報器の早期設置につなげた。</p>			

No	取組名	事業費(千円)	担当課	予防課
2	高齢者対策事業	—	担当課	予防課
	<p>具体的な取組内容 住宅火災においては、高齢者の死者割合(全体の75.2%)が高いことから、高齢者に特化した対策を実施する。自主防災訓練や防災講話の機会を捉えて、令和5年度に刷新した高齢者向けチラシを使った説明を実施し、住宅用火災警報器の重要性を理解してもらう。また、生活実態を把握している地元消防団、女性防火クラブ、民生委員と連携しながら、高齢者世帯へチラシ配布を依頼するなど住宅防火対策の推進を図る。 福島市消防設備協会、福島市防火管理連絡協議会、福島市危険物安全協会の共同事業である高齢者住宅用火災警報器給付事業を案内し、住宅用火災警報器の無償給付及び取り付け支援を実施する。</p> <p>取組成果 自主防災訓練などの機会を捉えて、高齢者向けチラシを使用し住宅用火災警報器の重要性を理解してもらう取り組みを行うとともに、地元消防団、女性防火クラブ、民生委員と連携しながら、高齢者世帯へチラシ配布を依頼したことで住宅用火災警報器の必要性について周知することができた。また、市政だよりに掲載し住宅用火災警報器の必要性について広報するとともに、高齢者住宅用火災警報器給付事業を案内し、無償給付及び取り付け支援を行った。</p>			

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き消防団、女性防火クラブ、民生委員及び町内会と連携しながら、チラシの配布を実施するとともに、SNSや広報紙などあらゆる媒体を有効に活用し、住宅用火災警報器の重要性や適切な維持管理について周知していく。

指標進捗管理担当	(主)	生活課	(副)	道路保全課、学校教育課
----------	-----	-----	-----	-------------

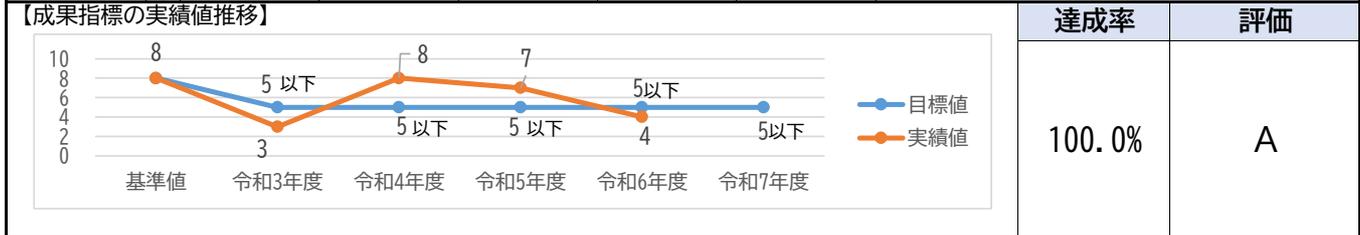
## 成果指標 18. 1年間の交通事故による死者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 8. 安心安全な市民生活の確保**

指標の説明 交通安全意識の高揚や交通環境の整備状況など交通安全に関する総合的な施策の取り組みの成果をはかる指標です。

基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
8 人	目標値	5以下	5以下	5以下	5以下	毎年5以下	交通安全に対する意識の高揚や交通安全施設の整備等を推進し、交通事故による死者数を過去5年間平均よりも少ない毎年5人以下を目指します。
	実績値	3	8	7	4		
	達成率	100.0%	62.5%	71.4%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	通学路等安全対策事業	33,170	生活課、道路保全課、学校教育課
	具体的な取組内容 ○対象内容：(1)通学路の合同点検 (2)通学路の安全対策工事（側溝の蓋掛、カラー舗装等）		
2	交通安全教育推進事業	756	生活課
	具体的な取組内容 ○対象内訳：(1)交通安全教室の開催 (2)交通安全啓発活動用品の支給		
	取組成果 ●通学路交通安全プログラムに基づき、関係機関と連携して、南部地区の小・中学校14校、さらに緊急性が高い南部地区以外の小学校3校を対象に、計48か所の合同点検を実施した。令和6年度中に合同点検を実施した箇所のうち6箇所ですべて安全対策工事等が行われ、通学路の安全確保を図ることができた。		
	取組成果 高齢者体験型交通安全研修会や夜の交通安全教室等、各種啓発活動を実施した。前年と比べ交通事故件数、死者数、傷者数すべて減少させることができた。		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①交通教育専門員費 [18,952]（生活課） ②交通安全運動推進費 [1,030]（生活課） ③高齢者交通安全対策事業費 [277]（生活課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き、事故全体の状況等も検証しながら、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

令和6年度成果指標において、交通事故死者数を目標値以下にすることができたものの、依然死亡事故が発生していることから引き続き、通学路等のインフラ整備や年齢層に応じた各種啓発施策を行う。加えて、交通事故死者数だけでなく、事故発生件数などを含めて評価に反映させるように検討し、より効果的な立案に繋げる。

指標進捗管理担当	(主)	健康づくり推進課	(副)	長寿福祉課、スポーツ振興課
----------	-----	----------	-----	---------------

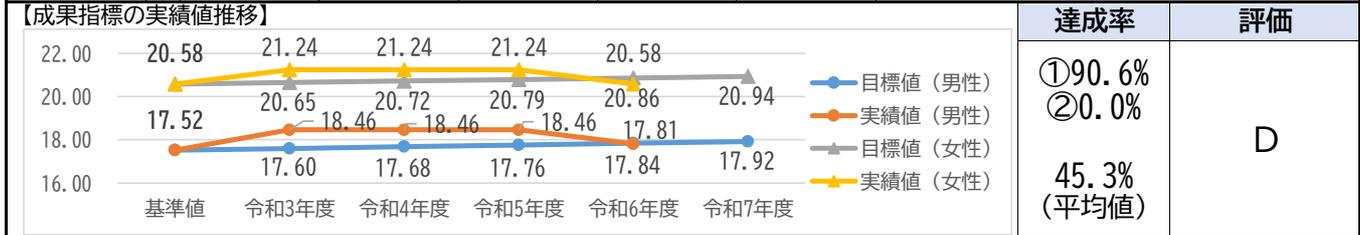
**成果指標** **19. お達者度(65歳健康寿命)** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**9. 健康・医療体制の充実**

指標の説明 65歳における健康寿命により、市民の健康状況の改善をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(男性) 17.52	目標値	①17.60	①17.68	①17.76	①17.84	①17.92	健康づくりの取り組みを推進することにより、健康寿命の延伸を目指します。
	実績値	②20.65	②20.72	②20.79	②20.86	②20.94	
②(女性) 20.58	目標値	①18.46	①18.46	①18.46	①17.81		
	実績値	②21.24	②21.24	②21.24	②20.58		
	達成率	①100.0%	①100.0%	①100.0%	①90.6%		
		②100.0%	②100.0%	②100.0%	②0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費(千円)	担当課
1	健都ふくしまの創造(地域の健康づくり)	2,082	健康づくり推進課
	具体的な取組内容		
	住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、地域の特性に応じた市民の主体的な健康づくり活動を支援し、市民・民間・行政総ぐるみの健康づくりを推進する。 ○取組内容：①地域の健康課題等についての学習会を実施する ②地区組織や団体関係機関とのネットワークづくり ③地域の健康づくり推進組織の設置・活動を支援する		
	取組成果		
	住民や地区組織と共に、地域の健康課題の共有や解決策を考える学習会・話し合いの場を開催し、生活習慣病予防の取組、健康情報の普及啓発を行った。その結果、個人の健康づくりに留まらない地域全体での健康づくりの取組や人と人とのつながりへと広がり、安心して暮らせる地域づくりに繋がっている。 ○取組実績：(1)健康づくりに関する健康教育 137回 延べ3,125人 (2)地域の健康づくり推進組織への活動支援(4地区)・その他の地区組織との連携		
2	国民健康保険特定健康診査等事業	220,662	健康づくり推進課
	具体的な取組内容		
	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1)特定健診・保健指導事業 (2)特定健康診査未受診者等対策 (3)糖尿病重症化予防事業 (4)高齢者のフレイル対策など		
	取組成果		
	特定健診を実施し、特定保健指導に該当した者に対し特定保健指導を実施した。また、特定健診未受診者対策、特定保健指導の未利用者対策として、通知や電話などで勧奨を行い、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1)特定健診受診者17,207人 受診率44.0%(速報値)※データヘルス計画目標値 60% (2)特定保健指導者 184人 受診率12.0%(速報値)※データヘルス計画目標値 45% (3)特定健診未受診勧奨者 21,001人 (4)特定保健指導未利用勧奨者 388人		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①健康づくり推進事業[1,506](健康づくり推進課)
- ②受動喫煙防止対策[8,159](健康づくり推進課)
- ③「適しお」の推進(食環境整備)[2,707](健康づくり推進課)
- ④歯と口腔の健康づくり推進[385](健康づくり推進課)
- ⑤健都ふくしま創造市民会議[238](健康づくり推進課)
- ⑥職場の健康づくり[211](健康づくり推進課)
- ⑦いきいきももりん体操・お口のももりん体操[675](長寿福祉課)
- ⑧パラスポーツ振興事業[8,348](スポーツ振興課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

今後の結果を注視していきながら、引き続き関係機関と連携し健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていくことで「健都ふくしま」の実現を目指す。

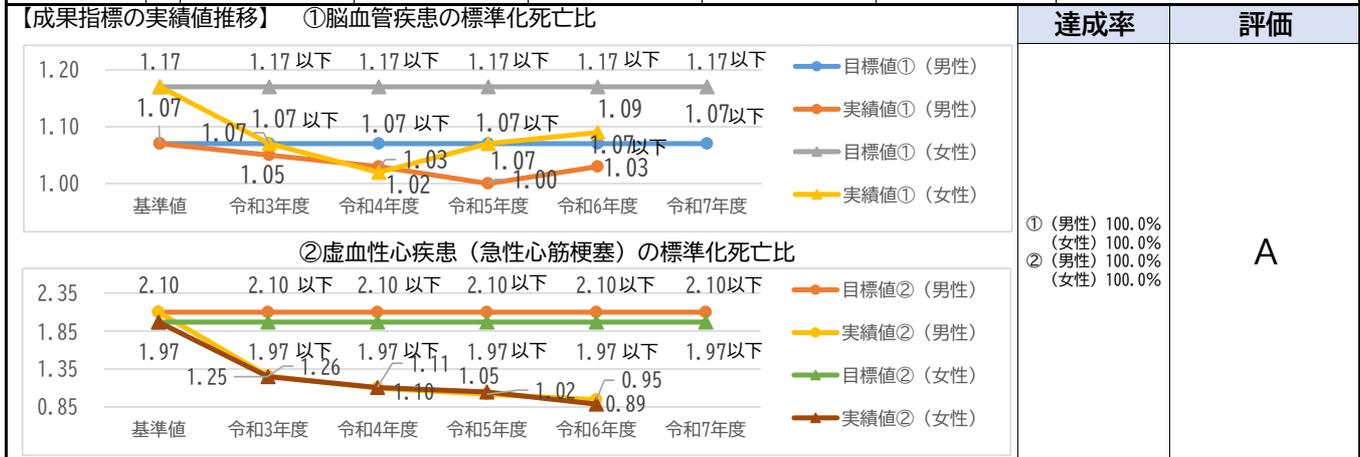
## 成果指標 20. ①脳血管疾患の標準化死亡率 ②虚血性心疾患(急性心筋梗塞)の標準化死亡率

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 9. 健康・医療体制の充実**

指標の説明 人口構成の違いを除去した死亡率の比較により、市民の健康状況をはかる指標です。

基準値 (H25-29)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①脳血管疾患の標準化死亡率 (男性) 1.07 (女性) 1.17 ②虚血性心疾患(急性心筋梗塞)の標準化死亡率 (男性) 2.10 (女性) 1.97	目標値	① (男性) 1.07以下 (女性) 1.17以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 (女性) 1.17以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 (女性) 1.17以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 (女性) 1.17以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	① (男性) 1.07以下 (女性) 1.17以下 ② (男性) 2.10以下 (女性) 1.97以下	健康づくりの取り組みを推進することにより、脳血管疾患・虚血性心疾患の標準化死亡率の基準値以下を目指します。
	実績値	① (男性) 1.05 (女性) 1.07 ② (男性) 1.26 (女性) 1.25	① (男性) 1.03 (女性) 1.02 ② (男性) 1.10 (女性) 1.11	① (男性) 1.00 (女性) 1.07 ② (男性) 1.02 (女性) 1.05	① (男性) 1.03 (女性) 1.09 ② (男性) 0.95 (女性) 0.89		
	達成率	① (男性) 100.0% (女性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%	① (男性) 100.0% (女性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%	① (男性) 100.0% (女性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%	① (男性) 100.0% (女性) 100.0% ② (男性) 100.0% (女性) 100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	国民健康保険特定健康診査等事業	事業費(千円)	220,662	担当課	健康づくり推進課
1	具体的な取組内容	特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1) 特定健診・保健指導事業 (2) 特定健康診査未受診者等対策 (3) 糖尿病重症化予防事業 (4) 高齢者のフレイル対策など				
	取組成果	特定健診を実施し、特定保健指導に該当者に対し特定保健指導を実施した。また、特定健診未受診者対策、特定保健指導の未利用者対策として、通知や電話などで勧奨を行い、被保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1) 特定健診受診者17,207人 受診率44.0% (速報値) ※データヘルス計画目標値 60% (2) 特定保健指導者 184人 受診率12.0% (速報値) ※データヘルス計画目標値 45%				
No	取組名	健都ふくしまの創造(「適しお」の推進)	事業費(千円)	2,707	担当課	健康づくり推進課
2	具体的な取組内容	健都ふくしま創造事業の「一人ひとりの健康づくりを応援する環境づくり」の一環として、「適しお(減塩)」を推進し、脳血管疾患や虚血性心疾患の予防を図る。 ○事業内容：(1) 「適しお(減塩)」の広報・周知 (2) 「適しおサポーター」の増加等 (3) 食生活改善推進員活動による食環境整備事業の推進				
	取組成果	地域での食生活改善推進員による活動や適しおサポーターなどの様々な担い手と協働により、「適しお(減塩)」を周知し、市民への啓発・普及に取り組み、健康的な食環境整備を図った。 ○取組実績：(1) 「適しおサポーター」 実施団体 100団体 実施施設 146施設 (2) 食生活改善推進員 83名 食生活改善推進員活動数 実施回数61回 参加人数8,842人				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

①健康づくり推進事業[1,506](健康づくり推進課) ②受動喫煙防止対策[8,159](健康づくり推進課) ③地域の健康づくり[2,082](健康づくり推進課) ④歯と口腔の健康づくり推進[385](健康づくり推進課) ⑤健都ふくしま創造市民会議[238](健康づくり推進課) ⑥職場の健康づくり[211](健康づくり推進課) ⑦生活習慣病重症化予防対策事業[137](健康づくり推進課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も「健都ふくしま」の実現を目指し、関係機関と連携しながら、健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、健康になれる環境整備や市民の主体的な健康づくりの支援を行っていく。

指標進捗管理担当	(主)	健康づくり推進課	(副)
----------	-----	----------	-----

## 成果指標 21. 喫煙習慣の割合

### 1 成果指標の概要

**関連する施策** 【個別施策】  
**9. 健康・医療体制の充実**

**指標の説明** 生活習慣病やがんのリスクである「たばこを習慣的に吸っている」者の減少の割合により、市民の健康状況の改善をはかる指標です。 ※福島市国民健康保険特定健康診査・特定保健指導報告

基準値 (H30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
① (男性) 21.8	目標値	①21.8以下	①21.8以下	①21.8以下	①21.8以下	①21.8以下	喫煙者の割合が高い状況にあることから、さらに禁煙・受動喫煙防止を推進し、健康づくりに取り組むことにより、喫煙習慣の基準値以下を目指します。
② (女性) 5.3	実績値	①19.6 ② 4.9	①20.1 ② 5.0	①19.7 ② 5.0	①20.6 ② 5.4		
%	達成率	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②98.1%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	健都ふくしまの創造 (受動喫煙防止対策)	8,159	健康づくり推進課
	<b>具体的な取組内容</b>		「福島市受動喫煙防止条例」に基づき、家庭・学校・職場・地域ぐるみで受動喫煙防止対策に取り組めるよう「福島市受動喫煙防止条例ガイドライン」「学童思春期向けパンフレット」等を活用し周知啓発を図る。また、受動喫煙防止指導員を配置し、受動喫煙防止重点区域における喫煙中止の指導等を実施する。 ○事業内容：(1)パンフレット等を活用した周知啓発 (2)「空気のきれいな施設」の認証 (3)受動喫煙防止指導員による巡回指導等 (4)受動喫煙防止重点区域を周知する看板・路面標示の設置
	<b>取組成果</b>		「福島市受動喫煙防止条例」に基づき、受動喫煙防止対策に取り組み、市民への周知啓発を図った。また、福島市受動喫煙防止対策推進委員会において、受動喫煙防止重点区域を周知する路面標示の設置に向けて、デザイン、設置場所等の協議を実施した。 取組実績：(1)健康教室などの機会を通して福島市受動喫煙防止条例ガイドライン・ダイジェスト版配布 小中学校等を通して、受動喫煙防止に関する学童思春期向けのリーフレット配布 1200部 (2)「空気のきれいな施設」の認証 R6年度新規施設認証数8件 現在施設認証数 377件 (3)受動喫煙防止指導員の巡回指導による指導件数 R6年度 471件 (4)受動喫煙防止重点区域を周知する路面標示の設置 16か所
2	国民健康保険特定健康診査等事業	220,662	健康づくり推進課
	<b>具体的な取組内容</b>		特定健康診査の結果やレセプトのデータを活用し、生活習慣病などの早期発見及び重症化予防のため、運動教室や訪問指導を実施する。 ○事業内容：(1)特定健診・保健指導事業 (COPD啓発・禁煙支援等) (2)特定健康診査未受診者等対策 (3)糖尿病重症化予防事業 (4)高齢者のフレイル対策など
	<b>取組成果</b>		特定健診を実施し、特定保健指導に該当者に対し特定保健指導を実施した。受診者のうち喫煙者に対し、COPD啓発、禁煙外来の案内、保健指導などを行い、保険者の健康保持増進を図った。 ○現在の状況 (1)特定健診受診者17,207人 受診率44.0% (速報値) ※データヘルス計画目標値 60% (2)特定保健指導者 184人 受診率12.0% (速報値) ※データヘルス計画目標値 45%

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)

①がん検診事業[687,335] (健康づくり推進課) ②健康づくり推進事業[1,506] (健康づくり推進課) ③地域の健康づくり [2,082] (健康づくり推進課) ④歯と口腔の健康づくり推進[385] (健康づくり推進課) ⑤健都ふくしま創造市民会議[238] (健康づくり推進課) ⑥生活習慣病重症化予防対策[137] (健康づくり推進課) ⑦職場の健康づくり[211] (健康づくり推進課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいるが、喫煙者のさらなる減少に向けた取り組みに期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後も「健都ふくしま」の実現を目指し、関係機関と連携しながら、健康の保持増進と生活習慣病の重症化予防を図るとともに、青年期の喫煙防止と禁煙支援の取り組みを強化していく。

指標進捗管理担当	(主)	感染症・疾病対策課	(副)	
----------	-----	-----------	-----	--

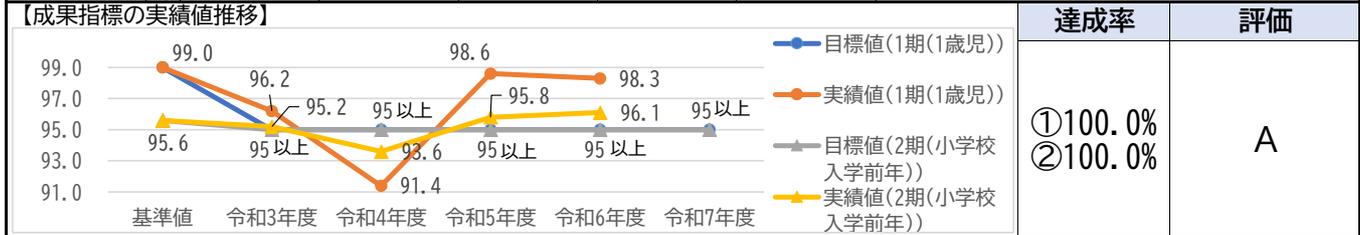
## 成果指標 22. 予防接種率(麻しん風しん混合ワクチン)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 10. 保健衛生・健康危機管理体制の充実**

指標の説明 麻しん風しん混合ワクチンの接種により、市内の感染拡大、まん延防止の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
①(1期(1歳児))99.0 ②(2期(小学校入学前年))95.6	目標値	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	①95%以上 ②95%以上	接種勧奨等を図ることにより、国の目標値である95%以上の維持を目指します。 ※国の目標値 麻しんに関する特定指針 風しんに関する特定指針
	実績値	①96.2% ②95.2%	①91.4% ②93.6%	①98.6% ②95.8%	①98.3% ②96.1%		
	達成率	①100.0% ②100.0%	①96.2% ②98.5%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	定期予防接種事業	1,156,355	感染症・疾病対策課
	具体的な取組内容	(1)接種率95%を目標に、麻しん風しん混合ワクチンの予防接種を実施する。 ○対象者：①1期 1歳児 ②2期 小学校入学前年 (2)昭和37～53年度生まれの男性の風しんの抗体検査及び抗体が不十分な方への予防接種を実施する。 (3)その他、乳幼児・就学児や高齢者等の予防接種を実施する。 ○対象者及び内容：①乳幼児・就学児 ロタウイルスなどA類疾病12種類 ②高齢者等 インフルエンザなどB類疾病3種類	
	取組成果	(1)R6接種率は①1期：98.3%、②2期：96.1%であり、目標を達成している。 (2)R6実施件数：抗体検査 306件、予防接種 131件。 (3)乳幼児・就学児や高齢者等への各種予防接種を実施し、感染症の予防及びまん延防止、個人の発病及び重症化の防止に努めた。	
2	任意予防接種事業	10,980	感染症・疾病対策課
	具体的な取組内容	(1)妊娠初期の妊婦が風しんに感染した場合、出生児に先天性風しん症候群による障がいが発生する可能性が高くなることから、妊娠を希望する女性等の風しんワクチンの任意接種費用の一部を助成する。 ○対象者：①妊娠を希望する女性 ②妊娠している女性の配偶者 ③妊娠を希望する女性の配偶者 (2)深刻な合併症や重症化を予防するため、おたふくかぜワクチンの任意接種費用の一部を助成する。 ○対象者：1歳～2歳未満	
	取組成果	ワクチン接種費用の一部を助成し、接種率向上や先天性風しん症候群・おたふくかぜそのものの周知に努め、それらの発生及び重症化の予防に繋がった。 ○R6接種者数：(1)①妊娠を希望する女性 262人 ②妊娠している女性の配偶者 60人 ③妊娠を希望する女性の配偶者 23人 (2)おたふくかぜ 1,279人	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価  
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性  
関係機関と連携した適時適切な接種勧奨など、引き続き目標達成に向けた各種取組を着実に推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	衛生課	(副)	
----------	-----	-----	-----	--

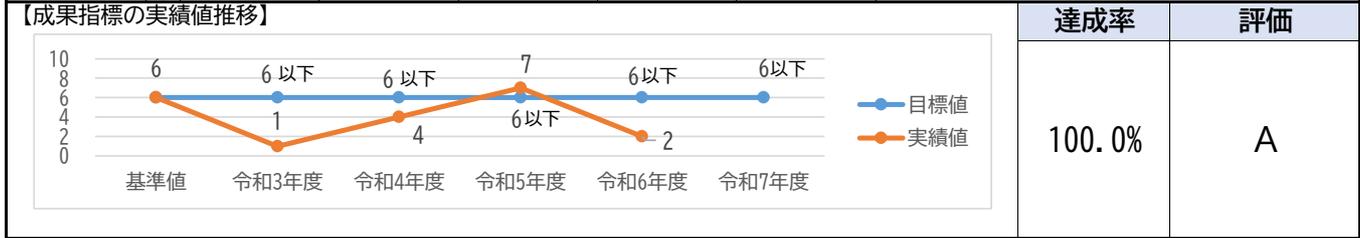
**成果指標 23. 食中毒の件数**

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】 10. 保健衛生・健康危機管理体制の充実**

指標の説明 食中毒の年間発生件数により、食の安全性をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
6	目標値	6以下	6以下	6以下	6以下	6以下	事業者への衛生指導および消費者への衛生思想の普及を図り、食中毒発生件数の基準値以下を目指します。
(アニサキス3、カンピロバクター3)	実績値	1	4	7	2		
件	達成率	100.0%	100.0%	85.7%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	食品衛生指導事業 食中毒の発生件数を減少させるため、食品衛生監視員による営業施設等の衛生監視及び衛生指導を実施する。また、食品等事業者を対象とした衛生講習会を開催し、食品衛生の正しい知識を普及する。 なお、食品衛生講習会については、「福島市食品衛生監視指導計画」に基づき実施する。	4,881	衛生課
1	取組成果 ○卸売市場・大型小売店、大規模製造加工施設、観光地関連施設及び大量調理施設等の影響の大きい施設に延べ638件の立ち入り検査を実施し、安全な食品の提供に寄与した。 ○食品等事業者や食品関連従事者を対象に衛生講習会を38回開催することで、食品衛生に関する知識の向上が図られた。 ○飲食店（12月）や魚類販売業の施設（1月）に対し食中毒予防に関する巡回指導（計78施設）を行うことで、食中毒予防について再認識させることができた。 ○様々な食中毒についてホームページやLINE、広報誌で計14回の情報提供を行い、一般市民への注意喚起を図った。		
2	取組内容		
2	取組成果		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

--

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

引き続き食品営業者等を対象とした計画的な監視指導に加え、食中毒の傾向に応じた巡回指導を行うとともに食品衛生の正しい知識を普及するため衛生講習会を継続的に開催する。また、一般市民を対象にホームページやLINE、広報誌等を活用しながら食中毒予防を呼び掛ける。

指標進捗管理担当	(主)	共生社会推進課	(副)	障がい福祉課、道路保全課、交通政策課
----------	-----	---------	-----	--------------------

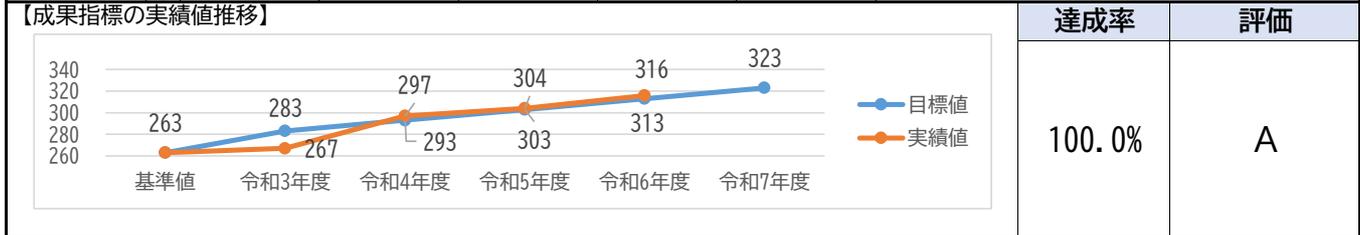
## 成果指標 24. バリアフリー推進パートナー賛同数

### 1 成果指標の概要

**関連する施策** 【個別施策】  
**11. 地域福祉の推進と障がいのある人の福祉の充実**

**指標の説明** 市のバリアフリーの取り組みの趣旨に賛同し、協力いただける民間事業所や団体数により、「誰にでもやさしいまち ふくしま」の実現に向けた推進度合いをはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
263	目標値	283	293	303	313	323	ハード面のバリアフリーの推進と心のバリアフリーの充実などにより、毎年10件のバリアフリーパートナー数の増加を目指します。
	実績値	267	297	304	316		
	達成率	20.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	歩道点字シート等設置事業	9,612	道路保全課
	具体的な取組内容	中心市街地地区のうち、以下路線の点字シート等を整備する。 ○整備内容：(1)市道三河南町・野田町2号線 150m(両側歩道) (2)市道太平寺・山口線 35m(片側歩道)	
	取組成果	中心市街地地区のうち、以下路線の点字シート等を整備した。 ○整備内容：(1)市道三河南町・野田町2号線 207m(両側歩道) (2)市道太平寺・山口線 61m(両側歩道)	
2	バリアフリー推進事業	3,293	共生社会推進課
	具体的な取組内容	障がいの有無や性別、年齢等にかかわらず、誰もが安心して暮らせるよう、ハード面・ソフト面に加え、心のバリアフリーの普及啓発を図るため、バリアフリー推進パートナーミーティングを開催するとともに、市民を対象とした講演会や出前講座等の開催、推進パートナーとなっている大学の学生による心のバリアフリー推進隊による啓発活動を実施する。	
	取組成果	パートナー間の意見交換、講演会等による学ぶ機会の創出や推進隊による普及啓発、バリアフリーマップの情報更新などを通じて、市民のバリアフリーに対する理解促進が図られた。 ○バリアフリー推進パートナーミーティング(参加者数：78名(45団体)) ○心のバリアフリー講演会(参加者数：74名)・出前講座(実施件数：51件、参加者数：延べ2,118名) ○心のバリアフリー推進隊による普及啓発活動(5回、結・ゆい・フェスタ等でのチラシ配布)	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

- ①手話言語条例関連事業[1,450](障がい福祉課) ②意思疎通支援事業[16,749](障がい福祉課)
- ③ユニバーサルデザインのまちづくり推進事業[209](交通政策課)
- ④社会参加促進事業[1,230](障がい福祉課) ⑤相談支援事業[59,609](障がい福祉課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。バリアフリーから一歩進めて、インクルーシブという観点につながることに期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

ハード面・ソフト面のバリアフリーに加え、「心のバリアフリー推進隊」を核に、バリアフリー推進パートナーとの連携・講演会や出前講座の実施により、心のバリアフリーの普及啓発に取り組んでいく。  
これらの取組を進展させハード・ソフト・心のバリアフリーを浸透していくことで、地域における共生社会(インクルーシブ社会)の実現を目指していく。

指標進捗管理担当	(主)	長寿福祉課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

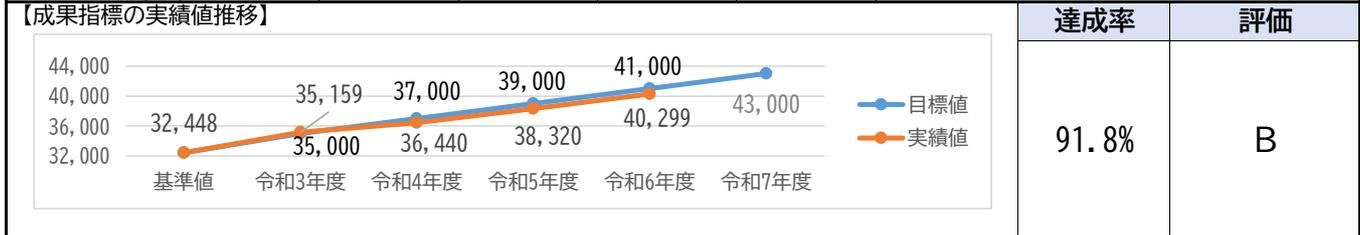
## 成果指標 25. 認知症サポーター養成講座修了者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 12. 高齢者福祉の充実**

指標の説明 認知症サポーターの養成を通じて、認知症に対する正しい知識と理解を持つ市民の広がりをはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
32,448 人	目標値	35,000	37,000	39,000	41,000	43,000	65歳以上の人口割合や認知症患者数の増加を踏まえ、地域や職域などで認知症サポーターの養成を一層進めることにより、43,000人（人口の15%）までの増加を目指します。
	実績値	35,159	36,440	38,320	40,299		
	達成率	100.0%	87.7%	89.6%	91.8%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	地域包括ケアシステムの推進	489,185	長寿福祉課
	具体的な取組内容	市民が高齢期を安心して過ごせるよう、高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」（22カ所）を運営する。また、認知症高齢者やその家族を支えるために認知症地域支援推進員を、地域で高齢者の生活を支える体制づくりのため地域支え合い推進員を各センターに配置する。	
	取組成果	○高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」（22カ所）を運営し、高齢期の市民の安心につながった。 ○認知症地域支援推進員および地域支え合い推進員を「地域包括支援センター」に配置したことにより認知症高齢者等や家族を支える体制、地域支え合い体制の推進が図られた。	
2	福島市オレンジプラン推進事業	2,375	長寿福祉課
	具体的な取組内容	認知症の人も、その周囲の人も安心して暮らせる地域づくりを推進するため、認知症ガイドブックの配布や「ふくふくオレンジフェスタ」の開催等により、「共生」と「予防」について普及・啓発を図る。 また、認知症の人やその家族とともに、地域の人が参加する認知症カフェの開催を支援する。	
	取組成果	○認知症ガイドブックを市民や医療機関等へ幅広く配布、また、認知症講演会や世界アルツハイマー月間での啓発活動等により、認知症普及啓発につながった。 ○認知症サポーター養成講座の実施により、認知症について理解のある市民の増加につながり、認知症の人もその周囲の人も安心して暮らせる地域づくりの推進が図られた。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①権利擁護支援事業（長寿福祉課）[5,347]
- ②いきいきももりん体操・お口のももりん体操（長寿福祉課）[675]
- ③認知症高齢者等見守り事業（長寿福祉課）[940]
- ④在宅医療・介護連携推進事業（長寿福祉課）[17,533]

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き地域包括ケアシステムの推進及び福島市オレンジプラン推進事業等に取り組み高齢者福祉の充実を図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	生涯学習課	(副)	中央学習センター
----------	-----	-------	-----	----------

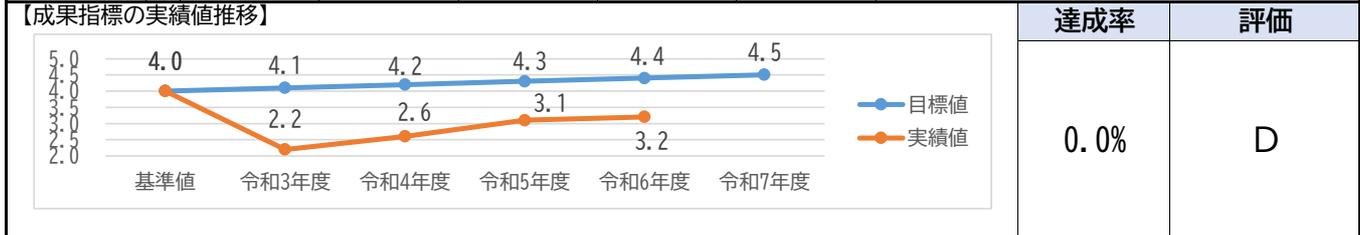
## 成果指標 26. 市民一人あたりの学習センター利用回数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 13. 生涯学習の振興**

指標の説明 学習センターの利用により、生涯学習への取組状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
4.0	目標値	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	学びの機会の充実を図ることにより、過去5年間の実績をさらに上回る4.5回を目指します。
	実績値	2.2	2.6	3.1	3.2		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	三河台学習センター整備事業	45,856	生涯学習課
	具体的な取組内容	ユニバーサルデザインに配慮し、年代や障がいの有無にかかわらず快適に利用できる三河台学習センターを整備し、生涯学習環境の充実を図る。 ・R5：供用開始（開館式）、旧館解体工事完了、R6：外構工事完了（整備事業完了）、落成式 ・主な設備等：多目的トイレ、ILVAター、授乳室、防災倉庫、球技も可能な大ホール	
	取組成果	定期的に活動してきた団体に加え、新たな団体やこれまで利用が少なかった若年層の利用も増加しており、地域の生涯学習の拠点としての役割を果たしている。 ・R6年度実績値（対R4年度）…登録団体数：98団体（41団体増、172%）、延利用団体数：3,590団体（2,171団体増、253%）、延利用人数：46,551人（30,988人増、299%）	
2	市民学校・市民講座・生涯学習推進事業	3,607	生涯学習課
	具体的な取組内容	一般教養や生活文化等の様々な学習活動を通じて自己の資質向上を図るとともに、仲間づくりや地域とのつながりを深める機会とする。文化・芸術、スポーツに親しむ機会を創出することで、心身ともに健やかで豊かな人間性の醸成を図る。	
	取組成果	子どもから高齢者までライフステージ・ライフサイクルの様々な生活課題等に応じた学びを提供し、生き生きと充実した生活が送れるよう支援した。学び、交流する場を通して、自分が住む地域を知り、仲間づくりやサークル化に繋げる機会とした。 ○主な講座：16学習センター 延651回、延参加者30,239人（防災講座、健康講座、ガーデニング教室、登山教室など）	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①旧飯野学習センター整備事業（旧館解体）[102,216]（生涯学習課）②青少年教育・青年教育・青少年振興事業[3,436]（生涯学習課）③女性学級開設・女性教育振興事業[2,274]（生涯学習課）④家庭教育学級開設・家庭教育振興事業[2,317]（生涯学習課）⑤成人教育振興事業[1,417]（生涯学習課）⑥高齢者学級開設[1,362]（生涯学習課）⑦ふくしまマスターズ大学事業[2,197]（中央学習センター）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。市施設のみを対象とした指標の設定に疑義は残るが、福島市は生涯学習の機会に恵まれているので、さらなる産学官の連携に期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、地域や各年代の学習ニーズを情報収集し、ニーズに沿った魅力ある講座や地域の特色・課題を取り入れた講座等を企画する。また、産学官連携により、講座情報、講師情報などの情報共有に努める。  
さらに、快適に利用できる環境づくりを行いながら、令和7年1月導入の予約システムの利用促進や学習センター利用についての周知・広報を強化し、「誰でも気軽に利用できる学習センター」を目指す。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	学校教育課
----------	-----	-------	-----	-------

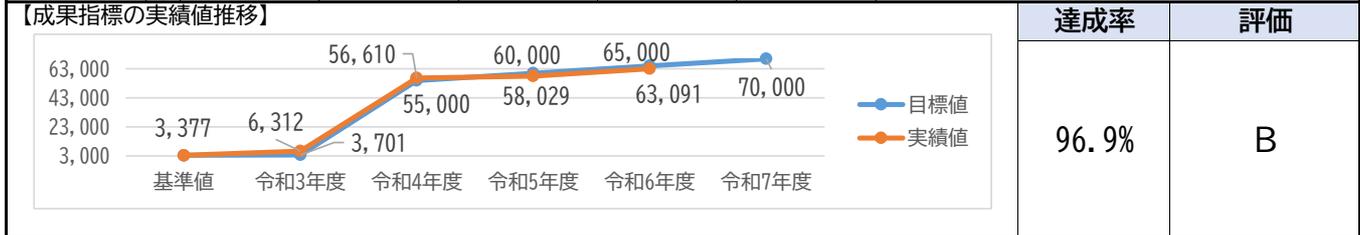
## 成果指標 27. 多文化共生関連の取り組みへの総参加者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 14. 多文化共生の推進**

指標の説明 市民の共生活動への参加により、外国人受入れ・共生の意識向上をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
3,377 人	目標値	3,701	55,000	60,000	65,000	70,000	関係機関・団体や外国人コミュニティなどとの連携強化を図ることにより、令和7年度目標値は令和4年度目標値の約1.3倍増を目指します。
	実績値	6,312	56,610	58,029	63,091		
	達成率	100.0%	100.0%	96.5%	96.9%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	国際交流事業	1,800	定住交流課
	具体的な取組内容	協会加盟団体等のネットワークを活用した国際交流活動を推進するため、市国際交流協会が実施する国際交流や多文化共生を推進するイベント等を支援する。 ○対象内容：(1)多文化共生支援事業(14,216人) (2)国際交流推進団体助成事業(3)広報PR等(Facebook・Instagram)	
	取組成果	R5.9.30に福島市多文化共生センター「Yuiverse」を開設し、外国人が孤立せず外国人同士や外国人と日本人が交流できるスペースとして活用されている。市内の各国コミュニティ団体や市国際交流協会の会員がYuiverseでイベントを実施するなど、本市の多文化共生推進の拠点となった。また、国際交流推進団体への事業補助やSNSを中心に積極的にイベント広報及び周知を図り、国際交流への参加を促した。	
2	結・ゆい・フェスタ事業	1,793	定住交流課
	具体的な取組内容	多文化共生の推進を図るため、市国際交流協会と共同で多文化共生イベント「結・ゆい・フェスタ」を開催するとともに、多くの市民に共生社会の意識の醸成を図るため「結アンブレラスカイ」を実施する。 ○結・ゆい・フェスタ令和6年度開催実績(R6.5.3 場所：まちなか広場及び駅前通り 参加者数：10,000人) ○結アンブレラスカイ実績(場所：市内6箇所 参加者数：37,675人)	
	取組成果	市協会の会員団体、民間事業者、外国人コミュニティなどが連携して、外国料理・ワークショップ・活動展示等のブースを出店したほか、結アンブレラスカイの展示を行ったことで、より多くの市民に対し、多文化共生の意識醸成が図られた。初めて大型連休中に結・ゆい・フェスタを開催し参加者が増加した。加えて、市協会会員店による結・ゆい・ランチ(1,200人)も実施した。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

- ①国際交流員の配置(定住交流課)[5,333]
- ②外国人生活相談事業(定住交流課)[4,672]
- ③外国の子ども日本語サポート推進事業(学校教育課)[2,057]
- ④多文化共生センターの管理運営(定住交流課)[10,732]

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。地域の方とのさらなる信頼関係の構築や教育の現場との連携を進めることを期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

今後とも市協会の会員団体、民間事業者、市立学校及び外国人コミュニティなどと連携して多文化共生社会の推進を図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	スポーツ振興課	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

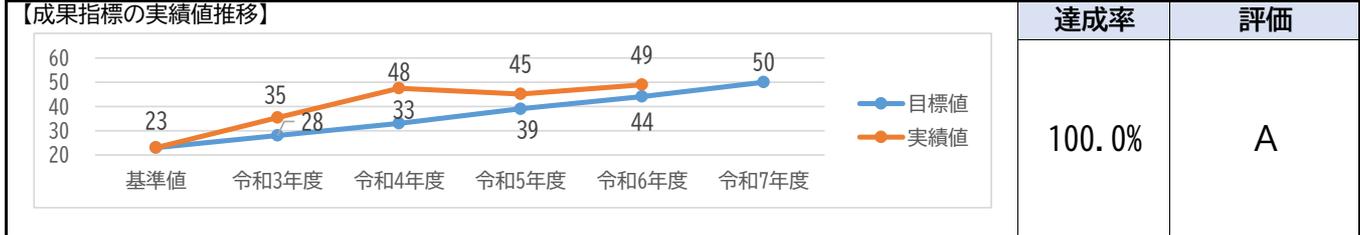
## 成果指標 28. スポーツに触れる機会に恵まれていると感じる割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 15. スポーツの振興</b>
--------	-------------------------------

指標の説明	スポーツを「する」「みる」「ささえる」参画機会の充実により、スポーツ振興の状況をはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和2年度市政 ネットモニター)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
23	目標値	28	33	39	44	50	スポーツの「機会」と「場」の提供と充実により、運動やスポーツを行う機会に恵まれていると感じる市民の割合50%を目指します。
	実績値	35	48	45	49		
%	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	スポーツホームタウンにぎわい創出事業	10,247	スポーツ振興課
	<b>具体的な取組内容</b> スポーツを通した賑わい創出と交流人口の拡大を図るため、福島ユナイテッドFCと連携し、高校生を対象としたサッカー交流大会、パブリックビューイングなどを実施する。 ○対象内容：(1)福島ユナイテッドFCとの連携 (2)スポーツを「みる」機会の創出 (3)中長期的なホームタウン事業の推進 (4)障がい者等のスポーツに親しむ機会の提供など		
	<b>取組成果</b> 福島ユナイテッドFC等と連携し、福島市ホームタウンデーやユナフェスを開催し盛り上げることで、試合観客数の増加を図ったほか、福島駅西口ふくしまエールビジョン等でパブリックビューイングを開催し、スポーツを「みる」機会を提供した。また、障がいのある方と介助者の試合観戦を支援し、スポーツ参画機会を提供した。小学生や高校生を対象とした交流大会を開催し、競技力の向上と交流人口の拡大を図った。		
2	パラスポーツ振興事業費	8,348	スポーツ振興課
	<b>具体的な取組内容</b> 東京2020大会を契機としたレガシー創出の一環として、パラスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通した共生社会を推進するため、ポッチャを核とした事業として、体験イベント・交流大会・市長杯を開催するとともに、競技力の向上にも取り組む。 ○対象内容：(1)パラアスリート派遣事業 (2)ライジングポッチャプロジェクト		
	<b>取組成果</b> 先導的共生社会ホストタウンとして、ポッチャ交流会(2回)を開催したほか、上位チームによる市長杯を開催するとともに、体験イベントを開催し、競技力向上に寄与した。 また、パラアスリート派遣事業では、東京2020パラリンピック競技大会でポッチャ日本代表監督を務めた村上氏らを市内の小学校に3回派遣し、パラスポーツの振興と共生社会への理解を深めた。		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

- ①スポーツコミッション運営事業[11,972](スポーツ振興課)
- ②ふくしまシティハーフマラソン大会の実施[55,000](スポーツ振興課)
- ③スポーツのまちづくり推進事業[1,901](スポーツ振興課) ④オリ・パラレガシー事業[306](スポーツ振興課)
- ⑤圏域スポーツ推進事業[3,901](スポーツ振興課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き、スポーツの「機会」と「場」の提供と充実を図り、「スポーツによるまちづくり」を推進させ、市民がスポーツに触れる機会が実感できるよう努める。

指標進捗管理担当	(主)	スポーツ振興課	(副)
----------	-----	---------	-----

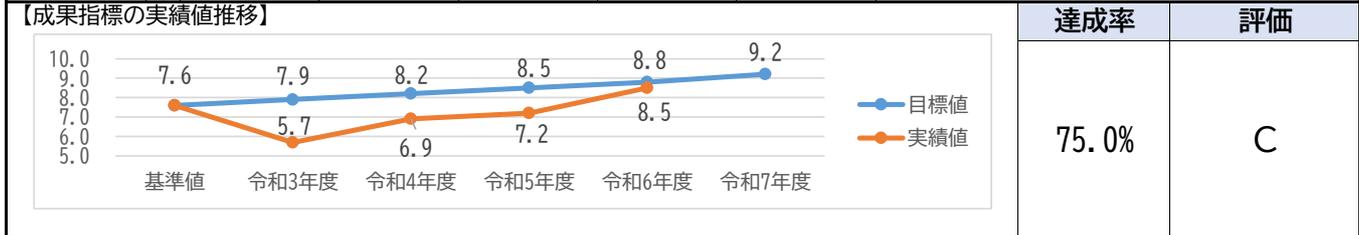
## 成果指標 29. 市民一人あたりの市有スポーツ施設利用回数

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 15. スポーツの振興</b>
--------	-------------------------------

指標の説明	スポーツ施設が持続的かつ安定的に市民に提供され、スポーツ参画機会が充実し、市民が自発的にスポーツに参画している状況をはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
7.6 回	目標値	7.9	8.2	8.5	8.8	9.2	スポーツの「機会」と「場」の提供と充実により、市民一人あたりの利用回数の増加（東日本大震災前と同水準）を目指します。
	実績値	5.7	6.9	7.2	8.5		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	各スポーツ施設の適正管理	事業費 (千円)	459,148	担当課	スポーツ振興課
1	具体的な取組内容	施設の適切な管理運営に必要な保守点検や公認更新等を行うことで、施設を安全に利用することができる。併せて必要な保守を行うことで施設の長寿命化を図るとともに施設利用者のスポーツを「する」「みる」「ささえる」機会の創出継続を図る。				
	取組成果	指定管理者制度による施設の適切な管理運営と合わせ、必要な保守点検や公認更新等を行い、安定的な施設利用を可能とした。				

No	取組名	パラスポーツ振興事業費	事業費 (千円)	8,348	担当課	スポーツ振興課
2	具体的な取組内容	東京2020大会を契機としたレガシー創出の一環として、パラスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた共生社会を推進するため、ポッチャを核とした事業として、体験イベント・交流大会・市長杯を開催するとともに、競技力の向上にも取り組む。 ○対象内容：(1)パラアスリート派遣事業 (2)ライジングポッチャプロジェクト				
	取組成果	先導的共生社会ホストタウンとして、ポッチャ交流会（2回）を開催したほか、上位チームによる市長杯を開催するとともに、体験イベントを開催し、競技力向上に寄与した。 また、パラアスリート派遣事業では、東京2020パラリンピック競技大会でポッチャ日本代表監督を務めた村上氏らを市内の小学校に3回派遣し、パラスポーツの振興と共生社会への理解を深めた。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①スポーツホームタウンにぎわい創出事業[10,247]（スポーツ振興課）
- ②「ふくしまシティハーフマラソン」の開催[55,000]（スポーツ振興課）
- ③スポーツのまちづくり推進事業[1,901]（スポーツ振興課） ④圏域スポーツ推進事業[3,901]（スポーツ振興課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。市施設のみを対象とした指標の設定に疑義は残るが、引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

スポーツ施設の適切な管理・運営により、安全で快適に利用できる環境向上に努め、市民のスポーツ参画機会の充実を図る。

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

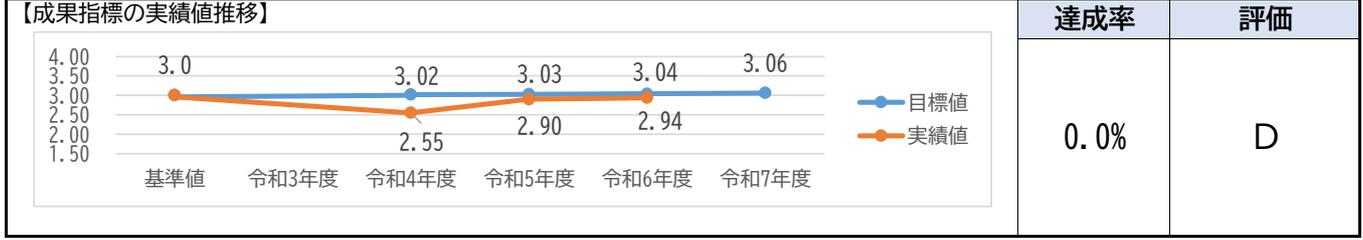
**成果指標** **30. 本市主要文化施設の一人あたりの年間利用回数** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**16. 文化芸術の振興**

指標の説明 市内主要文化施設の市民一人あたりの利用回数により、市民が文化芸術活動に触れ、親しんでいる状況をはかる指標です。 ※本市主要文化施設 音楽堂、草心苑、写真美術館、福島テルサ、アオウゼ、古関裕而記念館

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
3.0 回	目標値	—	3.02	3.03	3.04	3.06	市民が様々な文化芸術に触れ、鑑賞し、自らも参加できる機会などを創出・充実することにより、5年間で2%の利用回数の増加を目指します。
	実績値	—	2.55	2.90	2.94		
	達成率	—	0.0%	0.0%	0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	古関裕而を活かしたまちづくり事業（文化関連） 古関裕而氏と古関メロディーを活用し、音楽イベントの開催や街なかで古関メロディーに触れる機会を創出するなど、官民一体で古関氏と音楽を活かしたまちづくりを進めた。 ○古関裕而記念音楽祭2024：古関メロディーと氏の功績を継承する音楽祭を開催した。 ○古関裕而作曲コンクール：古関氏の名を冠した本市独自の作曲コンクールを開催し、将来の作曲家を目指す次世代を担う若者の育成と、世界へ羽ばたく機会を創出したほか、全国へ古関裕而のふるさと・福島市を発信した。 ○ふくしまチェンバー・オーケストラ：福島ゆかりのプロの音楽家により構成され、音楽堂を拠点に活動する「古関裕而のまち ふくしまチェンバー・オーケストラ」の活動を支援した。 ○ふくしまちなか音楽祭2024：まちなかを舞台とした市民参加型の野外音楽イベントを開催し、音楽によりまちなかのにぎわいを創出した。	37,628	文化振興課
2	主要文化施設管理運営事業 本市主要文化施設の適切な維持管理を図るとともに、施設の指定管理者制度を活かし、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応した文化芸術に親しむ機会を提供し、本市の文化振興につなげた。 ○主な取り組み 【音楽堂】SNS等を中心に若者から注目を集めるインフルエンサーを招聘し、新たな顧客獲得を図った。 【写真美術館】文化財の特徴を生かしたユニークメニューとしての企画等を実施し、参加者満足度を高めた。 【古関裕而記念館】予約システムを活用し、旅行者者ニーズを捉えた誘客活動に取り組むなど、市外からの誘客促進に努めた。	644,280	文化振興課

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①文化振興計画策定事業 [192]（文化振興課） ②ふくしま文化芸術振興事業 [25,290]（文化振興課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。市施設のみを対象とした指標の設定に疑義は残るが、要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

目標達成には至らなかったものの、コロナ禍による年間利用回数の減少から回復傾向が続いていることから、引き続き市民が文化芸術活動に触れる機会を積極的に提供し、各施設の年間利用回数の増加に努めていく。  
民間等施設については、設置の主旨・目的・規模などが現在の対象施設とは大きく異なっており、その利用状況も含めた指標の設定は難しいと考えるが、利用促進に向けた取り組みなどが適宜参考としていく。

指標進捗管理担当	(主)	文化振興課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

## 成果指標 31. 民家園・宮畑遺跡史跡公園(体験学習施設「じょいもん」)の年間来園者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 16. 文化芸術の振興</b>						
指標の説明	市内主要文化財施設の来園者数により、本市文化財の認知度、市民に親しまれている状況をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
76,296 人	目標値	76,601	76,906	77,211	77,516	77,822	本市固有の文化財を活用した各種事業を積極的に展開することにより、5年間で2%の来園者数の増加を目指します。
	実績値	81,628	104,082	102,309	91,217		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	旧広瀬座再整備事業	事業費 (千円)	146,163	担当課	文化振興課
1	具体的な取組内容	民家園内にある国指定重要文化財「旧広瀬座」の保存及び各種イベントに活用できるよう再整備を進めた。				
	取組成果	建物本体の保存修理、電気・機械設備の新設、更新等を行い、令和7年度の再整備工事完了に向け工事を進めた。				
No	取組名	民家園・宮畑遺跡史跡公園管理運営事業	事業費 (千円)	123,163	担当課	文化振興課
2	具体的な取組内容	民家園及び宮畑史跡公園の適切な維持管理を行うとともに、地域との共創により各種イベントを開催するなど積極的な活用を図った。 また、SNSを活用した広報発信やボランティア団体と連携した魅力創出に努め、更なる利用者増につなげた。				
	取組成果	民家園及び宮畑史跡公園では、文化財の適切な維持管理に努めながら、地元との共創による各種イベントを開催し、市民をはじめ多くの方の利用があった。 SNSについてはX(旧Twitter)やInstagramを活用し、若年層をターゲットとした広報の発信を行うとともに、夜の民家園等で園内ライトアップなどのイベントを実施し、若年層をターゲットとしたイベントについても実施することが出来た。				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

- ①文化振興計画策定事業 [192] (文化振興課)    ②文化財保存活用地域計画策定事業 [3,090] (文化振興課)
- ③埋蔵文化財事業 [49,789] (文化振興課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

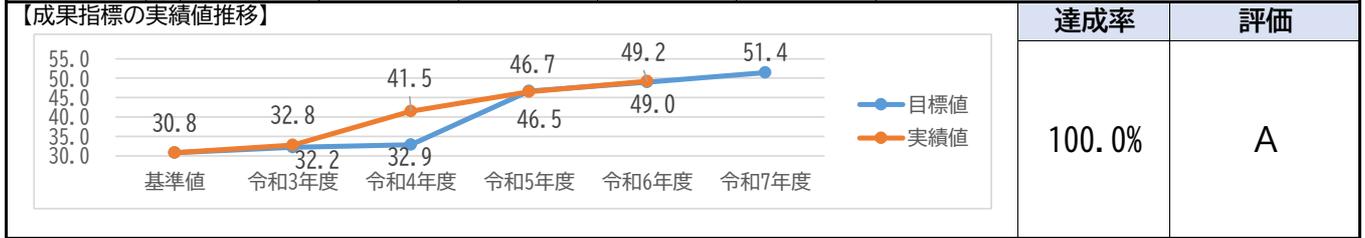
引き続き、創意工夫した各種事業を実施し、各施設の魅力を存分に発信し、本市の「文化財」に触れる機会の創出に努めていく。

指標進捗管理担当	(主)	環境政策課	(副)	管財課、産業雇用政策課
----------	-----	-------	-----	-------------

## 成果指標 32. エネルギー自給率(電力)

### 1 成果指標の概要

関連する施策	【個別施策】 17. 環境の保全						
指標の説明	市内の1年間の電力消費量に占める市産再生可能エネルギー発電量の割合により、市の再エネ自給率の充実度をはかる指標です。 ※非バイオマス系による廃棄物発電を含む。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
30.8	目標値	32.2	32.9	46.7	49.0	51.4	再エネ設備の導入を促進することにより、再エネ自給率を高めていくことを目指します。
	実績値	32.8	41.5	46.5	49.2		
	達成率	100.0%	100.0%	98.7%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	脱炭素住宅整備事業	事業費 (千円)	34,490	担当課	環境政策課
1	具体的な取組内容	家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、①太陽光発電システム、②蓄電池、③電気自動車充電設備(V2H)、④ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)、⑤家庭用電気自動車充電設備の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容：①40,000円 ②1kWhあたり10,000円(上限100,000円) ③100,000円 ④10,000円 ⑤補助率1/3(上限20,000円) ※いずれも助成対象経費以内				
	取組成果	一般家庭への太陽光発電システム(合計2,157kW)や蓄電池の世知により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数(金額)：①362件(14,480千円) ②234件(18,397千円) ③1件(100千円) ④129件(1,290千円) ⑤7件(223千円)				
No	取組名	脱炭素生活スタイル普及啓発事業	事業費 (千円)	990	担当課	環境政策課
2	具体的な取組内容	家庭における省エネルギー化・省資源化を推進するため、建物の高断熱・高気密化によるメリットに加えて、住宅省エネ2024キャンペーン等国・県補助金による家計負担軽減やヒートショック予防等の健康面の各種メリットを合わせてWebサイト等を活用した情報発信を行う。				
	取組成果	家庭部門の脱炭素化を推進するため、環境面でのメリットに加えて、住宅省エネキャンペーン2024等の補助金による家計負担軽減やヒートショック予防等の健康面の各種メリットの普及啓発を行った。 ○周知方法：タウン誌、SNS、広告、WEBページ ○WEB広告表示回数(8月13日～12月18日)：113,944回				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)

- ①環境に配慮した公用車の配備[18,233](管財課)
- ②ゼロカーボンアクション推進事業[34](環境政策課)
- ③水素社会実現推進事業[699](環境政策課)
- ④ふくしま環境フェスタ開催事業[1,195](環境政策課)
- ⑤次世代エネルギーパーク推進事業[165](環境政策課)
- ⑥再生可能エネルギー導入促進事業[1,607](環境政策課)
- ⑦中小企業ゼロカーボン資金融資[408,000](産業雇用政策課)
- ⑧農家への脱炭素設備導入支援[960](農業企画課)
- ⑨公共施設の省エネ改修[57,475](管財課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

福島市再生可能エネルギー発電施設の適切な設置及び管理に関する条例制定により、大規模な太陽光発電の導入は見込めない状況にある。  
そのため、屋根置きや平場での太陽光発電や盆地地形を活用した再生可能エネルギーの導入と併せて省エネルギー化を図り、エネルギー自給率の向上に努める。

指標進捗管理担当	(主)	ごみ政策課	(副)
----------	-----	-------	-----

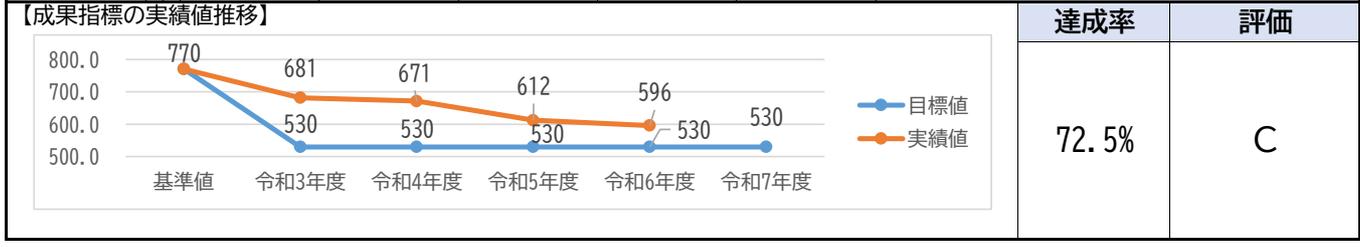
## 成果指標 33. 1人1日当たりの生活系ごみの排出量

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 17. 環境の保全</b>
--------	-----------------------------

指標の説明	ごみの減量化や資源物の分別徹底の達成度により、循環型社会の充実度をはかる指標です。 ※資源物・集団資源回収量を除く。
-------	---

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
770 g	目標値	530	530	530	530	530	ごみの発生抑制と資源物の徹底した分別回収を推進し、市民1人が1日当たりに出す生活系ごみの減量の早期達成を目指します。
	実績値	681	671	612	596		
	達成率	37.1%	41.3%	65.8%	72.5%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	ごみ減量化促進対策事業	事業費 (千円)	11,508	担当課	ごみ政策課
1	具体的な取組内容	家庭から出る資源にできない燃やすごみの8割を占める「生ごみ、紙類、草枝類」の減量化・資源化促進に関する事業、集団資源回収報奨金制度、事業者と連携した3R&食品ロス削減の推進等を通じ、ごみの減量化・資源化を図る。 ○対象内容：①生ごみゼロチャレンジ事業（食品ロス削減事業含む） ②生ごみ処理容器購入費助成事業 ③食品ロス削減事業 ④使用済みはがき回収事業 ⑤家庭用剪定枝破砕機貸与事業、 ⑥ごみ分別アプリの普及促進 ⑦集団資源回収報奨金制度 ⑧開封調査の導入 ⑨電池類の分別回収強化				
	取組成果	家庭から出る資源にできない燃やすごみのうち最も多い4割を占める生ごみ削減を目的にキエーロの普及促進や生ごみ処理容器購入費助成（365件2,906千円）を引き続き行ったほか、フードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」を無償提供し、（916.4kg）の食品ロス削減に繋がった。 また、開封調査を導入し分別や適正排出の周知に取り組んだほか、乾電池や充電式電池のリサイクルの推進に新たに令和7年3月から取り組んだ。さらに、ごみ分別アプリ「さんあ〜る」普及のため、市政出前講座を通じた対面での利用の呼びかけや検索項目の追加による機能面の充実により利便性の向上を図った。（ダウンロード件数38,500件（+8,252件））これらの取り組みの結果、生活系ごみ排出量の削減につなげることができた。				
No	取組名		事業費 (千円)		担当課	
2	具体的な取組内容					
	取組成果					

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

--

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。ごみの減量化に向けてあらゆる主体が連携した好循環を生み出す取り組みに期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

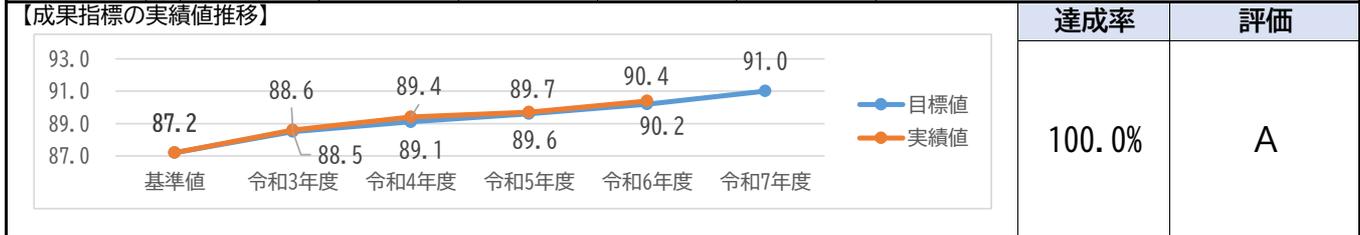
資源にできない燃やすごみのうち、約4割を占める生ごみに焦点をあてた「生ごみゼロチャレンジ！」事業を継続し、「キエーロ」やフードシェアリングサービス「ふくしまタバスケ」のさらなる普及啓発に努める。特に、小・中義務教育学校を対象に新たな環境教育として市食品ロス削減マイスターによる出前講座を実施し、子どもたちを通じた家庭における生ごみ減量の重要性を広め、幅広い世代でごみ減量に対する意識向上を図る。また、開封調査の導入が契機となり、ごみ集積所を管理する町内会をはじめとする市民の関心の高まりにより、事業系ごみの不法投棄件数が約7割減少するなど、市民・事業者・地域団体など、それぞれの立場で積極的に関与する体制づくりが進んでいる。更に、電池類の分別強化に伴い、従来破砕し埋立てていた乾電池は、想定を上回る量が回収され資源化が促進されている。また、充電式電池の回収開始により、市民の廃棄ニーズに応えるとともに収集車や焼却工場内における発火事故の危険性が減る好循環を生み出しており、引き続きこれら事業の継続により更なるごみ減量に努める。

指標進捗管理担当	(主)	下水道整備課	(副)	下水道管理課
----------	-----	--------	-----	--------

## 成果指標 34. 汚水処理人口普及率

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 17. 環境の保全</b>						
指標の説明	本市人口のうち下水道、合併処理浄化槽等を利用できる人口の割合により、生活排水処理の進展度をはかる指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
87.2  %	目標値	88.5	89.1	89.6	90.2	91.0	福島市下水道ビジョン（平成28年度から令和7年度）中期計画の目標値に向けて汚水処理人口普及率の向上を目指します。
	実績値	88.6	89.4	89.7	90.4		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	下水道整備事業	事業費 (千円)	924,275	担当課	下水道整備課
1	具体的な取組内容	公共下水道の普及による市民の生活環境の改善及び公共用水域の保全を行う。 ○対象内容：公共下水道認可区域内の整備を行い、供用開始区域の拡大に努める。 ○公共下水道普及率：67.8%（令和6年度末）				
	取組成果	公共下水道の整備を実施し、汚水処理の普及拡大に努めた。 ・整備面積：約12ha				
No	取組名	浄化槽設置・撤去・宅内配管工事の補助	事業費 (千円)	45,069	担当課	下水道管理課
2	具体的な取組内容	公共用水域の水質保全及び公衆衛生の向上に寄与するため、合併処理浄化槽設置等に対し補助を実施し、普及促進を図る。 (1) 合併処理浄化槽の設置費用の一部を補助 (2) 単独処理浄化槽及び汲み取り便槽の撤去費用の一部を補助 (3) 単独処理浄化槽及び汲み取り便槽からの転換に伴う宅内配管工事費用の一部を補助				
	取組成果	(1) 143基（新築 107基 単独処理浄化槽からの転換 19基（重点地区4基含） 汲み取り便槽からの転換 17基（重点地区1基含）） (2) 26基（単独処理浄化槽の撤去 17基 汲み取り便槽の撤去 9基） (3) 34基（単独処理浄化槽転換に伴う宅内配管 18基 汲み取り便槽転換に伴う宅内配管 16基）				

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き効率的な公共下水道の整備および合併処理浄化槽の普及促進に努め、汚水処理人口普及率の向上を目指す。

指標進捗管理担当	(主)	環境政策課	(副)	管財課、道路保全課、産業雇用政策課
----------	-----	-------	-----	-------------------

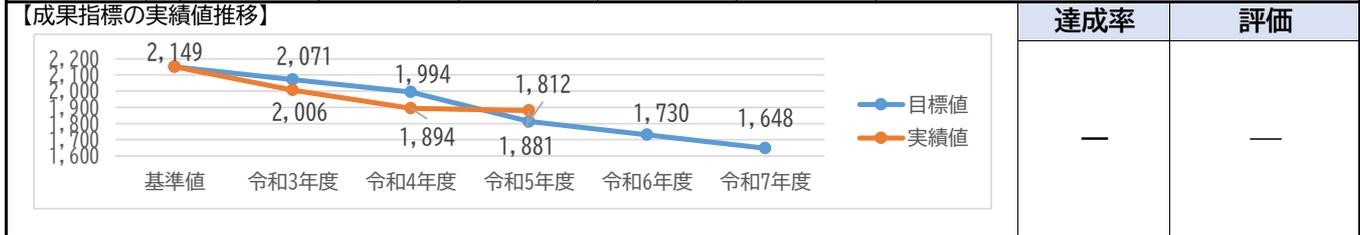
**成果指標** **35. 温室効果ガス実質排出量** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**17. 環境の保全**

指標の説明 温室効果ガスの実質排出量により、地球温暖化対策等の充実度をはかる指標です。  
※令和6年度評価に関して、算定根拠となっている国の統計データの見直しが行なわれ、目標値及び実績値の遡及修正が必要となった。所管の審議会において数値を精査のうえ、今年度中に個別計画の中間見直しを進める。

基準値 (平成29年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
2,149 千t-CO2	目標値	2,071 (令和元年度)	1,994 (令和2年度)	1,812 (令和3年度)	1,730 (令和4年度)	1,648 (令和5年度)	脱炭素社会の実現と循環型社会の構築への取り組みにより、温室効果ガス排出量実質ゼロとなる社会の達成を目指します。
	実績値	2,006 (令和元年度)	1,894 (令和2年度)	1,881 (令和3年度)	—	—	
	達成率	100.0%	100.0%	79.5%	—	—	



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	脱炭素住宅整備事業	33,349	環境政策課
	具体的な取組内容 家庭における再生可能エネルギーの導入を推進するため、太陽光発電システムや蓄電池、電気自動車充電設備(V2H)、ホームエネルギーマネジメントシステム(HEMS)の設置費用の一部を助成する。 ○助成内容: ①太陽光発電システム(1件40,000円) ①+②蓄電池システム又はV2H(1件140,000円) ①+②+③ホームエネルギーマネジメントシステム(1件150,000円) ①+③(1件50,000円)		
	取組成果 一般家庭への太陽光発電システム(合計2,157kW)や蓄電池の世知により再エネの自給自足が進んだことで、温室効果ガス排出量の削減が進んだほか、災害時のレジリエンスが強化された。 ○助成件数(金額): ①362件(14,480千円) ②234件(18,397千円) ③1件(100千円) ④129件(1,290千円) ⑤7件(223千円)		

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
2	街路灯・道路照明灯LED化推進事業	153,090	道路保全課
	具体的な取組内容 省エネルギー化を推進するため、既存の街路灯及び照明灯をLEDに転換する。 ○対象内容 街路灯約1,300灯切替/年、道路照明灯約430灯切替/年 ○対象進捗 街路灯: LED灯16,160灯/総数19,505灯(令和6年度末) ⇒LED化率82.9% 道路照明灯: LED灯932灯/総数3,069灯(令和6年度末) ⇒LED化率30.4%		
	取組成果 温室効果ガスの排出量削減のため、平成24年度から令和6年度まで街路灯16,160灯、道路照明灯932灯を蛍光灯及び水銀灯等からLED灯へ切り換えを行った。令和6年度の実績について、街路灯1,570灯、道路照明灯446灯のLED灯へ切り換えを街路灯・道路照明灯LED化推進事業により行った。		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)**

- ①環境に配慮した公用車の配備[18,233](管財課)
- ②ゼロカーボンアクション推進事業[34](環境政策課)
- ③水素社会実現推進事業[699](環境政策課)
- ④ふくしま環境フェスタ開催事業[1,195](環境政策課)
- ⑤次世代エネルギーパーク推進事業[165](環境政策課)
- ⑥再生可能エネルギー導入促進事業[1,607](環境政策課)
- ⑦脱炭素スタイル普及啓発事業[990](環境政策課)
- ⑧中小企業ゼロカーボン資金融資[408,000](産業雇用政策課)
- ⑨公共施設の省エネ改修[57,475](管財課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

—

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

—

指標進捗管理担当	(主)	水道整備課	(副)	水道総務課
----------	-----	-------	-----	-------

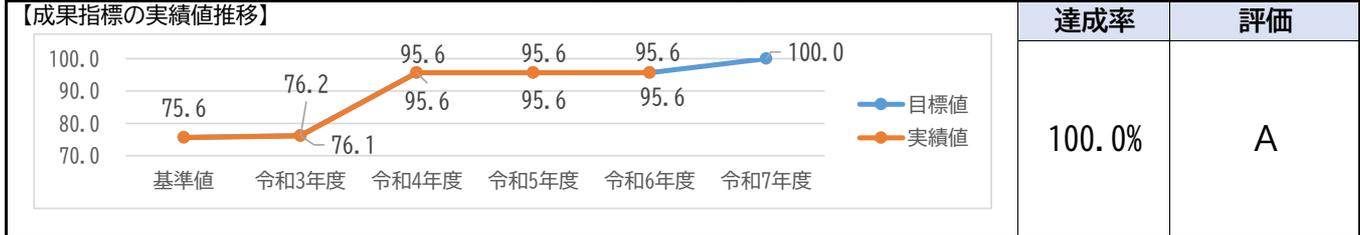
## 成果指標 36. 基幹施設耐震化率

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 18. 良質な水道水の安定供給</b>
--------	-----------------------------------

指標の説明	東日本大震災規模の地震に耐えられる重要な施設の充実度をはかる指標です。
-------	-------------------------------------

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
<b>75.6</b> <b>%</b>	目標値	76.2	95.6	95.6	95.6	100.0	重要な施設すべてが地震に耐えられる状態を目指します（廃止予定施設を除く）。
	実績値	76.1	95.6	95.6	95.6		
	達成率	83.3%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	基幹施設耐震化の推進	事業費 (千円)	220,132	担当課	水道整備課
1	具体的な取組内容	水道水を供給する上で重要度の高い基幹施設(受・配水池、高架水槽等)について、施設の更新、補強、統廃合により令和7年度までにレベル1耐震化率100%を目指す。				
	取組成果	令和6年度は、施設の統廃合に向けた配水管整備と廃止施設の撤去を実施した。継続事業である配水管整備事業が完了する令和7年度に実績値は集計される。				
2	具体的な取組内容					
	取組成果					

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

目標達成に向けて引き続き着実に取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	水道整備課	(副)	水道総務課
----------	-----	-------	-----	-------

## 成果指標 37. 基幹管路耐震適合率

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 18. 良質な水道水の安定供給**

指標の説明 本市が想定する最大震度階の地震（福島盆地西縁断層地震）に耐えられる重要な水道管の充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
91.4	目標値	95.7	97.6	97.6	98.2	100.0	重要な水道管すべてが地震に耐えられる状態を目指します。
	実績値	93.9	94.7	95.7	99.2		
	%	58.1%	53.2%	69.4%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	老朽管更新事業の推進	503,983	水道整備課
	具体的な取組内容	水道水を供給する上で重要度の高い基幹管路（導水管、送水管、配水本管）のうち、耐震機能を有しない管を対象に、耐震継手のダクタイル鋳鉄管へ更新することで、令和7年度までに基幹管路のレベル2耐震適合率100%を目指す。	
	取組成果	令和6年度は、布設替工事により約1.3kmの基幹管路を耐震管へ更新した。	
2			
	具体的な取組内容		
	取組成果		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価  
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性  
引き続き効率的な施工に努め、目標達成に向けて着実に取り組みを推進していく。

指標進捗管理担当	(主)	公園緑地課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

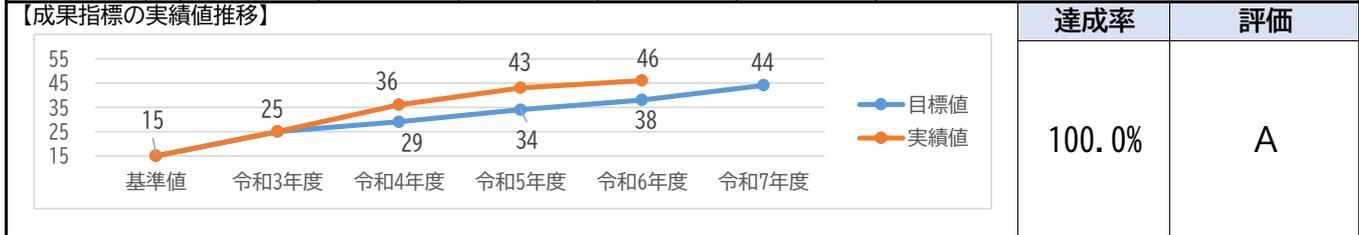
## 成果指標 38. 都市公園の長寿命化対策の整備率

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 19. 都市緑化・景観形成の推進**

指標の説明 都市公園の長寿命化対策により、公園の安全性と快適性の進展をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
15	目標値	25	29	34	38	44	都市公園の長寿命化対策の推進により、整備率の向上を目指します。
	実績値	25	36	43	46		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	公園施設長寿命化対策事業 福島市公園施設長寿命化計画により公園施設の更新を行い、安全性・快適性の向上を図る。 具体的な取組内容 ○令和6年度施設更新箇所：3箇所	46,000	公園緑地課
	取組成果 公園施設の更新を行い安全性・快適性の向上を図った。 ○施設更新箇所：3箇所 累積施設更新箇所数（6年度末） 41箇所      41/89箇所÷46%		
2	具体的な取組内容		
	取組成果		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続き公園施設長寿命化対策事業に取り組み、公園施設の安全性・快適性の向上を図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

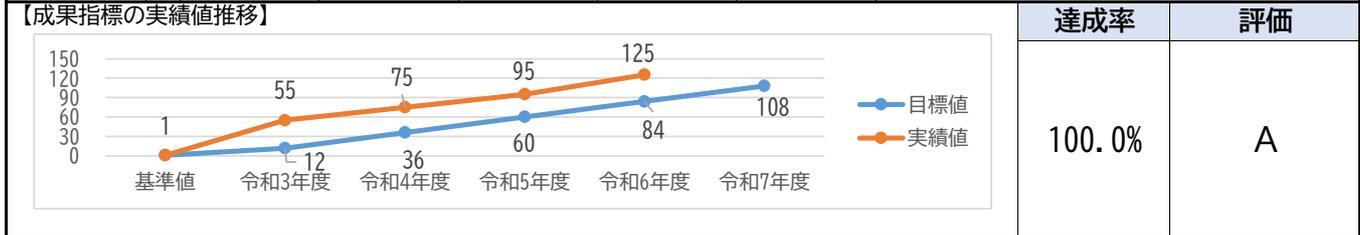
## 成果指標 39. 福島市空き家バンクに登録された空き家の利活用数(売却、賃貸)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 20. 快適な住環境の形成**

指標の説明 福島市空き家バンクに登録された空き家の売却、賃貸等の利活用により、市内の空き家の発生抑制状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
1 件	目標値	12	36 (2年累計)	60 (3年累計)	84 (4年累計)	108 (5年累計)	福島市の空き家等対策の推進により、令和7年度までの5年間で一戸建て空き家が108件増加すると予測されるため、毎年24件の売買、賃貸の成約により空き家の発生抑制を目指します。
	実績値	55	75	95	125		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	空家等対策事業	34,932	都市計画課
	具体的な取組内容	<p>空き家の流通を促進させる市空き家バンクの運営により、管理不全空家化の防止と空き家の解消を進め、地域住民の生活環境の保全及び地域振興を図る。また、空き家の利活用補助制度は、空き家の活用だけでなく、移住定住施策・子育て支援施策と連動していることから、定住交流課など関係各課と連携して事業を推進していく。</p> <p>○対象内容：(1)空き家バンク事業 (2)空家対策支援事業 (3)空き家の発生抑制事業</p>	
	取組成果	<p>・空き家リフォーム支援補助事業（空き家バンク掲載物件利活用で20万円加算のインセンティブ）・・・R6利用実績11件          ・空き家清掃支援補助事業（空き家バンクに登録した物件が補助対象）・・・R6利用実績6件          ・空き家無料相談会（7月と2月に空き家対策連携協定団体との協働開催）・・・21組参加</p>	
2			
	具体的な取組内容		
	取組成果		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

--	--	--	--

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。少子高齢化が進むなか、今後空き家が増えにくくなると思われる。引き続き官民で連携した取り組みを望む。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

第2期空き家等対策計画の3つの方針である「空き家の発生抑制」「管理不全空家への対策」「空き家の流通及び利活用の促進」を推進するため、引き続き空き家バンクの連携団体と制度の周知拡大やウェブサイトの充実を図ることに加え、空き家にしないための啓発・空き家の流通促進と利活用を空き家対策連携協定団体等と進めることで、空き家の発生抑制にも繋げていく。

指標進捗管理担当	(主)	住宅政策課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

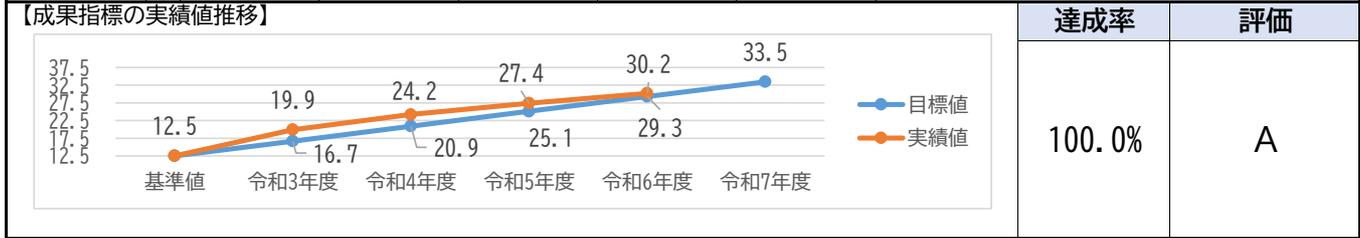
## 成果指標 40. 市営住宅の一定のバリアフリー化率

### 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 20. 快適な住環境の形成</b>
--------	---------------------------------

指標の説明	バリアフリー化の推進により、誰もが暮らしやすい居住環境をはかる指標です。 ※一定のバリアフリー化 2箇所以上の手すり設置又は屋内の段差解消に該当
-------	---

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
12.5	目標値	16.7	20.9	25.1	29.3	33.5	令和7年度の本市の老年人口割合は33.5%と推計されるため、令和7年度までに同程度のバリアフリー化率を目指します。
	実績値	19.9	24.2	27.4	30.2		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	<b>具体的な取組内容</b> 令和2年度には65歳以上の老年人口が30%を超え、令和7年度には33.5%と推計され、今後さらに高齢化が進むことが見込まれるため、高齢者等が住み慣れた地域で生活を継続し、自立して暮らすことができる居住環境の形成を推進する。 ○対象内容：子育て・高齢者へ配慮した補助器具として2箇所以上の手すりの設置、または屋内の段差解消を図る。 ○設置場所：玄関、トイレ等	2,983	住宅政策課
	<b>取組成果</b> 高齢化を見据えた居住環境の形成を図るため、バリアフリー化を推進した。 ○Fスタイル春日町、蓬莱第一団地（計64戸）の玄関・トイレに手すりを設置（住戸内バリアフリー化） バリアフリー化済住戸/全管理戸数（令和6年度末）=1,185戸/3,928戸 30.2%		
2	<b>具体的な取組内容</b>  		
	<b>取組成果</b>  		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

引き続きバリアフリー化に取り組み、高齢者等が自立して暮らすことができる居住環境の形成を推進していく。

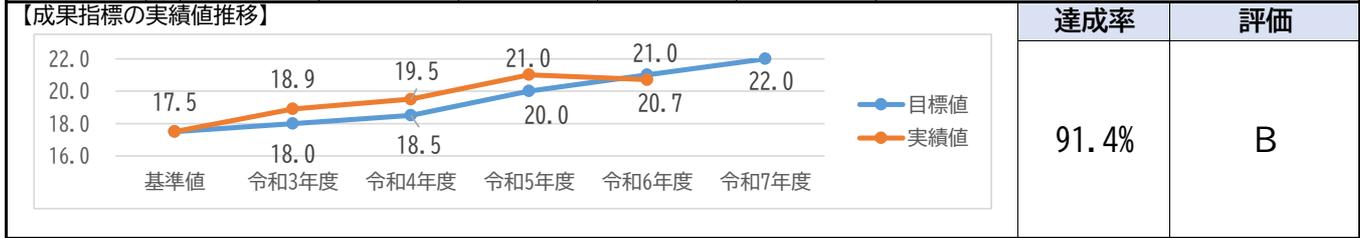
## 成果指標 41. 女性の管理職登用率(従業員20人以上の事業所)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 21. 就労の支援と雇用の創出**

指標の説明 女性の管理職登用率により、民間事業所における働く女性の活躍の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
17.5	目標値	18.0	18.5	20.0	21.0	22.0	女性の活躍推進により、基準値の4.5ポイント増を目指します。
	実績値	18.9	19.5	21.0	20.7		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	91.4%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	働く女性応援事業	2,247	産業雇用政策課
	具体的な取組内容	女性の雇用継続、女性の管理職登用の推進、男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境作りを推進するために、市独自の認証基準を設定し、積極的な取組を行う中小企業を認証する。また、より積極的に働きやすい職場環境作りなどの取組を行う認証企業を「ゴールド認証企業」として認証する。 認証企業の取組事例を広く公表することで、企業PR、地域社会への波及効果を促し、女性活躍の推進を図る。 ○対象内容：(1)働く女性応援企業認証事業	
	取組成果	女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組む中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証事業数 11社 ・ゴールド認証企業数 4社	
2	女性の起業チャレンジ応援事業	319	男女共同参画センター
	具体的な取組内容	女性活躍の場を広げるため、「ふくしま起業女子応援パッケージ」として、起業にチャレンジしたい女性を対象に講座を開催する。また、相談や体験ができる機会を作り、継続的にサポートできる仕組みを作る。 ○対象内容：(1)起業チャレンジ講座の開催（起業の知識習得、先輩起業家とのネットワーク形成） (2)起業姉妹カフェの開催（起業を目指す人と先輩起業家との交流） (3)プチインターンシップの機会設定（補助スタッフとして起業家の店舗等で体験） (4)起業(出店含む)に関する各種支援制度等の情報提供	
	取組成果	起業にチャレンジしたい女性に対し、以下の継続的な支援を行った。 (1)【知識習得】起業チャレンジ講座…3回開催（46名受講） (2)【出会い・交流】起業姉妹カフェ…3回開催（21名参加） (3)【職場体験】プチインターンシップ…1名参加 本市における女性起業への関心、気運を高める成果があった。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①女性活躍推進事業[1,676]（産業雇用政策課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

働く女性応援企業認証事業及び障がい者雇用推進企業認証事業をアップデートし、従来の女性活躍や障がい者雇用の推進に加え、男性育児家事促進や高齢者の活躍、外国人雇用など多様な働き方ができる職場づくりに取り組む企業を新たに認証するダイバーワークスタイル企業認証事業や女性の起業チャレンジ応援事業等により、引き続き女性の管理職登用率の増加を目指す。

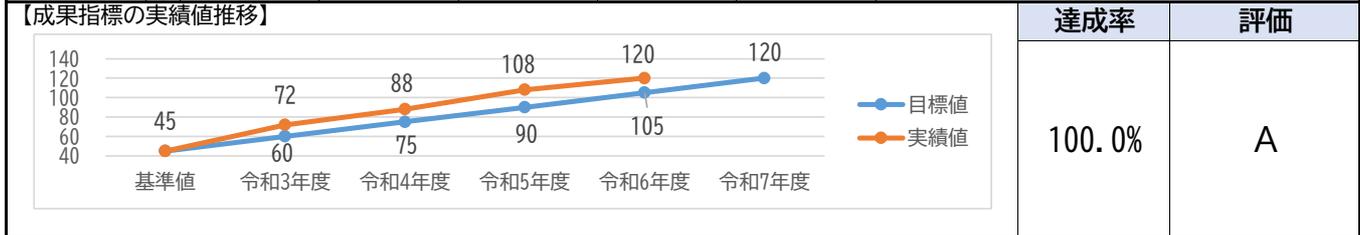
## 成果指標 42. 働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 21. 就労の支援と雇用の創出**

指標の説明 働く女性応援・障がい者雇用推進認証企業数により、市内企業における女性や障がい者の働きやすさをはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
45	目標値	60	75	90	105	120	積極的な企業訪問による啓発等により、年間10社を上回る認証を目指します。
	実績値	72	88	108	120		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	働く女性応援事業	2,247	産業雇用政策課
	具体的な取組内容	女性の雇用継続、女性の管理職登用の推進、男女がともに働きやすく、仕事と子育て・家庭生活が両立できる環境作りを推進するために、市独自の認証基準を設定し、積極的な取組を行う中小企業を認証する。また、より積極的に働きやすい職場環境作りなどの取組を行う認証企業を「ゴールド認証企業」として認証する。 認証企業の取組事例を広く公表することで、企業PR、地域社会への波及効果を促し、女性活躍の推進を図る。 ○対象内容：(1)働く女性応援企業認証事業	
	取組成果	女性の雇用継続や管理職登用の推進と、男女ともに働きやすく、仕事と子育てを両立できる職場環境づくりに取り組む中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、女性が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 ○働く女性応援企業認証事業 ・新規認証事業数 11社 ・ゴールド認証企業数 4社	
2	障がい者雇用推進事業費	131	産業雇用政策課
	具体的な取組内容	障がい者雇用に対する意識向上を図り、誰もが働きやすい職場環境を整備するために、市独自の認証基準を設定し、積極的に障がい者雇用を進める中小企業を認証する。また、より積極的に障がい者雇用に関する取組を行う認証企業を「ゴールド認証企業」として認証する。 認証企業の取組事例を広く公表することで、企業PR、地域社会への波及効果を促し、市内の労働環境の整備を図るとともに障がい者の定着を促進する。 ○対象内容：(1)障がい者雇用推進企業認証事業	
	取組成果	障がい者雇用に積極的に取り組む中小企業を認証・公表し、企業のイメージアップと、障がい者が働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図った。 ○障がい者雇用推進企業認証事業 ・新規認証企業数 1社 ・ゴールド認証企業数 1社	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位：千円)

①女性活躍推進事業[1,676] (産業雇用政策課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。女性、障がい者が自分らしく活躍するためにどうサポートしているかという観点を重視し、引き続き取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

働く女性応援企業認証事業及び障がい者雇用推進企業認証事業をアップデートし、従来の女性活躍や障がい者雇用の推進に加え、男性育児家事促進や高齢者の活躍、外国人雇用など多様な働き方ができる職場づくりに取り組む企業を新たに認証するダイバーワークスタイル企業認証事業により、誰もが働きやすく活躍できる職場環境づくりの促進を図る。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	交通政策課、市街地整備課、にぎわい商業課、産業雇用政策課
----------	-----	-------	-----	------------------------------

**成果指標** **43. 休日の歩行者・自転車通行量(7地点)** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**22. 中心市街地の活性化**

指標の説明 歩行者・自転車通行量により、まちなかの魅力と回遊性の状況をはかる指標です。

基準値 (令和2年7月 測定値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
13,690	目標値	13,719	13,748	13,778	13,807	13,837	人々の往来につながる施策の展開により、休日の歩行者・自転車通行量の増加を目指します。
	実績値	11,594	13,393	13,668	17,714		
人/日	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	商店街等活性化イベント支援事業	35,571	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	交流人口拡大や街なかの賑わいの創出、地域経済や商店街等の活性化を図るために、商店街等が実施するイベント経費の一部を補助する ○街なかイベント：補助率1/2, 上限500千円(4月～7月：補助率55/100, 上限550千円、複数日：開催月の補助率, 上限750千円) ○商店街等イベント：補助率3/10, 上限300千円(商工会管内：補助率1/2, 上限500千円)	
	取組成果	商店街等が実施するイベント等に対し補助を行い、地域経済の活性化及び賑わい創出を図った。 ○補助件数 83件(うち中心市街地 59件)	
2	ももりんシェアサイクル運営事業	17,422	交通政策課
	具体的な取組内容	中心市街地の回遊性の向上を図るために、シェアサイクルの管理運営を行う。(19箇所のポート設置)	
	取組成果	ポストコロナにおける中心市街地の回遊性向上や地域観光の活性化を図るため、IoT(スマートフォン)を活用した非接触型の自転車貸出サービスを実施した。 ○貸出ポート 19カ所(※3～4月は期間限定で、花見山へ臨時ポート設置 計20カ所) ○自転車台数 70台 ○利用回数 32,847回	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①街なかにぎわい創出事業[32,035](にぎわい商業課) ②街なかテーマパーク事業[9,999](にぎわい商業課)
- ③街なか出店入居者家賃補助事業[80,554](にぎわい商業課) ④新規出店にかかる内外装工事等支援事業[29,653](にぎわい商業課)
- ⑤創業応援利子補給パッケージ[2,785](産業雇用政策課) ⑥まちなか広場等管理運営事業[5,565](市街地整備課)
- ⑦メロディーバス運行事業[18,445](交通政策課) ⑧パークアンドライド運行事業[3,138](交通政策課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成している。にぎわいづくりのきっかけとなるイベントのPRを広げ、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

引き続き、ふくしま街なか賑わいカレンダー等によるイベント情報の発信・周知を継続して行い、まちなかに人流を誘導するとともに、シェアサイクルやメロディーバス及びパークアンドライド等により、回遊性の向上を図る。

指標進捗管理担当	(主)	都市計画課	(副)	政策調整課、にぎわい商業課、地域共創課
----------	-----	-------	-----	---------------------

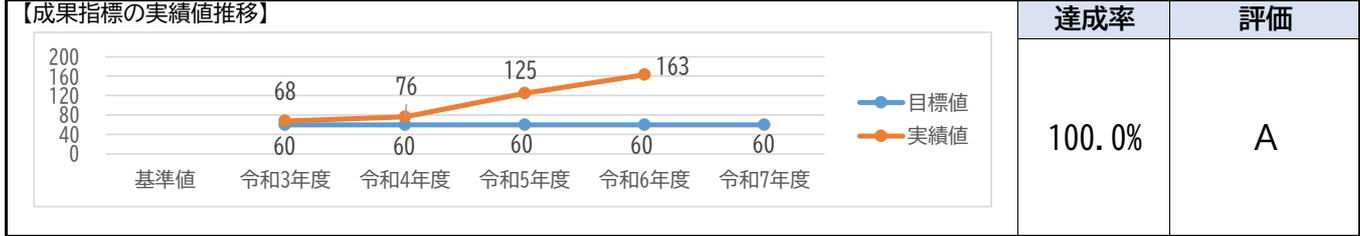
**成果指標 44. まちづくり活動に参画する学生数**

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】 22. 中心市街地の活性化**

指標の説明 まちなかの魅力向上に向けたまちづくり活動に取り組む学生数により、新たな魅力の創出の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
—	目標値	60	60	60	60	60	市内大学・短期大学等との連携を図り、賑わいの創出に向けた新たなまちづくり活動に参画する学生を年間60人目指します。
	実績値	68	76	125	163		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	街なか若者活動促進事業	990	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	街なかでのイベント支援や、若者のまちづくりに関わる活動を支援することで街なかの賑わいを創出する。	
	取組成果	街なかでイベントを開催したい学生へ、イベント開催の指導・助言並びに補助金の交付（8件）を行い、街なかの賑わい創出に寄与した。	
2	こくりナビプロジェクト事業	257	地域共創課
	具体的な取組内容	若者が主体性を持ちながら気軽に市事業や地域活動に参加できる仕組み「こくりナビ」を展開し、個性とにぎわいのあるまちづくりを推進する。	
	取組成果	市内の大学生や企業の若手社員を中心に354名の登録があり、市事業39件を配信。延べ78名の参加があった。イベント等の補助だけでなく、市民ワークショップや社会実験での企画検討など、多岐にわたる役割で若者が参画することにより、若者が地域や行政を知る機会を提供でき、若い視点や発想力から事業のブラッシュアップに繋げることができた。	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①街なかにぎわい創出事業[32,035]（にぎわい商業課）
- ②街なかテーマパーク事業[9,999]（にぎわい商業課）
- ③商店街等活性化イベント支援事業[35,571]（にぎわい商業課）
- ④産官学連携プラットフォーム推進事業[1,000]（政策調整課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

学生が中心市街地のまちづくりにより関心をもち、年間を通じて活動や取り組みができるよう、街なか賑わい創出プロジェクトとの連携や学生に対する活動費補助、こくりナビなど、支援・サポート体制の充実に努めていく。

指標進捗管理担当	(主)	道路整備課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

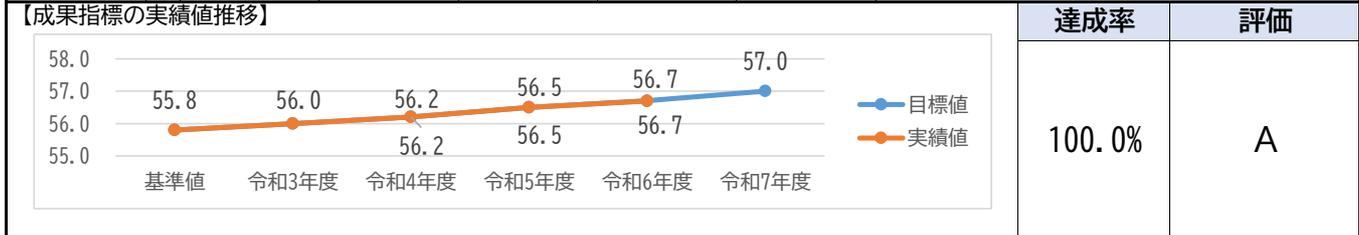
## 成果指標 45. 道路改良率

### 1 成果指標の概要

**関連する施策** 【個別施策】  
**23. 道路交通ネットワークの整備**

**指標の説明** 市道として管理している道路のうち、十分な道路幅員や側溝整備を完了した道路の改良率により、快適な道路網の整備状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
55.8	目標値	56.0	56.2	56.5	56.7	57.0	都市計画道路や市道改良、歩道設置などの整備を推進することにより、約1%（延長約35,000m）の増加を目指します。
	実績値	56.0	56.2	56.5	56.7		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	太平洋岡部線（御山町工区）	119,686	道路整備課
	<b>具体的な取組内容</b> 学法福島高校から国道13号を結ぶ幹線道路の拡幅工事を実施する。（全体計画 L=450m） ○対象内容：道路改良工L=100m 用地買収A=605㎡ 物件補償2件（令和7年度） ○事業進捗率：76.9%（令和6年度末）  <b>取組成果</b> 計画どおりの進捗が図られた。引き続き予算の確保に努めるとともに、2月補正（総合経済対策）予算分とあわせ令和7年度執行予定である。 ○対象内容：道路改良工272.0m（令和6年度） ○事業進捗率：66.5%（令和5年度末）		
2	杉妻町早稲町線	75,795	道路整備課
	<b>具体的な取組内容</b> 旧4号線から栄町五月町線（こむこむ前通り）を結ぶ幹線道路の拡幅工事を実施する。（全体計画 L=240m） ○対象内容：道路改良工L=10m 用地買収A=114㎡ 物件補償2件（令和7年度） ○事業進捗率：47.9%（令和6年度末）  <b>取組成果</b> 計画どおりの進捗が図られた。引き続き予算の確保に努めるとともに、2月補正（総合経済対策）予算分とあわせ令和7年度執行予定である。 ○対象内容：測量設計、用地買収A=105㎡ 物件補償2件（令和6年度） ○事業進捗率：37.2%（令和5年度末）		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①大蔵南慶二線[1,835]（道路整備課） ②北谷地長畑線[608]（道路整備課） ③南町佐倉下線[4,866]（道路整備課）  
 ④杉妻町御山線[92,310]（道路整備課） ⑤椿沢線[1,938]（道路整備課） ⑥銀冶合内線[497]（道路整備課）  
 ⑦北沢又丸子線（道路整備課） [35,080] ⑧生活道路改良事業[161,018]（道路整備課）  
 ⑨地域安全緊急対策事業[99,623]（道路整備課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

令和6年度は、国庫補助金等について概ね要望どおり予算確保ができ、計画的な事業進捗が図られた。引き続き、国・県に予算要望しながら財源確保に努め、都市計画道路や市道改良、歩道設置などの整備を推進する。

指標進捗管理担当	(主)	道路保全課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

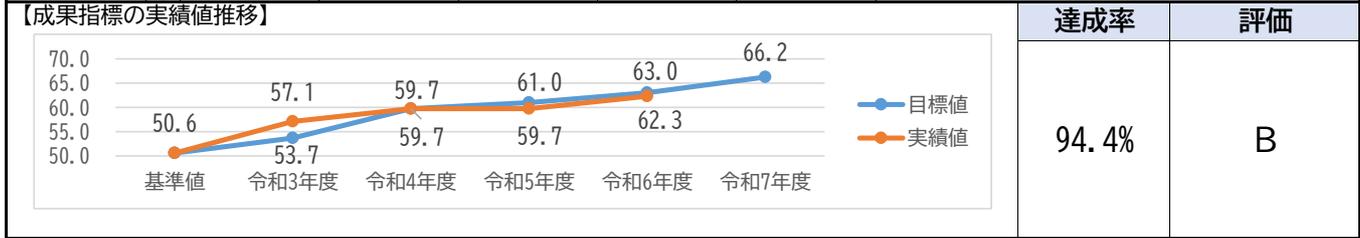
**成果指標 46. 重要橋梁の耐震補強整備率**

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】 23. 道路交通ネットワークの整備**

指標の説明 市が管理する橋梁1,080橋のうち、緊急輸送路などの重要橋梁77橋の耐震補強整備率により、安心安全な道路交通の充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
50.6	目標値	53.7	59.7	61.0	63.0	66.2	重要橋梁の耐震補強工事を優先的・計画的に進めることにより、耐震補強整備率の向上を目指します。
	実績値	57.1	59.7	59.7	62.3		
	%	100.0%	100.0%	87.5%	94.4%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	市道橋の長寿命化修繕事業	637,800	道路保全課
	具体的な取組内容	道路メンテナンス事業を活用して、橋梁補修工事及び耐震補強工事を実施する。 ○対象施設：早乙女橋（市道坂ノ上・下ノ町線）ほか ○重要橋梁耐震化率：59.7%（令和5年度末）	
	取組成果	重要橋梁耐震化率が令和5年度末59.7%に対し、令和6年度末62.3%となった。令和6年度からの繰越により耐震補強工事は進んでおり、令和7年度末で49橋（63.6%）の耐震補強が完了予定となる。	
2	市道橋の長寿命化推進事業	60,000	道路保全課
	具体的な取組内容	道路メンテナンス事業を活用して、5年ごとの近接目視による橋梁点検及び橋梁長寿命化修繕計画更新を行う。 ○対象施設：新広瀬橋（市道黒沢・尼ヶ堂線）ほか	
	取組成果	令和6年度は3巡目点検の1年目で、JR 1橋、大規模 7橋、中規模 61橋、小規模 166橋、合計 235橋の橋梁点検を実施した。 点検で損傷が確認された35橋について、橋梁補修工事を実施する。	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

①橋梁維持修繕事業（道路保全課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

今後も計画的に耐震補強工事を実施し、目標達成に取り組む。

指標進捗管理担当	(主)	交通政策課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

## 成果指標 47. 福島市管内路線バスにおける福島市内乗車人員(年間)

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 24. 公共交通網の充実**

指標の説明 路線バスの乗車人員により、路線バス利用の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
5,097,851 人	目標値	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	路線バスの利用促進を図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	3,829,426	3,991,334	4,573,643	4,131,832		
	達成率	76.6%	79.8%	91.5%	82.6%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	257,103	担当課	交通政策課
1	具体的な取組内容	バス路線運行維持対策事業 慢性的な路線バスの運転手不足、人件費や物価高騰の影響など、路線バス運行事業者の経営は厳しい状況にある中、路線バス運行経費の一部を支援し、市民の日常生活を支える移動手段を確保する。			
	取組成果	運行事業者に補助金を交付して、路線バスの維持、確保に努めた。 ○福島市生活路線バス等運行対策補助金 215,293千円 ○福島市委託バス等交通対策補助金 38,114千円			
2	具体的な取組内容	中心市街地活性化交通支援事業 市内循環もりんバス運行経費の一部を支援し、市街地の回遊性を高めることで、中心市街地の活性化を推進する。			
	取組成果	運行事業者に補助金を交付して市内循環もりんバスの維持、確保に努めた。 ○福島市中心市街地活性化交通支援事業補助金 24,608千円			

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

①メロディーバス運行事業(交通政策課) [18,445]

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。シルバーバスの利用状況等も検証しながら、公共交通の利用促進につなげてほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

各拠点間を結ぶ路線バスは補助金等で支援し、できるだけ維持しながら利便性を高めていくとともに、地域内の日常生活を支える路線・区間については、地域の実情に合った運行形態に転換するなど運行の効率化を図る。  
また、利用状況や財政負担など路線バスに関する情報を開示して、その現状を理解いただくとともに、地域で乗って支える取り組みもお願いしていく。

<b>成果指標</b>	<b>48. 福島交通飯坂線、阿武隈急行線の福島市内乗車人員(年間)</b>
-------------	--

<b>1 成果指標の概要</b>
------------------

関連する施策	<b>【個別施策】 24. 公共交通網の充実</b>
--------	--------------------------------

指標の説明	福島交通飯坂線、阿武隈急行線の乗車人員により、鉄道輸送の利用状況をはかる指標です。
-------	---

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
<b>3,807,915</b> 人	目標値	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	3,800,000	鉄道輸送の充実などを図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	2,753,857	2,671,647	3,052,049	3,151,235		
	達成率	72.5%	70.3%	80.3%	82.9%		



<b>2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み</b>
-----------------------------

No	取組名	事業費 (千円)	85,898	担当課	交通政策課
1	具体的な取組内容	乗車人員は、コロナ禍から回復傾向となっているが、コロナ前の利用状況までは回復できていない。また、人件費や物価高騰の影響など鉄道事業者の経営は厳しい状況にある中、施設の整備等に対する経費の一部を支援し、市民の日常生活を支える移動手段の確保とあわせて輸送の充実を図る。			
	取組成果	運行事業者に補助金を交付して鉄道事業の維持、確保に努めた。 ○阿武隈急行緊急保全整備事業費等補助金(繰越含む) 81,930千円 ○鉄道軌道輸送対策事業費補助金(繰越含む) 3,968千円			

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
2	具体的な取組内容		
	取組成果		

<b>3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)</b>
--

--

<b>4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価</b>
----------------------------------

目標達成に向けて順調に進んでいる。シルバーパスの利用状況等も検証しながら、公共交通の利用促進につなげてほしい。
---

<b>5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性</b>
--------------------------------

引き続き鉄道施設整備等を支援して輸送安全性の向上を図るとともに、事業者と連携した利用促進の取り組みも推進していく。
---

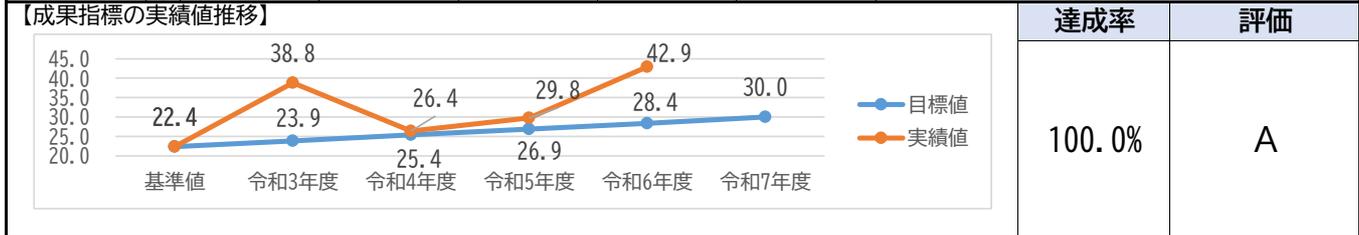
## 成果指標 49. 移住・定住の各施策により本市移住に結びついた移住者の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 25. 移住定住・関係人口の拡大**

指標の説明 移住希望者のうち、本市移住に結びついた移住者の割合により、本市の魅力などの情報発信の充実度を表はる指数です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
22.4	目標値	23.9	25.4	26.9	28.4	30.0	移住希望者のニーズにあった有効的なアプローチにより、過去4年間の実績値を上回る、年間1.5%の増加を目指します。
	実績値	38.8	26.4	29.8	42.9		
	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	新生活応援事業	10,424	定住交流課
	具体的な取組内容		移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援金事業（市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内（上限県外10万円、市外5万円）） ○湯めぐり無料パスポート交付事業
	取組成果		本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住引越支援金：補助件数：137件（補助額：9,035千円） ○湯めぐり無料パスポート：交付件数235件
2	UIJターン移住支援事業	35,600	定住交流課
	具体的な取組内容		東京23区の在住者等が本市に転入し、福島県のマッチングサイトに掲載の中小企業に就職、または企業やテレワーク等の要件を満たした方に対し補助金を交付する。 ○補助上限：単身世帯60万円、複数世帯100万円+子育て加算（100万円×人数）
	取組成果		東京圏からの一定の要件を満たした移住者に対し支援をすることで、本市の地元中小企業等における担い手の確保及び本市の移住・定住の促進が図られた。 ○補助件数：26世帯（単身世帯11世帯、複数世帯15世帯） 就業等の内訳：起業1世帯、テレワーク16世帯、関係人口からの就業9世帯

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①結婚新生活支援事業 [54,741]（定住交流課）
- ②「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 [3,750]（企業振興課）
- ③広報推進事業 [3,486]（定住交流課）
- ④移住コーディネーター活動事業費 [5,277]（定住交流課）
- ⑤空家等対策事業 [34,932]（都市計画課）
- ⑥クリエイティブビジネスサロン運営事業 [18,428]（産業雇用政策課）
- ⑦あぐりっしゅサポートパッケージ [8,973]（新規就農支援）（農業企画課）
- ⑧わかもの住まい支援 [80]（住宅政策課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

首都圏等における相談機会の充実や、本市の魅力や暮らし、移住定住施策等のPRを強化し更なる移住者の獲得に努める。

指標進捗管理担当	(主)	定住交流課	(副)	産業雇用政策課、企業振興課、住宅政策課、農業企画課、男女共同参画センター
----------	-----	-------	-----	--------------------------------------

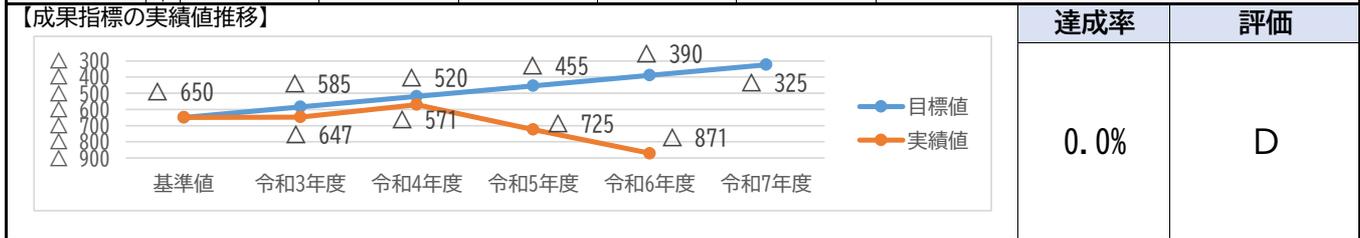
**成果指標** **50. 人口の社会動態(20歳～39歳)** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**25. 移住定住・関係人口の拡大**

指標の説明 若年層の社会動態(20歳～39歳)により、移住定住先に選ばれる環境の充実度をはかる指標です。

基準値 (H28～R元の4年 間平均値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
△ 650	目標値	△ 585	△ 520	△ 455	△ 390	△ 325	移住定住の促進により、人口ビジョンにおける人口目標の達成を目指します。
	実績値	△ 647	△ 571	△ 725	△ 871		
	人	4.6%	60.8%	0.0%	0.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課	定住交流課
1	新生活応援事業	10,424		
	具体的な取組内容	移住希望者のライフスタイルに沿った移住・定住を支援するため、移住応援サポーターによる相談や引越費用の一部補助等を行う。また、特定の事業を活用した移住者へは、特典として温泉パスポートを贈呈する。 ○福島市移住応援サポーター活動事業 ○移住引越支援金事業(市外から本市へ移住した際に係る引越費用、1/2以内(上限県外10万円、市外5万円)) ○湯めぐり無料パスポート交付事業		
	取組成果	本市で新たに生活を始める方を応援するために、移住応援サポーターや移住コーディネーターによる移住希望者へのアドバイスや移住後のアフターケアを行うとともに、引越しの費用の一部を補助および特典を贈呈することで、本市への移住促進が図られた。 ○移住引越支援金：補助件数：137件(補助額：9,035千円) ○湯めぐり無料パスポート：交付件数235件		
2	結婚新生活支援事業	54,741		
	具体的な取組内容	結婚に伴う新生活のスタートアップを支援するため、新婚世帯の住宅の取得・リフォームや貸借費用(敷金・礼金・家賃等)及び引越費用等の一部を補助する。 ○申請延べ件数：約470件 ○対象世帯：夫婦ともに婚姻日における年齢が39歳以下かつ夫婦の合計所得500万円未満。ただし、賃貸住宅スタートアップは所得制限なし。 ○補助上限：マイホーム購入30万円、賃貸住宅スタートアップ15万円、家賃最大2年間48万円		
	取組成果	結婚に伴う新生活のスタートアップに係るコストを支援することで、若者の希望するタイミングで結婚する環境が整備され、結婚への後押しになった。 ○補助世帯数：332世帯(補助額：54,741千円) ○スタートアップ支援：117件(住宅購入・リフォーム費用：11件、賃貸初期費用：92件、引越費用：14件) ○家賃支援：268件		

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位：千円)**

- ①クリエイティブビジネスサロン運営事業 [18,428] (産業雇用政策課)
- ②「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 [3,750] (企業振興課)
- ③U I J ターン移住支援事業 [35,600] (定住交流課)
- ④広報推進事業 [3,486] (定住交流課)
- ⑤移住コーディネーター活動事業 [5,277] (定住交流課)
- ⑥ふくしま☆スタイル住宅整備事業 [299,890] (住宅政策課)
- ⑦空家等対策事業 [34,932] (都市計画課)
- ⑧あぐりっしゅサポートパッケージ(新規就農支援) [8,973] (農業企画課)
- ⑨女性の起業チャレンジ応援事業 [319] (男女共同参画センター)
- ⑩外国人生活相談事業 [4,672] (定住交流課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。人口の定着にあたっては雇用が大事であることから、新たな働き方の環境整備や企業に関する情報発信を強化し、取り組みを進めてほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

移住者数は最多を更新しているが、若年層の転出超過に歯止めがかかっていないことから、若い世代の移住定住の地として選ばれよう、新たな働き方の環境整備を進め、本市の移住定住支援策を継続的に市内外に情報発信し、活用促進を図っていく。

指標進捗管理担当	(主)	農業企画課	(副)	農業振興課、農林整備課、観光交流推進室
----------	-----	-------	-----	---------------------

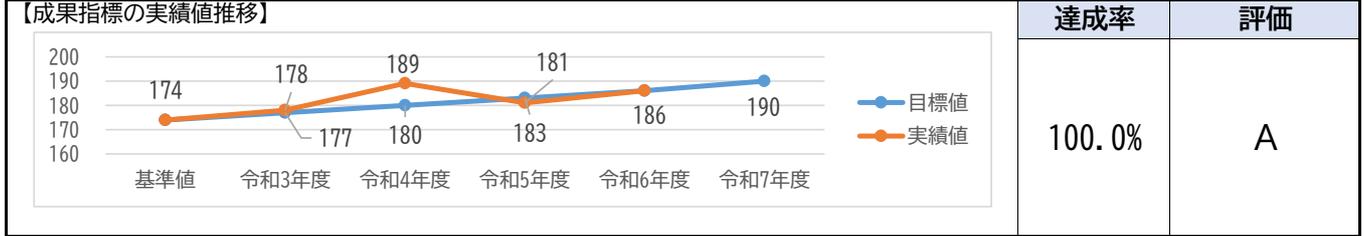
**成果指標** **51. 農業産出額** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**26. 農林業の振興**

指標の説明 農業生産の実態を示す金額（産出額）により、農業の振興の状況をはかる指標です。

基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
174 億円	目標値	177	180	183	186	190	農業担い手確保、農業経営の強化、消費拡大など各種施策の展開により、190億円の農業産出額を目指します。
	実績値	178	189	181	186		
	達成率	100.0%	100.0%	77.8%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	あぐりっしゅサポートパッケージ	89,130	農業企画課
	具体的な取組内容		新規就農を推進するため、相談・体験・研修・営農・定着に至る各ステップで、総合的に支援する。 ○あぐりっしゅサポート事業（農業体験支援事業、農業経営開始支援事業、農業メンター事業、農地流動化支援事業（新規就農者対象）） ○新規就農者育成総合対策事業（新たに独立して農業経営を行う農業者に対し、資金を交付）
	取組成果		就農希望者に対し相談業務を実施するとともに、各ステップにおける支援事業を案内することにより、事業活用の促進及び新規就農者の確保につながった。また、営農を開始した農業者に対し、メンターのあっせんや資金面での支援を行うことにより、新規就農者の確保と定着を図った。 ○農業経営開始支援事業 21件 8,000千円 ○農業次世代人材投資資金 4件 5,457千円 ○経営開始資金 35件 54,375千円 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業） 6件 19,800千円 推進費 525千円
2	農用地集積・集約の取り組み	2,362	農業企画課、農業委員会事務局
	具体的な取組内容		担い手の農業経営規模の拡大と安定化を図り、農用地の有効活用を図るため、担い手への農地集積・集約化を支援する。 ○農地中間管理事業（農地中間管理機構を通して農地を貸し付けた農家に対して、協力金を交付） ○切らずにつなぐ樹園地継承事業（「樹園地継承システム」を活用して成木園が継承された場合に、農地の出し手の農家に対し奨励金を交付）
	取組成果		農地中間管理機構を通じた担い手への農地の集積・集約化を促進した。また、「樹園地継承システム」では、1件37aのマッチングがあり、営農が困難な農地が次の農家へ引き継がれるとともに集積化にもつながった。 ○農用地利用集積面積 1,409ha ○切らずにつなぐ樹園地継承事業奨励金 算定期間外のマッチングであったため、次年度に執行予定。

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①鳥獣被害対策事業[47,779]（農業企画課）
- ②スマート農業実装支援事業[23,911]（農業企画課）
- ③農業経営安定化支援事業[3,917]（農業振興課）
- ④気候変動適応型農業支援事業[7,611]（農業振興課）
- ⑤地域6次産業化推進事業[2,794]（農業振興課）
- ⑥ふくしまの農産物魅力アップ事業[4,062]（農業振興課）
- ⑦スイーツ・プレミアム事業[3,993]（観光交流推進室）
- ⑧農道・水路・ため池等の整備[317,262]（農林整備課）
- ⑨福島駅前軽トラ市開催事業[5,956]（農業振興課）
- ⑩第三者認証GAP取得等促進事業[99]（農業振興課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。新規就農者に加えて、既存の農業従事者も営農が継続できるような支援を望む。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

本市農業の持続的発展に向け、今後も、福島市農業・農村振興計画に基づき、各種施策に取り組み、担い手の育成、多様な人材の活躍促進、農産物の安全性確保・品質向上、消費拡大の推進などに努めていく。

指標進捗管理担当	(主)	農業企画課	(副)	定住交流課
----------	-----	-------	-----	-------

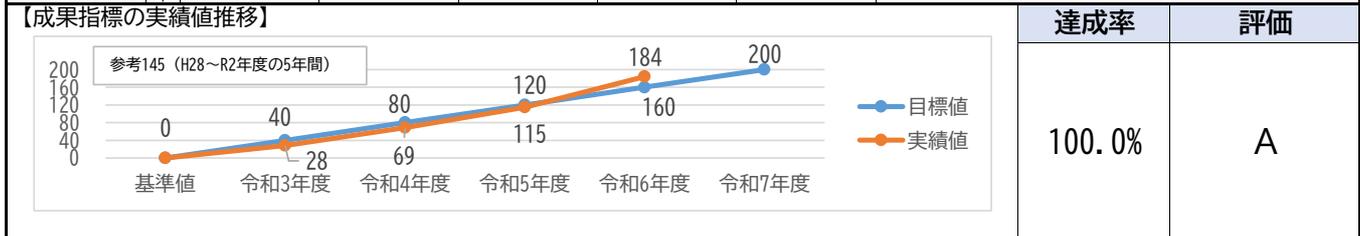
## 成果指標 52. 新規就農者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 26. 農林業の振興**

指標の説明 農業後継者や新規参入者の人数により、新たな農業の担い手の確保の状況をはかる指標です。

基準値 (H28～R2年度の 5年間)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
参考145 人	目標値	40	80 (R3～4年度 までの2年間)	120 (R3～5年度 までの3年間)	160 (R3～6年度 までの4年間)	200 (R3～7年度 までの5年間)	新規就農者への支援策の強化や就農相談、農業体験など、きめ細かな対応を図ることにより、毎年40人の新規就農者の確保を目指します。
	実績値	28	69	115	184		
	達成率	70.0%	86.2%	95.8%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	<b>あぐりっしゅサポート事業 (あぐりっしゅサポートパッケージ)</b> 農業の担い手を確保するため、兼業就農や親元就農者、農業法人等に就農時初期費用などの一部を助成する。また、新規就農者に対し指導者となる農業者（メンター）をマッチングする。 ○農業体験支援事業    ○農業経営開始支援事業    ○農業メンター事業 ○農地流動化支援事業（新規就農者対象）	8,973	農業企画課
	<b>取組成果</b> 多様な形態の新規就農者に就農時初期費用の助成を行い、円滑な経営継承や就農の定着を支援することにより、新規就農者の確保につなげた。また、新規就農者に対し、メンターのあっせんによる就農後のフォローアップ体制の強化を図り、就農の定着を促進した。 ○農業経営開始支援事業 21件 8,000千円    ○農業体験事業 2件    ○農業メンター事業 メンター件数 6件 ○農地流動化支援金 17件 260千円		
2	<b>新規就農者育成総合対策事業 (あぐりっしゅサポートパッケージ)</b> 就農意欲の喚起と就農後の定着を図るため、新たに独立して農業経営を行おうとする農業者に対し、資金を交付する。 ○資金受給者の就農状況確認及び指導 ○資金交付（年間最大150万円を最長3年間交付、機械・施設等の導入経費の3/4、最大750万円交付）	80,157	農業企画課
	<b>取組成果</b> 独立・自営就農者等に対して資金を交付し、就農意欲の喚起と新規就農者の確保につなげた。加えて、関係機関や団体と連携し、新規就農者に対する現地圃場での技術指導や経営相談などのフォローアップを行うことにより、就農定着を図った。 ○農業次世代人材育成事業 4件 5,457千円    ○経営開始資金（経営開始支援資金） 35件 54,375千円 ○経営発展支援事業（初期投資促進事業） 6件 19,800千円    ○推進費 525千円		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①新生活応援事業[10,424]（定住交流課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

本市農業の持続的発展に向け、あぐりっしゅサポートパッケージを継続実施することで、引き続き、担い手の育成、多様な人材の活躍促進などに努めていく。さらなる新規就農者の営農定着に向け、各関係機関とともに引き続き連携して取り組んでいく。

指標進捗管理担当	(主)	企業振興課	(副)	産業雇用政策課
<b>成果指標</b>		<b>53. 製造品出荷額等</b>		★重点施策の再掲

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 27. 工業の振興**

指標の説明 製造品出荷額等により、工業の振興の状況をはかる指標です。

基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
5,637 億円	目標値	5,637	5,637	5,637	5,637	5,637	労働人口の減少や新型コロナウイルス感染症の影響による経営悪化などにより減少が見込まれますが、ICT活用や企業競争力の向上を図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	4,768	4,455	4,629	4,817		
	達成率	84.6%	79.0%	82.1%	85.5%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	<b>第2期福島おおぞらインター工業団地整備事業</b> 東北自動車道と東北中央自動車道の結節点に位置する福島大笹生IC直結の高い交通利便性とインノベーションコースト構想の玄関口である立地を活かし、産業振興、雇用創出を生み出すため、企業誘致の受け皿となる新たな工業団地の整備を進める。 (1) 造成工事	616,645	企業振興課
	<b>取組成果</b> 造成工事を継続的に進め、確定測量等の委託業務を実施し分譲地8区画のうち1区画の予約販売を開始した ○造成工事 603,060千円 ○業務委託 12,970千円		
2	<b>新製品・新技術開発支援事業</b> 市内企業が行う新製品や新技術の研究開発の取り組みを支援し、付加価値の高いものづくりによる新たな産業や事業の創出を図る。 (1) 特定集積産業分野（医療福祉機器等、ロボット・航空、食品加工）への支援 (2) 一般分野への支援	16,825	産業雇用政策課
	<b>取組成果</b> 産学連携などを通して付加価値の高い新製品・新技術の開発に取り組む市内企業を支援し、企業の競争力強化や技術力向上を促進することで、地域経済の活性化を図った。 (1) 特定集積産業枠 8件 (2) 一般枠 2件		

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

- ①ふくしま新製品・新システム応援事業 [1,976]（産業雇用政策課）
- ②ふくしま田園中枢都市圏ビジョン事業 [1,256]（産業雇用政策課）
- ③クリエイティブビジネスサロン管理運営事業 [18,428]（産業雇用政策課）
- ④企業立地促進事業 [96,370]（企業振興課）
- ⑤「ゆとり満喫福島オフィス」開設支援事業 [3,750]（企業振興課）
- ⑥凍み豆腐事業継承推進事業 [0]（企業振興課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

地元企業の事業拡大や生産体制強化を図るため、引き続き企業間連携の促進や各種支援事業に取り組むとともに、企業誘致の受け皿となる第2期福島おおぞらインター工業団地の整備や新たな産業用地等の検討を進める。また交通利便性に優れた本市の魅力を発信し、特定集積産業や本社機能を有する工場等、本市への定着が期待される企業の誘致に努める。

指標進捗管理担当	(主)	にぎわい商業課	(副)	産業雇用政策課、市街地整備課
----------	-----	---------	-----	----------------

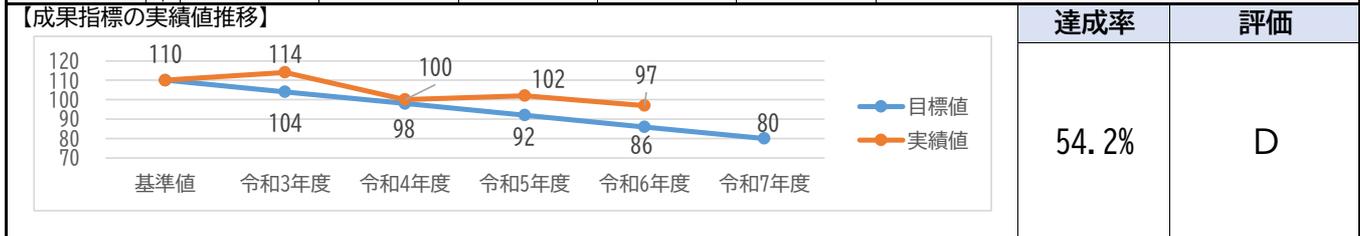
**成果指標** **54. 中心市街地空き店舗数** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策	<b>【個別施策】 28. 商業の振興</b>
--------	-----------------------------

指標の説明	中心市街地における商店街の空き店舗数により、まちなかの魅力やにぎわいの状況をはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和2年12月調査値)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
110	目標値	104	98	92	86	80	商業者や多様な業種の起業家等のまちなかへの出店を支援することにより、空き店舗の30店舗減少を目指します。
	実績値	114	100	102	97		
	達成率	0.0%	83.3%	44.4%	54.2%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費(千円)	担当課
1	新規出店にかかる内外装工事等支援事業	29,653	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	街なかの活性化を図り賑わいを創出するため、空き店舗や新規店舗、空き家で開業する事業者に対し、工事等にかかる経費の一部を補助する。 ○対象者：法人、個人事業主、団体で事業を行う者 ○対象経費：内装・外装工事費、空調設備工事費、ネットワーク環境接続費（初期投資のみ）ほか	
	取組成果	令和6年度から中心市街地エリア（新規出店誘導区域）ほか、街なかを含む対象エリアを一部拡大し、新規出店を促した。補助件数は、前年度の「街なか再生リノベーション事業」の27件から32件へ増加し、空き店舗等の活用と街なかの賑わい創出を図った。	
2	街なか出店入居者家賃補助事業	80,554	にぎわい商業課
	具体的な取組内容	街なかの活性化を図り賑わいを創出するため、空き店舗や新規店舗、空き家に出店する事業者に対し、店舗の賃借料の一部を補助する。 ○対象者：中心市街地等商店街の空き店舗を店舗、その他商店街の魅力向上に寄与する施設として活用する商店街組合等団体、中小企業等 ○対象業種：中小小売業、サービス業ほか	
	取組成果	「空き店舗重点対策地域（創業ゾーン）」での家賃補助事業については、令和4年度より引き続き市独自に階層や業種等の要件を緩和することで、事業者が出店しやすい制度の拡充を図った。令和6年度の新規件数は30件で、令和4年度から継続的に補助している71件を含め、合計で101件の補助を行い、街なかの賑わい創出と経済活動活性化に貢献した。	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）**

- ①街なかにぎわい創出事業[32,035]（にぎわい商業課）
- ②商店街等活性化イベント支援事業[35,571]（にぎわい商業課）
- ③創業応援利子補給パッケージ[2,785]（産業雇用政策課）

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

目標達成に遅れが生じている。創業支援のメニューやニュースレターはとても関心を引く内容になっており評価できる。こうした情報を市内外問わず広く発信してもらいたい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

市の創業支援メニュー等の情報を幅広く発信し、創業希望者の掘り起こしや誘致を推進することで、中心市街地の新規出店のさらなる促進を図る。また、長期的な事業継続の支援につながるよう、補助対象エリアや業種、補助条件の見直し等についても検討を行う。これらの取組みにより、新規出店と事業定着の両立を図り、街なか全体の活性化と持続的な賑わいを創出する。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

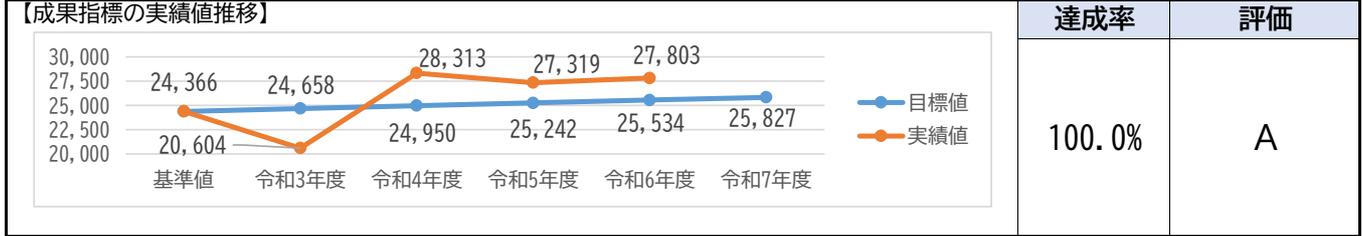
**成果指標 55. 観光消費平均単価額**

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】 29. 観光による地域振興**

指標の説明 来訪者が本市で消費した額により、外貨獲得の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
24,366 円	目標値	24,658	24,950	25,242	25,534	25,827	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの回復が不透明ではありますが、観光まちづくりの推進や付加価値の創造などを図ることにより、過去5年間の伸び率と同じ伸び率を目指します。
	実績値	20,604	28,313	27,319	27,803		
	達成率	0.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	春の花見山おもてなし事業 観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 具体的な取組内容 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など 取組成果 3月中旬から下旬にかけて天気が周期的に変化したことと、桜の見頃時期が関東圏と重なったことによる旅行先の分散が影響し、来訪者数は前年比2,000人減(2.6%減)の75,000人となった。 また、県外からの来訪者の割合は前年より減少したものの、宿泊者の割合は前年より増加し、市内での旅行消費金額も前年より増加した。総合的な満足度は過去最高の97.8%となった。	60,189	観光交流推進室
2	「ふくしまステイ。」プロモーション事業 首都圏からのアクセスのちよと良さや、自然と都市の調和のとれた田園都市ならではの「ちよといい」心地良さを「ちよといい旅、ふくしまステイ。」とブランディング化し、首都圏在住者をターゲットとしてリアルとデジタルを掛け合わせたプロモーションの展開を図り、本市への誘客と周遊を促進する。 具体的な取組内容 ○「ふくしまステイ。」イメージ定着化事業 ○「ふくしまステイ。」を活用した誘客プロモーション事業 取組成果 ○ステイプラン宿泊商品では、対前年度の人泊数は14.3%、取扱額は45.7%増となった。 ○東京主要駅のデジタルサイネージを活用して認知度向上を図った。(4週間) ○市内40箇所をスポットにしたデジタルラリーを実施し周遊促進を図った。(参加者572人)	11,154	観光交流推進室

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)**

- ①「道の駅ふくしま」運営[39,667](観光交流推進室)
- ②ふくしま花回廊推進事業[25,132](観光交流推進室)
- ③フィルムロケ誘致支援事業[1,721](観光交流推進室)
- ④あづま山麓ツーリズム推進事業[9,999](観光交流推進室)
- ⑤ふくしま三名湯ブランディング事業[1,602](観光交流推進室)
- ⑥温泉地活性化推進事業[14,970](観光交流推進室)
- ⑦ふくしま田園観光圏整備事業[11,177](観光交流推進室)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、本市ならではの多様なコンテンツを活かした花観光やあづま山麓エリア等のテーマ観光等について事業を展開し、各種プロモーションによる情報発信を行うことで、国内外の観光誘客につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

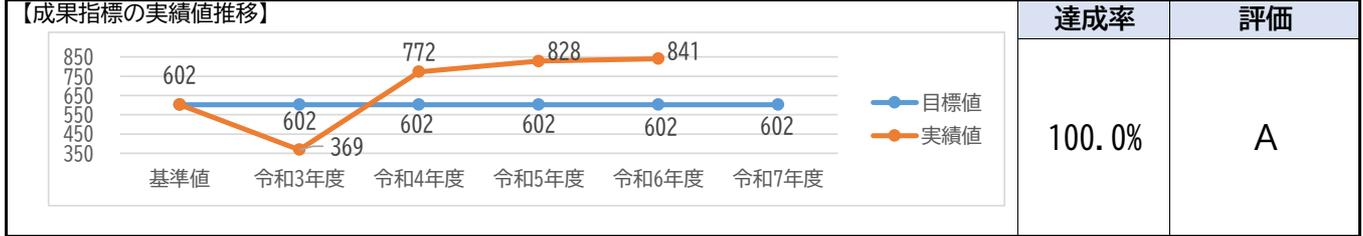
## 成果指標 56. 観光客入込数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 29. 観光による地域振興**

指標の説明 観光客入込数により観光振興の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
602 万人	目標値	602	602	602	602	602	新型コロナウイルス感染症の影響により、インバウンドの回復が不透明ではありますが、観光まちづくりの推進や付加価値の創造などを図ることにより、基準値の維持を目指します。
	実績値	369	772	828	841		
	達成率	61.3%	100.0%	100.0%	100.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	春の花見山おもてなし事業 観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 具体的な取組内容 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など 取組成果 3月中旬から下旬にかけて天気が周期的に変化したことと、桜の見頃時期が関東圏と重なったことによる旅行先の分散が影響し、来訪者数は前年比2,000人減(2.6%減)の75,000人となった。 また、県外からの来訪者の割合は前年より減少したものの、宿泊者の割合は前年より増加し、市内での旅行消費金額も前年より増加した。総合的な満足度は過去最高の97.8%となった。	60,189	観光交流推進室
2	「ふくしまステイ。」プロモーション事業 首都圏からのアクセスのちよūd良さや、自然と都市の調和のとれた田園都市ならではの「ちよūdいい」心地良さを「ちよūdいい旅、ふくしまステイ。」とブランディング化し、首都圏在住者をターゲットとしてリアルとデジタルを掛け合わせたプロモーションの展開を図り、本市への誘客と周遊を促進する。 具体的な取組内容 ○「ふくしまステイ。」イメージ定着化事業 ○「ふくしまステイ。」を活用した誘客プロモーション事業 取組成果 ○ステイプラン宿泊商品では、対前年度の人泊数は14.3%、取扱額は45.7%増となった。 ○東京主要駅のデジタルサイネージを活用して認知度向上を図った。(4週間) ○市内40箇所をスポットにしたデジタルラリーを実施し周遊促進を図った。(参加者572人)	11,154	観光交流推進室

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

- ①「道の駅ふくしま」運営[39,667](観光交流推進室)
- ②ふくしま花回廊推進事業[25,132](観光交流推進室)
- ③フィルムロケ誘致支援事業[1,721](観光交流推進室)
- ④あづま山麓ツーリズム推進事業[9,999](観光交流推進室)
- ⑤ふくしま三名湯ブランディング事業[1,602](観光交流推進室)
- ⑥温泉地活性化推進事業[14,970](観光交流推進室)
- ⑦ふくしま田園観光圏整備事業[11,177](観光交流推進室)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。特に誘客につながるロケツーリズムやフィルムコミッションのさらなる取り組みの推進に期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、本市ならではの多様なコンテンツを活かした花観光やあづま山麓エリア等のテーマ観光等について事業を展開し、各種プロモーションによる情報発信や更なるロケ誘致の促進によりロケツーリズムを推進することで、国内外の観光誘客につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

## 成果指標 57. 外国人延べ宿泊者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 29. 観光による地域振興**

指標の説明 多様性に対応したホスピタリティーの深化をはかる指標です。

基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
36,160 人	目標値	36,160	36,160	36,160	36,160	36,160	本市の外国人延べ宿泊者数により、インバウンドの誘致状況をはかる指標です。
	実績値	6,810	9,140	23,950	32,802		
	達成率	18.8%	25.3%	66.2%	90.7%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	春の花見山おもてなし事業	60,189	観光交流推進室
	具体的な取組内容	観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など	
	取組成果	3月中旬から下旬にかけて天気が周期的に変化したことと、桜の見頃時期が関東圏と重なったことによる旅行先の分散が影響し、来訪者数は前年比2,000人減(2.6%減)の75,000人となった。 また、県外からの来訪者の割合は前年より減少したものの、宿泊者の割合は前年より増加し、市内での旅行消費金額も前年より増加した。総合的な満足度は過去最高の97.8%となった。	
2	ふくしま花回廊推進事業	25,132	観光交流推進室
	具体的な取組内容	官民を挙げた花観光スポットの魅力向上と誘客拡大・周遊促進に向けた取り組みを行い、花観光来訪者の満足度向上と来訪者増加を図る。 ○ふくしま花回廊デジタルラリー事業 ○ふくしま花回廊魅力発信事業(テーマ別PR事業、PRパンフレット作成等) ○ふくしま花回廊魅力づくり・受入環境整備事業(ふくしま花回廊推進事業補助)	
	取組成果	花回廊スポットの当事者・関係者を集めた花回廊会議の開催により情報共有や相互連携を図り、さらなる来訪者の満足度向上に努めた。 また、各スポットの受入環境整備の取り組み(8事業)に対して補助金を交付し、花回廊スポットの魅力アップにつなげることができた。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

- ①「道の駅ふくしま」運営[39,667](観光交流推進室)    ②「ふくしまステイ。」プロモーション事業[9,461](観光交流推進室)  
 ③フィルムロケ誘致支援事業[1,721](観光交流推進室)    ④あづま山麓ツーリズム推進事業[9,999](観光交流推進室)  
 ⑤ふくしま三名湯ブランディング事業[1,602](観光交流推進室)    ⑥温泉地活性化推進事業[14,970](観光交流推進室)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、創意工夫を図り、より高い成果を目指してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、本市ならではの多様なコンテンツを活かした花観光やあづま山麓エリア等のテーマ観光等について、デジタルプロモーションや現地リアルプロモーションによる情報発信を強化し、国内外の観光誘客につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	観光交流推進室	(副)	
----------	-----	---------	-----	--

## 成果指標 58. 来訪者満足度

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 29. 観光による地域振興**

指標の説明 本市の地域資源やおもてなし等に対する来訪者の満足度ををはかる指標です。  
※花見山アンケート

基準値 (平成30年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
95.3	目標値	96.2	97.1	98.1	99.0	100.0	観光まちづくりの推進や付加価値の創造、受け入れ環境の整備などを図ることにより、来訪者の満足度100%を目指します。
	実績値	94.3	97.6	96.9	97.8		
	達成率	0.0%	100.0%	57.1%	67.6%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	春の花見山おもてなし事業 観光案内所、物産ひろばの開設やシャトルバス運行等を実施し、花見山来訪者受け入れ体制を整備する。 具体的な取組内容 ○花見山来訪者に対する観光案内所、物産ひろばの開設 ○シャトルバス運行、仮設トイレ設置、誘導員配置 など 取組成果 3月中旬から下旬にかけて天気が周期的に変化したことと、桜の見頃時期が関東圏と重なったことによる旅行先の分散が影響し、来訪者数は前年比2,000人減(2.6%減)の75,000人となった。 また、県外からの来訪者の割合は前年より減少したものの、宿泊者の割合は前年より増加し、市内での旅行消費金額も前年より増加した。総合的な満足度は過去最高の97.8%となった。	60,189	観光交流推進室
2	ふくしま花回廊推進事業 官民を挙げた花観光スポットの魅力向上と誘客拡大・周遊促進に向けた取り組みを行い、花観光来訪者の満足度向上と来訪者増加を図る。 具体的な取組内容 ○ふくしま花回廊デジタルラリー事業 ○ふくしま花回廊魅力発信事業(テーマ別PR事業、PRパンフレット作成等) ○ふくしま花回廊魅力づくり・受入環境整備事業(ふくしま花回廊推進事業補助) 取組成果 花回廊スポットの当事者・関係者を集めた花回廊会議の開催により情報共有や相互連携を図り、さらなる来訪者の満足度向上に努めた。 また、各スポットの受入環境整備の取り組み(8事業)に対して補助金を交付し、花回廊スポットの魅力アップにつなげることができた。	25,132	観光交流推進室

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)

- ①「道の駅ふくしま」運営[39,667](観光交流推進室) ②「ふくしまステイ。」プロモーション事業[9,461](観光交流推進室)  
③フィルムロケ誘致支援事業[1,721](観光交流推進室) ④あづま山麓ツーリズム推進事業[9,999](観光交流推進室)  
⑤ふくしま三名湯プランディング事業[1,602](観光交流推進室) ⑥温泉地活性化推進事業[14,970](観光交流推進室)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けておおむね順調に進んでいる。引き続き取り組みを推進するとともに、必要に応じて見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

「福島市新たな時代の観光共創戦略」の基本目標として掲げる「目的地として選ばれる“ふくしまツーリズム”で稼ぐ観光」の実現に向け、地域DMOである(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、花見山をはじめとした花観光等のテーマ観光等について本市ならではの事業を展開し、各種プロモーションによる情報発信を行うことで、観光誘客および観光資源の魅力向上につなげていく。

指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

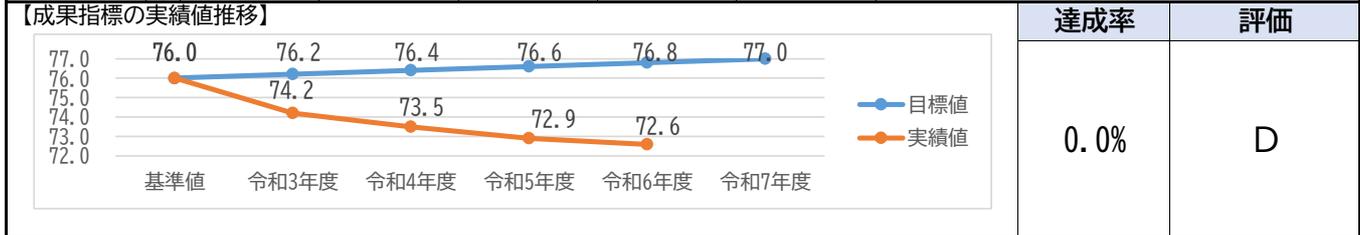
## 成果指標 59. 町内会加入世帯の割合

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 30. 市民共創・地域連携の推進**

指標の説明 町内会の加入率により、地域におけるコミュニティの充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
76.0 %	目標値	76.2	76.4	76.6	76.8	77.0	地域におけるコミュニティ活動の活性化を促進することにより、5年前の加入率と同等の割合を目指します。
	実績値	74.2	73.5	72.9	72.6		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課	地域共創課
1	<p>取組内容 不動産団体との連携協定による町内会加入促進</p> <p>具体的な取組内容 不動産団体との連携協定を締結し、不動産事業者が入居者等に対し町内会加入を呼びかけることにより加入者の増加を図る。</p> <p>取組成果 協定に基づき、不動産業者において入居者等に対し町内会加入を呼びかけていただいている。</p>	—	担当課	地域共創課
2	<p>取組名 電子町内会活動促進</p> <p>具体的な取組内容 多様化する社会に対応するため、町内会におけるICTの活用を推進し、時間・場所に制限を受けない迅速な情報伝達網の構築を図る。 また、インターネットを利用し、町内会活動などの地域情報を広く発信することで、若い世代に町内会への興味・関心を持ってもらう機会を増やす。</p> <p>取組成果 電子町内会推進事業への参加町内会数が、2町内会增加し42町内会となった。 また、町内会が抱えるデジタル化への課題解決のためアドバイザーの派遣を行った。</p>	624	担当課	地域共創課

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位:千円)

①町内会加入案内パンフレットの配布[226] (地域共創課)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。町内会に加入した場合のメリットを可視化してアピールするなど、さらなる加入促進の取り組みに期待する。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

町内会加入率が増加しない主な要因として、運営や役員としての負担が大きいことや町内会活動の役割と重要性が認識されていないことなどにより、若年層の加入が進まないことが考えられる。  
今後、電子町内会についての地区単位での説明会実施や新たな取り組みメニューの検討などを進め、若年層の加入促進につながるよう取り組んでいくとともに、町内会加入のメリットをパンフレット等を通じて周知できるよう取り組んでいく。

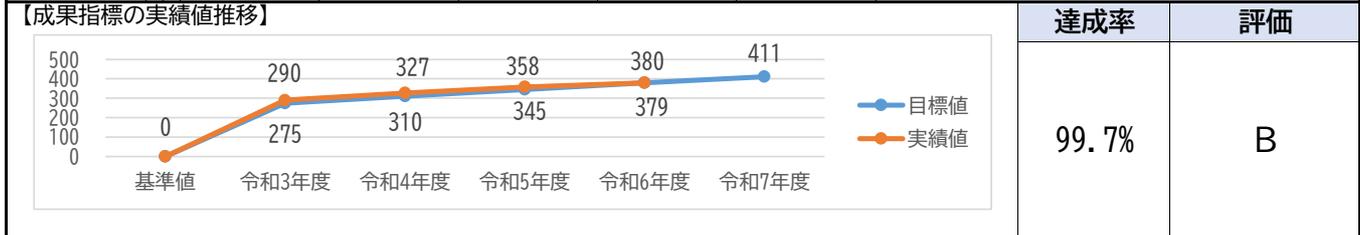
指標進捗管理担当	(主)	地域共創課	(副)		
<b>成果指標</b>		<b>60. 「ふくしま共創のまちづくり計画」における取り組み数</b>			★重点施策の再掲

## 1 成果指標の概要

関連する施策	<b>【個別施策】 30. 市民共創・地域連携の推進</b>
--------	------------------------------------

指標の説明	共創の考え方や手法を用いた取り組み数により、各地区における「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗度合いをはかる指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
0 件	目標値	275	310 (R3～R4年度 までの2年間)	345 (R3～R5年度 までの3年間)	380 (R3～R6年度 までの4年間)	411 (R3～R7年度 までの5年間)	共創のまちづくり意識の醸成により、5年間で411件の「ふくしま共創のまちづくり計画」の実施を目指します。
	実績値	290	327	358	379		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	99.7%		



## 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	<b>ふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会の支援</b> 各地区のふくしま共創のまちづくり計画推進懇談会における取組を支援するとともに、「ふくしま共創のまちづくり計画」の進捗管理を行う。 ○懇談会の裁量により用途を決定できる地域まちづくり交付金を配分し、懇談会の活性化を図る ○「ふくしま共創のまちづくり計画」の評価・検証のための支援	8,780	地域共創課
	取組成果		
	市内18地区の懇談会が、多種多様な視点を取り入れながら計画の推進を図った。懇談会において計画の進捗管理を行うことで、解決すべき地域の課題を明確にして、まちづくりの取り組みを進めることが出来た。		
2	<b>地域コミュニティ等支援事業（まちづくり事業補助金）</b> 地域の新たな魅力や価値の創出、市民活動の活性化、地域活力の向上を図るため、新規・拡充を中心とした事業に対して補助し、地域ごとの主体的なまちづくりへの取り組みの推進を図る ○一般事業枠 ○花いっぱい推進事業枠	8,800	地域共創課
	取組成果		
	一般事業枠・花いっぱい運動等に併せて18地区57事業のまちづくりの取り組みに補助金を交付することが出来た。本事業により、地区懇談会のふくしま共創のまちづくり計画の推進を支援し、住民自治意識の醸成、地域活動の活性化に寄与した。		

## 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

## 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に向けて順調に進んでいる。デジタルも上手に活用した円滑な地区の取り組みに期待する。

## 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

現役世代から意見を集める工夫についても検討し、引き続き、各地区懇談会における取組みを推進する。

指標進捗管理担当	(主)	広聴広報課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

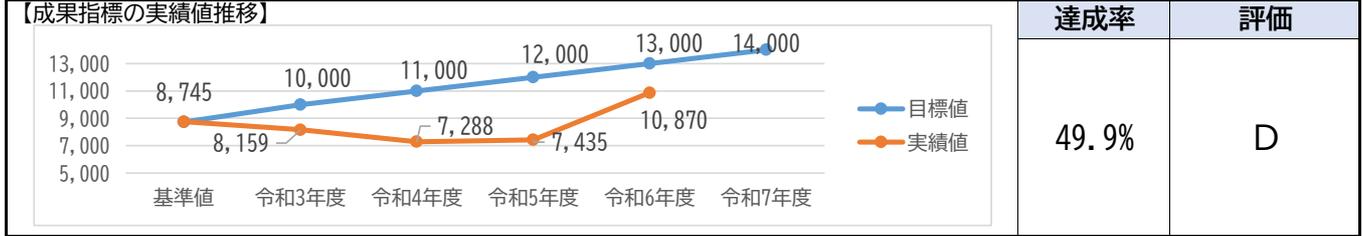
## 成果指標 61. ふくしま市政出前講座の受講者数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】 31. 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実**

指標の説明 ふくしま市政出前講座の受講者数により、市民との意見交換機会の拡大をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
8,745 人	目標値	10,000	11,000	12,000	13,000	14,000	ふくしま市政出前講座を実施することで、市民への情報提供の場を創出すると共に、コミュニケーション機会の拡大を図ります。
	実績値	8,159	7,288	7,435	10,870		
	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	49.9%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	市政だより等作成	101,253	広聴広報課
	具体的な取組内容	市政情報及び観光・伝統・文化等の各分野における本市の魅力を広く発信するため、市政だより等を作成して発行する。 ○市政だより・地区だより（毎月発行、20ページ、105,290部/月） ○市民フォト・ふくしま夢通信（年4回発行、8ページ、夏・秋・冬・春 15,400部/回） ほか	
	取組成果	毎月、市政だより・地区だよりを発行し、年4回ふくしま夢通信を発行し、併せてホームページやSNSなどクロスメディアやメディアミックスの情報配信を行い、市政情報や本市の魅力を広く発信した。	

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
2	メディア広報	42,806	広聴広報課
	具体的な取組内容	テレビ、ラジオ、新聞等のメディアや福島駅西口のエールビジョン及び東口のデジタルサイネージを活用し、分かりやすく市政情報を発信する。 ○テレビ放送（15秒スポットを毎週各局1回、5分番組を毎月各局1回、15分新春特番を各局1回） ○ラジオ放送、新聞等広告 ○東西デジタルサイネージの活用 ○テレビのデータ放送（dボタン）	
	取組成果	毎月、テレビ、ラジオ、新聞等クロスメディアやメディアミックスを意識した広報を通して広範囲に市政情報の発信を行うとともに、本市をPRする特別番組を制作、本市の魅力を広く発信した。令和5年度からテレビのデータ放送による情報発信も実施している。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額（単位：千円）

①市ホームページのリニューアル [4,874]（広聴広報課） ②ふくしま元気トーク開催事業 [24]（広聴広報課）

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

市政出前講座受講者数は、コロナ禍以降新しい生活様式への移行により大人数での集まりが減少傾向にあったが、市民に関心の高い講座を実施することで増加した。今後も市民のニーズに沿った講座を実施し、関連動画を作成して配信することで、市政情報の更なる発信に努める。

指標進捗管理担当	(主)	広聴広報課	(副)	
----------	-----	-------	-----	--

## 成果指標 62. ホームページ、SNSの閲覧数

### 1 成果指標の概要

関連する施策 **【個別施策】**  
**31. 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実**

指標の説明 市ホームページおよびSNSの年間閲覧数により、市政情報の浸透度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
11,000,706 件	目標値	20,200,000	21,900,000	15,400,000	16,500,000	17,600,000	市ホームページとSNSによる多様な情報発信ツールの充実などにより、毎年前年度の1,700,000件増加を目指します。令和5年度実績からX・Facebook閲覧数把握ができなくなったため、HPとYouTube閲覧数毎年前年度1,100,000件増加を目指します。
	実績値	33,595,511	29,582,279	14,394,869	13,795,893		
	達成率	100.0%	100.0%	77.2%	50.8%		



### 2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	市ホームページリニューアル	4,874	広聴広報課
	具体的な取組内容	閲覧者が求める情報にスムーズにたどり着けるようにホームページの再構築を行うことで、行政情報を的確・迅速に発信できる環境の整備を図る。 ○ホームページの再構築	
	取組成果	令和7年7月ホームページリニューアルし公開に向けて、委託業者との契約、ワークショップの実施など必要な構築作業を実施した。	
2	市公式SNSの普及促進	42,806	広聴広報課
	具体的な取組内容	市民のニーズに応じた情報をより広範囲に配信できるよう、市公式SNS登録者数の増加を図る。 ○市政だよりやテレビ、ラジオ、新聞等のメディアによる広報 ○登録を啓発する広報物の配布、設置など	
	取組成果	危機管理情報やイベント情報など、セグメント設定により市民のニーズに応じた情報を広範囲に配信することが出来た。 また、登録者数増加のために、転入手続きの際に案内を行うなど各課で取り組みを行ったほか、市政だよりや新聞定時広告に登録啓発記事を掲載した。	

### 3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額 (単位:千円)

### 4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価

目標達成に遅れが生じている。要因分析を踏まえた見直しを行い、所期の成果を達成してほしい。

### 5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性

事業などの情報発信の際にはSNSの特性を踏まえて発信内容を工夫し、複数のメディアを使い連動させて市民をホームページに誘導することで市政情報の浸透を図る。

指標進捗管理担当	(主)	政策調整課	(副)	広聴広報課
----------	-----	-------	-----	-------

**成果指標** **63. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】**  
**31. 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実**

指標の説明 元気ふくしま・ふるさと寄附金額により、本市ファンの拡大と戦略的なシティセールスの充実度をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
145,645 千円	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	2,400,000	国内外に向けたシティセールスの戦略的な展開により、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
	実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545	2,137,533		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	ふるさと納税促進事業	1,034,068	政策調整課
	具体的な取組内容	各種施策を実施する財源を確保するため、賛同と共感を得ながらふるさと納税による本市への寄附を促進する。 ○市観光コンベンション協会と連携し、話題性と魅力にあふれる返礼品開発 ○各ポータルサイトを活用し、市の施策や魅力ある返礼品を積極的にPR	
	取組成果	(一社)福島市観光コンベンション協会と連携し、魅力ある返礼品開発を行うとともに、「ふるさと納税通信」を通して、寄附の使い道や本市の旬な情報の発信を行い、関係人口の拡大を図った。	
2	シティセールス推進事業	1,815	政策調整課
	具体的な取組内容	マーケティング分析ツールの活用と本市特産品等の魅力拡散キャンペーンによる情報発信を仕掛け、本市の認知度向上とファン拡大を図る。 ○シティセールス特設Webサイトの管理運営 ○マーケティングデータ分析ツールによる現状分析と施策検討 ○本市の特産品等拡散キャンペーン等による情報発信	
	取組成果	ふるさと納税などを通じ、本市への更なる応援を募るため、ホームページやふるさと納税サイト等で本市の魅力を効果的に発信した。 また、本市特産品の魅力を広く拡散するため、ふるさと納税サイトでレビューキャンペーンを実施し、ふるさと納税寄附者による魅力の発信を促進した。	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)**  
 ①福島市応援関係人口創出事業[2,026](政策調整課) ②テレビ、ラジオ、新聞等のメディアによる広報[42,806](広聴広報課)  
 ③市ホームページのリニューアル[4,874](広聴広報課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。体験型の返礼品を充実させるなどにより、関係人口を増やす成果を望む。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

引き続き本市の魅力あふれる返礼品を効果的に発信し、本市を応援するファンや関係人口の拡大を図り、ふるさと納税による寄附の促進とシティセールスを行う。

指標進捗管理担当	(主)	情報企画課	(副)	デジタル推進課、市民課、市民税課、中央学習センター、図書館、スポーツ振興課ほか
----------	-----	-------	-----	---

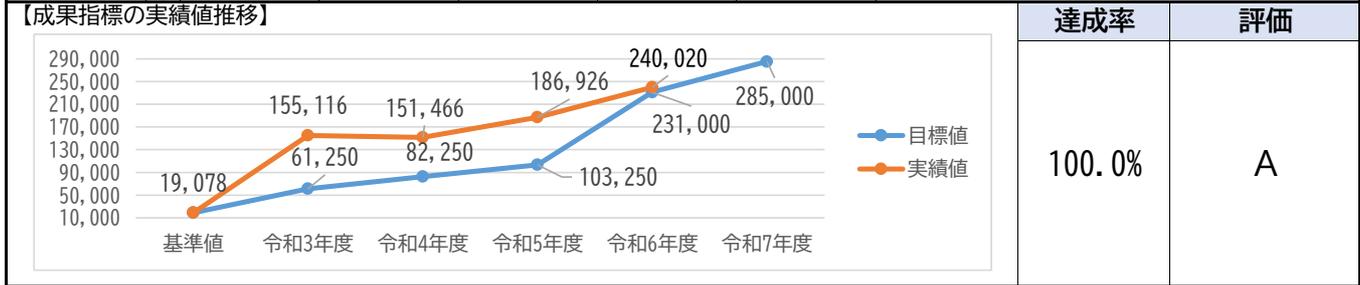
**成果指標** **64. 行政手続きのオンラインサービス利用件数(年間)** ★重点施策の再掲

**1 成果指標の概要**

関連する施策 **【個別施策】 32. ICT化の推進**

指標の説明 行政手続きのオンラインサービスの利用件数により、行政手続きのICT化の充実度と利便性向上の状況をはかる指標です。

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
19,078 件	目標値	61,250	82,250	103,250	231,000	285,000	ICTを活用した行政・経済・社会の変革に向けた取り組みにより、市民の利便性の向上を目指します。
	実績値	155,116	151,466	186,926	240,020		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



**2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み**

No	取組名	事業費 (千円)	担当課
1	LINE推進事業	5,089	情報企画課(デジタル推進課)
	具体的な取組内容	市LINE公式アカウントによる市政情報発信や市民通報のほか、予約ができる各種相談・講座・イベント等を拡大します。	
	取組成果	市LINE公式アカウントによる子育て・観光・イベント等の情報配信や登録者が道路の破損状況等を通報するシステム等を運用するとともに、講座や相談等の申込みを24時間行うことができる予約システムにおいて受付メニューの拡充を図った。 14所属 72業務	
2	市民センター等公共施設予約システム導入	32,010	中央学習センター
	具体的な取組内容	市民センター等に公共施設予約システムを導入し、いつでもどこでも施設予約ができる仕組みを作り、市民サービスの向上を図ります。	
	取組成果	各学習センターにて予約システムの操作説明会を実施したほか、事前練習期間を設け、予約システムの周知を図った。令和7年3月利用分からオンラインによる予約システムでの受付を開始し、多くの利用者が窓口に来館することなく施設の予約ができるようになった。 ・令和7年3月利用分のオンラインによる申請件数 3,245件	

**3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)**

- ①申請・届出オンライン事業[179] (情報企画課) ②コンビニ交付サービス事業 [22,505] (市民課・市民税課)
- ③オンライン申請の推進 [1,673] (市民課・市民税課) ④電子図書館の運用 [4,998] (図書館)
- ⑤公共施設予約システムの運用 [23,058] (スポーツ振興課ほか) ⑥高齢者デジタル活用サポート [7,142] (デジタル推進課)

**4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価**

当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。

**5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性**

今後も市民がオンラインで申請可能な手続きを拡充することと併せて、オンラインサービスの利用を促進することにより、市民の利便性向上の取り組みを推進していく。

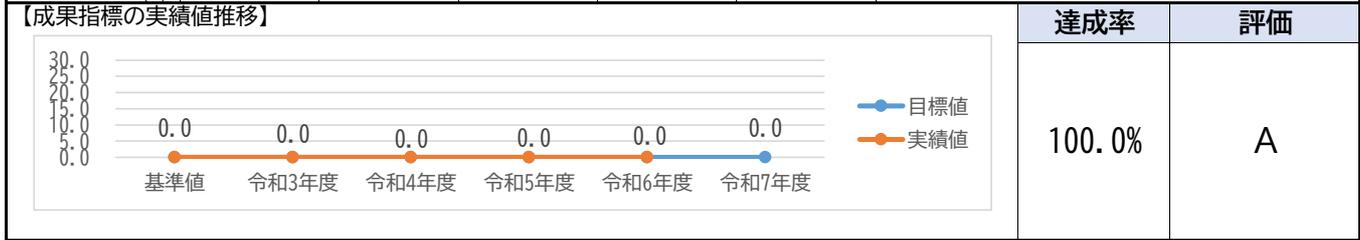
<b>成果指標</b>	<b>65. 実質赤字比率</b> <b>66. 連結実質赤字比率</b> <b>67. 実質公債費比率</b> <b>68. 将来負担比率</b>
-------------	---

<b>1 成果指標の概要</b>
------------------

関連する施策	<b>&lt;65. 実質赤字比率&gt;</b> <b>【個別施策】33. 行財政経営の推進</b>
--------	--

指標の説明	地方公共団体の標準的な収入（主に一般会計）に対する実質赤字の割合を示す比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標です。
-------	---

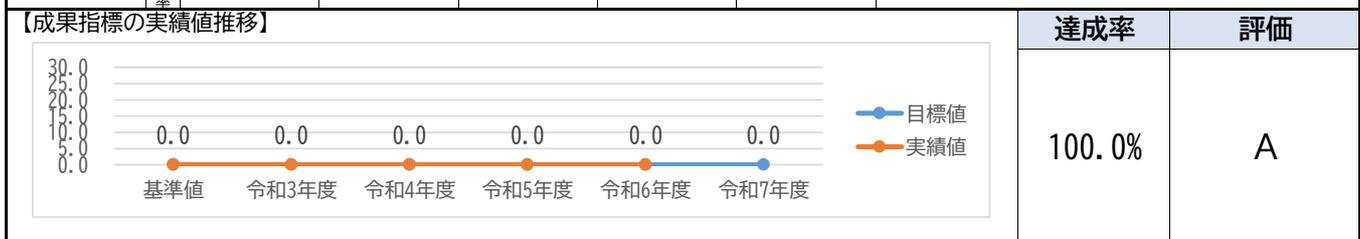
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	目標値	—	—	—	—	—	自治体の財政運営においては、本来収入不足による赤字は生じないようにすべきものであるため、－（ゼロ）を目指します。
	実績値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



関連する施策	<b>&lt;66. 連結実質赤字比率&gt;</b> <b>【個別施策】33. 行財政経営の推進</b>
--------	--

指標の説明	水道・下水道事業などの公営企業会計を含めた全会計の実質赤字（または資金不足）の額の割合を示す比率で、財政運営悪化の度合いを示す指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	目標値	—	—	—	—	—	水道・下水道事業など含めても、市全体で収入不足による赤字は生じないようにすべきものであるため、－（ゼロ）を目指します。
	実績値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



関連する施策	<b>&lt;67. 実質公債費比率&gt;</b> <b>【個別施策】33. 行財政経営の推進</b>
--------	---

指標の説明	毎年度経常的に収入される財源のうち、市債の返済に充当された割合を示す比率で、資金繰りの安全度を示す指標です。
-------	--

基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
1.2	目標値	6以内	6以内	6以内	6以内	6以内	過度な借入金の返済により、他の経費に支障が出ることがないように、中核市の平均値以内を目指します。
%	実績値	1.4	2.3	3.5	4.5		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



関連する施策	<b>&lt;68. 将来負担比率&gt;</b> <b>【個別施策】33. 行財政経営の推進</b>						
指標の説明	毎年度末時点における一般会計の市債残高だけでなく、土地開発公社や第三セクターまで含めて、市が将来負担すべき実質的な負債の額が標準的な年間収入の何年分にあたるかを示す比率で、将来、財政運営を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。						
基準値 (令和元年度)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
14.3	目標値	60以内	60以内	60以内	60以内	60以内	世代間負担の公平性を考慮し、将来世代へ過度な負担を避けるため、中核市の平均値以内を目指します。
	実績値	9.5	2.7	0.0	0.0		
	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		



2 成果指標の進捗に貢献する主な取り組み						
No	取組名	健全で効率的な財政運営	事業費 (千円)	—	担当課	財政課
1	具体的な取組内容	<p>歳入歳出の全般にわたり制度の根本に立ち返った見直しを行い、効率的な財政運営に努めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○広告料収入、私有財産の有効活用、受益者負担の適正化等による自主財源の確保</li> <li>○徹底したコスト意識をもった業務改革、デジタル技術の活用等による歳出の効率化、事業の重点化</li> <li>○施設の長寿命化対策やゼロカーボンへの取り組みによる長期的なコスト縮減</li> <li>○中長期的な税源の涵養につながる経済活性化や移住定住のための施策の展開</li> </ul>				
	取組成果	<p>経常的な事務事業は、扶助費などの義務的経費等を除いて前年度同額とする枠配分方式を導入し、全部局において主体的な見直しを行った。</p> <p>また、実績・コストの検証を踏まえた事業の見直し・再構築や、デジタル技術の活用による業務の効率化・コストの削減に務めたほか、市有財産の売却による歳入確保、基金への積立など将来の財政支出も見据えた財源確保に務めた。</p>				
No	取組名	市債の適正な運用	事業費 (千円)	—	担当課	財政課
2	具体的な取組内容	<p>大規模事業の進捗により市債発行額及びその償還額の増嵩は避けられない状況にありますが、市債の発行にあたっては、将来世代に過大な負担を残さないよう、地方交付税措置のある有利な市債を積極的に活用し、実質的な市の負担の軽減を目指します。</p>				
	取組成果	<p>地方交付税の措置のある有利なものを中心に活用し、実質的な将来負担の軽減に務めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>※1 R7市債当初予算中、交付税措置のあるもの 12,386,600千円(88.1%)</li> <li>※2 R7市債当初予算中、交付税措置額(理論値) 5,747,496千円(40.9%)</li> </ul> <p>(R7市債当初予算額 14,052,500千円)</p>				

3 成果指標の進捗に貢献するその他の取り組み ※ [ ] 内の数値は令和6年度決算額(単位:千円)	

4 成果指標の進捗状況に対する外部有識者会議の評価	
当該年度の目標を達成していることから、引き続き着実に取り組みを推進してほしい。	

5 外部有識者会議の評価を踏まえた今後の方向性	
厳しい社会経済が予見される中、将来にわたり持続可能な財政運営を目指すため、引き続き着実に取り組みを推進していく。	

# 令和6年度実績評価検証結果

第6次福島市総合計画まちづくり基本ビジョンに盛り込んだ重点・個別施策に紐づく成果指標（重点施策28指標、個別施策68指標）の令和6年度実績に係る評価検証結果等については以下のとおりである。

## 1 成果指標の達成状況

区分	令和3年度実績		令和4年度実績		令和5年度実績		令和6年度実績	
	指標数	構成比	指標数	構成比	指標数	構成比	指標数	構成比
A評価(達成率100%)	50	52.1%	49	51.0%	41	42.7%	40	43.5%
B評価(80%≦達成率<100%)	6	6.2%	7	7.3%	14	14.6%	18	19.6%
C評価(60%≦達成率<80%)	4	4.2%	11	11.5%	11	11.5%	6	6.5%
D評価(達成率<60%)	36	37.5%	29	30.2%	30	31.3%	28	30.4%
合計	96	100.0%	96	100.0%	96	100.0%	92	100.0%

※指標数には再掲13指標を含む

※令和6年度実績については、数値の引用元としている国の調査終了等により、4つの指標（再掲1つ含む）が算出困難となっていることから、合計92指標を評価対象とした。

## 2 令和7年度検証会議

### (1) 開催日

【第1回】令和7年7月24日（木）

【第2回】令和7年7月31日（木）

### (2) 検証会議総評

#### (情報発信・PRの強化)

防災対策など、市が積極的に取り組んでいるにも関わらず、市民の認知度が低く、それがアンケート指標の評価に影響を与えていることも考えられる。また、福島市の魅力や地元企業の情報も十分に発信されておらず、若者の地元定着や観光客誘致の機会損失となっている可能性もある。市民性という部分もあるが、自ら市内外に対して積極的に情報発信・PRをしていくという変革が必要である。

#### (市民ニーズの把握)

健康・医療分野において、小児医療をはじめとした医療体制の充実など取組が市民ニーズを捉え、アンケート指標での高評価につながっているケースもある。一方で、結果が伴わない指標については、市民ニーズを的確に把握できていないことが要因として挙げられる。例えば、子育て・教育分野におけるインクルーシブ教育や個別最適化の推進、観光分野におけるフィルムコミッションの強化など、現在のニーズを捉えた上で、取組を進める必要がある。

(教育機関との連携の強化)

若年層の認知度や関心が低い分野や幼少期からの意識醸成が必要な分野については、教育機関と連携して取組を進めることが効果的である。例えば、文化芸術における古関裕而氏の浸透や多文化共生の視点などは、教育の現場に持ち込んで、理解を深めていくことが重要であると考えられる。

(地域資源・インフラの有効活用)

福島市にある様々な資源や施設が十分に活用されていない。例えば、競馬場、飯坂線、阿武隈急行などの交通インフラ、大学などの教育機関といった既存資源を観光振興や地域活性化に活かす取組が必要であり、さらなる産学官の連携体制の構築が求められる。

(次期総合計画に向けた検討)

きちんと取組を実施しているにも関わらず令和3年度から連続してD評価になっているなど、正確に実態を捉えていない指標も見受けられる。検証会議での意見も踏まえながら、次期総合計画策定にあたっては、見直し検討をいただきたい。

3 外部有識者の評価を受けての本市まとめ

第6次総合計画新ステージ実行プランの4年目となる令和6年度の検証結果は、前年度と比較して、A評価、B評価ともに構成比が伸び、C評価、D評価は減少した。令和3年度の計画策定当初から見ても、A評価とB評価の構成比を足した値が63%と、初めて6割を超える結果となり、施策全体として進捗していると言える。

特に、市民アンケートの結果に基づく指標では、健康・医療分野や環境分野において、前年度のD評価からA評価に大きく上がった。これは、医療体制の充実や環境負荷低減に向けた普及啓発など取組が市民に浸透した成果であると考えられる。

一方で、市民ニーズを的確に把握できていない分野への対応や、若年層の人口流出対策、街なかのにぎわい創出、情報発信・PRの強化など、多くの課題が山積していることから、取組をさらに加速させるべく、様々な主体との連携により好循環を生み出しながら、施策の達成に向けて邁進していく。

# 資料編

第6次福島市総合計画 新ステージ実行プラン 見直した成果指標一覧表（令和6年度）

重点施策				
★印：個別施策へ再掲				
施策名	成果指標名	変更内容	変更内容	ページ
3 災害対策の強化	(6) 地区防災マップ・防災計画の策定地区数（地区）★	目標値	令和6年度において、目標値を達成する見込みとなったことから、現状の進捗に即した目標値に見直す。	12
11 新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上	(2.6) 元気ふくしま・ふるさと寄附金額★	目標値	令和6年度の実績値において、令和7年度の目標値を達成したことから、現状に即した目標値に見直した。	32

個別施策				
施策名	成果指標名	変更対象	変更内容	ページ
6 危機管理・防災減災体制の充実	(1.3) 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数	目標値	令和7年度までに市立の全小中学校で実施完了を目指しており、学校の統廃合により、目標値に変動が生じたため、現状に即した目標値に見直す。	47
6 危機管理・防災減災体制の充実	(1.4) 地区防災マップ・防災計画の策定地区数（地区）★	目標値	令和6年度において、目標値を達成する見込みとなったことから、現状の進捗に即した目標値に見直す。	48
31 市民とのコミュニケーションと情報発信の充実	(6.3) 元気ふくしま・ふるさと寄附金額★	目標値	令和6年度の実績値において、令和7年度の目標値を達成したことから、現状に即した目標値に見直した。	97

【重点施策】修正を加えた指標の新旧比較一覧

成果指標		6. 地区防災マップ・防災計画の策定地区数					★個別施策へ再掲	
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	0	目標値	2	4	6	8	10	災害対策の強化により、地区防災マップ・防災計画を策定する地区を10地区目指します。
		実績値	1	3	7			
	地区	達成率	50.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	0	目標値	2	4	6	10	14	災害対策の強化により、地区防災マップ・防災計画を策定する地区を14地区目指します。
		実績値	1	3	7	9		
	地区	達成率	50.0%	75.0%	100.0%	90.0%		

成果指標		26. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額					★個別施策へ再掲	
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
		実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545			
	千円	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	2,400,000	新たな施策への挑戦と発信による都市ブランド力の向上に向けた取り組みにより、令和3年度に10億円、以降は毎年度1億円程度の増加を目指します。
		実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545	2,137,533		
	千円	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

【個別施策】修正を加えた指標の新旧比較一覧

成果指標		13. 地域の自主防災組織と連携した実践的な防災減災を学び触れる市立の小中学校の校数、児童生徒の人数						
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	①(小中学校)	目標値	①5 ②約2,250	①20 ②約6,000	①35 ②約10,000	①50 ②約14,000	①全65 ②約18,000	
	②(児童生徒)	実績値	①5 ②2,182	①21 ②7,366	①35 ②11,941			
	①校、②人	達成率	①100.0% ②97.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%			
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	①(小中学校)	目標値	①5 ②約2,250	①20 ②約6,000	①35 ②約10,000	①50 ②約14,000	①全63 ②約18,000	
	②(児童生徒)	実績値	①5 ②2,182	①21 ②7,366	①35 ②11,941	①50 ②14,913		
	①校、②人	達成率	①100.0% ②97.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%	①100.0% ②100.0%		

成果指標		14. 地区防災マップ・防災計画の策定地区数						★重点施策の再掲
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	0	目標値	2	4	6	8	10	
	地区	実績値	1	3	7			
	地区	達成率	50.0%	75.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	0	目標値	2	4	6	10	14	
	地区	実績値	1	3	7	9		
	地区	達成率	50.0%	75.0%	100.0%	90.0%		

成果指標		63. 元気ふくしま・ふるさと寄附金額						★重点施策の再掲
変更前	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	1,600,000	
	千円	実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545			
	千円	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
変更後	基準値 (令和元年)	項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	目標値の根拠
	145,645	目標値	1,000,000	1,100,000	1,200,000	1,500,000	2,400,000	
	千円	実績値	1,252,665	1,187,121	1,469,545	2,137,533		
	千円	達成率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		

## ふくしま新ステージ実行プラン検証会議 委員名簿

(五十音順・敬称略)

No.	氏名	所属・役職
1	伊 藤 宏 い とう ひろし	福島大学 名誉教授
2	紺 頼 純 子 こん らい じゅん こ	ふくしま未来農業協同組合 理事
3	齋 藤 美 佐 さい とう み さ	NPO PLUS 代表
4	菅 井 謙 一 すが い けん いち	連合福島 福島地区連合会 議長
5	西 内 みなみ にし うち	学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム 理事長・学院長
6	深 谷 茂 美 ふか や しげ み	株式会社テレビユー福島 報道制作局専門局長
7	村 上 崇 広 むら かみ たか ひろ	株式会社東邦銀行 法人コンサルティング部 公務・地域商社事業課長
8	山 田 真樹人 やま だ まきと	福島商工会議所青年部 会長 株式会社福島映像企画 企画部企画課係長
9	横 田 崇 よこ た たかし	福島市医師会 会長